

令和四年度

学生生活実態調査  
〔学群〕

筑波大学



## まえがき

このたび、「令和4年度筑波大学学生生活実態調査（学群）報告書」が発行される運びとなりました。

筑波大学の学群生を対象とした学生生活実態調査は、開学5年目の昭和53年度に第1回が実施され、以後平成20年度まで5年間隔で7回行われ、更に学生の実態や意向をより頻度高く正確に把握することで、学生支援の質を高めようと2年に1度の実施とし、平成22年度と平成24年度に実施しました。その後、これまでの調査結果を検証し、調査間隔を再び5年として、平成29年度の前回調査を経て、今回が通算11回目の調査報告になります。

実施にあたっては、回答してくれた学生はもとより、学生生活支援室と学生部を中心として、教育推進部、教学マネジメント室、各教育組織並びに各支援室の協力を得て調査することができました。

今回の調査は、前回同様、本学の学習管理システム manaba を用いて実施しました。調査にあたり、設問項目を精選するとともに、回答しやすいよう選択式を基本として、必要に応じて自由記述欄を設け、日本語版・英語版を選んで回答できるようにしました。

本調査は全学生を対象として実施しましたが、回答率は25.2%と、前回に比べ3ポイント増加しました。学群においては、コロナ下にも関わらず、周知方法等を改善した結果、このような回答率になったと考えられます。

なお、調査結果は、ホームページに掲載し、本学の学生並びに教職員はもとより、学外にも公表します。

本学の教職員においては、本調査結果が、部局の運営、学生の学修・生活環境の改善及び進路指導等に役立つ重要な根拠資料であることを認識し、各指標の経年変化に現れる学生意識の変遷を踏まえて、関係部署との連携を図りながら、学生支援の質の向上に活用していただきたいと思えます。

最後に、学生生活支援室はじめ関係者の方々の努力により、今回も無事報告できる運びとなりましたこと心から感謝いたします。

令和5年3月

学生担当副学長 太田 圭

# 目 次

まえがき

概要

令和4年度学生生活実態調査（学群）概要 ..... 1

令和4年度筑波大学学生生活実態調査（学群学生用）《和文・英文》 ..... 3

筑波大学学生実態調査（学群）回答率について ..... 45

第1章 あなた自身について ..... 46

問1. 社会人の経験について ..... 46

問2. 筑波大学を志望した主な理由について ..... 47

第2章 生活全般について ..... 48

問3. 収入と支出について ..... 48

A. 収入 ..... 48

B. 支出 ..... 53

問4. アルバイトの経験について ..... 58

問4-1. アルバイトの種類について ..... 60

問4-2. アルバイトをする理由について ..... 61

問4-3. アルバイトの学修への影響について ..... 62

問5. 大学に希望する経済支援について ..... 64

問5-1. 一時貸付金を希望する理由について ..... 64

問6. 現在の住まいについて ..... 65

問6-1. 学生宿舎への入居希望について ..... 65

問6-2. 現在の居住地について ..... 67

問6-3①. 入居している学生宿舎について ..... 68

問6-3②. 入居している学生宿舎の居室のタイプについて ..... 68

問6-4. 学生宿舎の満足度について ..... 69

問6-5. 学生宿舎での生活について ..... 70

問7. 学生宿舎のリニューアルについて ..... 71

問8. 平均的な1日または1週間の過ごし方について ..... 72

A. 平均的な1日の過ごし方 ..... 72

B. 平均的な1週間の過ごし方 ..... 73

	C. 平均的な休日の過ごし方 .....	73
問 9.	日常生活の満足度について .....	74
問 10.	新型コロナの影響について .....	75
<b>第 3 章</b>	<b>通学等について .....</b>	<b>76</b>
問 11.	通学時の交通手段について .....	76
問 12.	雨天時以外の通学時間について .....	77
問 13.	キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度について .....	78
<b>第 4 章</b>	<b>健康状態について .....</b>	<b>79</b>
問 14.	過去 1 年間の健康状態について .....	79
問 15.	過去 1 年間の困り事・悩み事について .....	80
問 16.	過去 1 年間のあなたの感じ方について .....	81
<b>第 5 章</b>	<b>相談相手・情報の得方について.....</b>	<b>82</b>
問 17-1.	主な相談相手について .....	82
問 17-2.	相談相手と話す機会について .....	84
問 18.	情報の得方について .....	85
問 19.	相談機関について .....	86
<b>第 6 章</b>	<b>クラス制度・学生組織・課外活動等について .....</b>	<b>87</b>
問 20.	クラスの機能について .....	87
問 21.	学生組織の活動について .....	88
問 22.	サークル活動について .....	89
問 22-1.	サークル活動の動機について .....	90
問 23.	宗教団体・啓発セミナーなどについて .....	91
問 24.	ボランティア活動について .....	92
問 25.	つくばアクションプロジェクト（T-ACT）の活動について .....	93
問 26.	学外研修施設について .....	94
<b>第 7 章</b>	<b>進路や就職活動について .....</b>	<b>95</b>
問 27.	卒業後の進路について .....	95
問 28.	卒業後の外国での就労希望について .....	97
問 29.	進路決定の際の相談相手について .....	98
問 30.	進路を決めた（これから決める時に考慮する）理由について .....	99
問 31.	将来の進路への感じ方について .....	100
問 32.	CARIO の活用について .....	101

問 33.	就職活動に役立った情報源について .....	102
問 34.	就職活動の学修への影響について .....	103
第 8 章	家庭の状況について .....	104
問 35.	あなたの現在の生計を支えている方について .....	104
問 36.	あなたの現在の生計を支えている方（全員分）の昨年（2021 年 1 月～12 月）の 年間税込み収入について .....	105
第 9 章	本学への期待や要望について .....	106
問 37.	教員に最も期待することについて .....	106
問 38.	教育面や制度面で充実してほしい点について .....	107
問 39.	TWINS、KdB(シラバス)、manaba の使いやすさについて .....	108
問 40.	整備・充実してほしい設備等について .....	109
問 41.	学内の福利厚生施設の満足度について .....	110
問 42.	筑波大学への要望や提言について .....	111
	A. 制度等に関する要望 .....	111
	B. 教職員に対する要望 .....	111
	C. 施設に対する要望 .....	112
	D. その他 .....	112
【資料】	令和 4 年度筑波大学学生生活実態調査集計表<全体> .....	113

# 令和4年度学生生活実態調査（学群）概要

## 1. これまでの実態調査の実施と目的

筑波大学では、「学生生活の実態を把握し、学生生活の一層の向上および教育の改善に資すること」を目的として、学生生活実態調査を実施している。これまで、学群学生に対しては、昭和53年度から5年毎に調査を実施し、平成20年度に7回目の調査を行った。その後、よりきめ細やかな生活実態および学生の要望・提言を把握するために、2年に1度の間隔で実態調査を実施することになり、平成22年度に8回目、平成24年度に9回目の実態調査が行われた。しかし、その後の再度の見直しで、実態調査は5年毎で十分であるとの判断により、平成29年度に10回目の実態調査が行われた。そして、その5年後にあたる令和4年度に今回の11回目の実態調査が行われることになった。なお、大学院生に対する調査も同時に実施され、その結果は『令和4年度筑波大学学生生活実態調査（大学院）報告書』としてまとめられている。

## 2. 実施方法の検討と調査項目の設定

学生生活支援室では、令和3年度の室員業務の1つに、令和4年度に行われる予定の学生生活実態調査の実施体制等の検討を含め、秋学期に入ると次年度実施に向けた準備を始めた。令和4年度は、第4期中期目標・中期計画の初年度に当たることから、第4期中期目標達成に向けた学生の意向調査と位置づけ、学生生活の充実はもとより、教育に関する中期目標達成にも寄与するため、設問検討やデータ分析について、教学マネジメント室と連携した実施体制を構築することとなった。

令和4年3月に学生生活実態調査実施に向けた第1回打合せを、学生生活支援室と教学マネジメント室の合同で開催し、主に調査の媒体について検討を行った。作業効率の点から紙媒体ではなく、電子媒体を用いることがまず決定され、次いで電子媒体としていくつかの候補が挙がったが、前回同様、manabaでの実施を支持する意見が多かった。しかし、manabaを用いると、システム上、回答者の学籍番号、性別、所属などが紐づいているため、回答率が低下するのではないかと懸念があり、またそれ以前に、情報倫理上の問題として、その事実を明らかにした上で、回答者の同意を得る必要があるとの指摘が出された。そのため、調査媒体の決定は次回に持ち越すことになった。第1回打合せでは、調査の対象を全学生とするか、無作為抽出した一定数の学生にするかの議論も行い、この決定も次回に持ち越すこととなった。

第2回の打合せが5月上旬に行われ、ここでは、1) 調査を令和5年10月に実施すること、2) 全学生を対象とすること、3) manabaで行うこと、などが決定された。manabaを用いることの情報倫理的な問題については、調査票の「まえがき」に「本調査は、学習管理システムmanabaを利用して実施するため、大学はみなさんの個人情報を取得することになる」旨のことを記し、さらに「学籍番号については、筑波大学が保有する他のデータと関連付けて分析する必要がある場合のみ使用される。ただし、結果は統計的に処理され、個人的な情報が公にされることはない」旨のことを追記し、以上のことを了解してもらった上で回答を求めることとした。第2回打合せでは、学生生活支援室員で分担を決め、前回の調査項目について詳細に検討し、設問の追加や削除についての案を作成することになった。

5月下旬に行われた第3回打合せでは、前回の調査項目についての検討結果を持ち寄り、話し合いを行った。その結果、事件・事故に関する設問は削除すること、コロナ禍に関する設問は、厳選して1問にまとめること、保護者に関する設問を追加すること、などを決定した。6月に行った第4回打合せでは、保護者に関する設問について再度検討するとともに、大学院生対象の調査票にあった「社会人の経験」と「筑波大学を志望した理由」に関する設問を学群生対象の調査票にも含めること、などを決定した。以上のような準備作業を経て、7月上旬までに調査項目の第1次案を作成した。

調査項目の設定においては、回答率を向上させるためにも、設問数を増やさないことが重要であるとの認識から、項目の厳選に力を入れた。前回の調査項目は44問であったが、今回は42問とわずかながら減少することとなった。

令和4年度第4回学群教育会議（7月19日開催）において、「令和4年度筑波大学学生生活実態調査」の実施案が報告され、調査票案について意見の聴取が行われた。学群長・学類長からいくつかの意見・要望が出されたため、それに応じて調査表の修正などの作業を行い、8月上旬までには調査票を確定させた。その後、英語版を用意するとともに、調査票をmanabaに落とし込む作業を行い、9月下旬までに準備作業を終えた。

### 3. 調査の実施

10月3日（月）から10月31日（月）までの期間でmanabaによる調査を実施した。調査期間中、第5回学群教育会議（10月18日開催）において、教育組織ごとの回答率を提示し、回答率の向上を促した。調査は、システムトラブルなど問題になることはなく、関係教職員の方々のご尽力によりスムーズに実施することができた。最終的な回答率は、全体で25.2%となり、前回の22.5%よりわずかながら上回る結果となった。

### 4. 調査結果の分析と報告書の作成

調査終了と同時に担当事務職員が調査データの集計を開始し、12月下旬までにその作業を完了した。学生生活支援室員と関係職員に、集計結果の数値をもとに作成された表が提示され、教学マネジメント室員の協力のもとに、データの分析および報告書の原稿作成が依頼された。1月下旬までに各項目の原稿が整い、その後、全体の内容確認が行われた。

本報告書の発行にあたり、様々な角度からデータの分析を行い、原稿を作成していただいた学生生活支援室員、教学マネジメント室員および関係部局の方々に感謝したい。

また、各教育組織においても、学生生活の一層の向上と教育の改善の基礎資料として、本報告書を活用していただければ幸いである。

#### 執筆分担：

概要	加賀 信 広（人文社会系）
問 1～問 2	大 徳 浩 照（生存ダイナミクス研究センター）
問 3～問 8	大 倉 沙 江（人文社会系）
問 9～問13	小 林 正 美（数理物質系）
問14～問19	慶 野 遥 香（人間系）
問20～問26	水 谷 哲 也（システム情報系）
問27～問34	ヒューマンエンパワーメント推進局キャリア支援チーム
問35～問38	大 徳 浩 照（生存ダイナミクス研究センター）
問39～問41	江 口 真 規（人文社会系）
問42	加賀 信 広（人文社会系）



## 令和4年度 筑波大学学生生活実態調査（学群学生用）

\*\*\* お願い \*\*\*

この学生生活実態調査（以下「本調査」という）は、筑波大学での学生生活の一層の向上および教育改善に資することを目的として、全学生の皆様を対象として実施するものです。皆様のご意見を、これからの筑波大学での学生生活および教育をよりよいものにしていくための貴重な資料として活用させていただきたいと考えています。

本調査の結果が上記の目的以外に使用されることはありません。調査への回答は任意であり、回答内容や回答しないことで不利益を被ることはありません。なお、本調査は、学習管理システム manaba を利用して実施するため、大学はみなさんの個人情報を取得することになります。学籍番号については「筑波大学での学生生活の一層の向上および教育改善」のために、筑波大学が保有する他のデータと関連付けて分析する必要が生じた場合のみ使用されます。ただし、結果は統計的に処理され、あなたの個人的な情報が公にされることはありません。

本調査によって取得した個人情報については、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」および「国立大学法人筑波大学個人情報保護管理規則（平成17年法人規則第6号）」および「国立大学法人筑波大学におけるEU一般データ保護管理規則（GDPR）に基づくプライバシーポリシー（令和3年2月4日学長決定）」に基づき厳密に取り扱われます。

過去の調査にご協力いただいた結果をまとめた報告書は以下のページで公開されています。今回の調査も公開される予定です。

URL: <https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-lifesurvey/>

以上をご承諾いただける方は、以降の設問にご回答ください。

この調査の趣旨をご理解のうえ、多くの方のご協力をお願いいたします。

令和4年10月

筑波大学 副学長（学生担当） 太田 圭  
副学長（教育担当） 加藤 光保

\*\*\*\*\*

### 1. 記入の方法などについて

- ① 調査は、全部で42問です。（所要時間は25分程度です。）
- ② 回答は、番号・記号を選ぶ選択方式と、具体的に記述するものがあります。  
選択方式の場合は、該当する番号・記号を選んでください。  
その他等への記述の場合は、指定された欄に入力してください。
- ③ 設問で指定されていない限りは原則として、令和4年10月1日現在で記入してください。
- ④ アンケートを途中保存する場合は、アンケートページ内の「中断する」のボタンを押してください。
- ⑤ アンケートページを前後する場合は、アンケートページ内の「前へ」「次へ」のボタンを使用し、ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

## 2. 提出期間

令和4年10月3日（月）～令和4年10月31日（月）

## 3. ご質問・ご意見等の問い合わせ先（調査元：学生部 学生生活課 総務）

電話：029-853-2298・2224

メール：[gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp)

# I. あなた自身について

問1. 社会人の経験はありますか

ある  ない

問2. 筑波大学を志望した主な理由について、あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  研究領域に魅力がある
- 2.  教育内容が優れている
- 3.  希望する分野がある
- 4.  指導教員の資質・能力、指導体制が優れている
- 5.  教育・研究施設が優れている
- 6.  幅広い専門が学べる
- 7.  国立大学である
- 8.  学費や生活費などの経済的な支援体制が充実している
- 9.  留学生が多いなど国際性が高く、留学制度が充実している
- 10.  自然が豊かで開かれたキャンパスに魅力がある
- 11.  学生宿舎が充実している
- 12.  課外活動が盛んである
- 13.  卒業後の進路など就職に有利である
- 14.  オープンキャンパスで魅力を感じた
- 15.  親や高校の先生などから勧められた
- 16.  自宅から通える
- 17.  資格などが取りやすい
- 18.  その他

◎「18. その他」を選択した方は、具体的な理由を記入してください。

# II. 生活全般について

問3. 今年の4月～6月におけるあなたの1ヶ月の生活費について、平均的な収入と支出の金額を記入してください。

## A. 収入

- ①仕送り :  ヶ
- ②奨学金（給付型）:  ヶ
- 奨学金（貸与型）:  ヶ

- ③アルバイト :  √ 円  
 ④自身の預貯金から :  √ 円  
 ⑤借金により :  √ 円  
 ⑥その他 :  √ 円

**B. 支出**

- ①食費 :  √ 円  
 ②住居費（家賃・共益費・光熱費等） :  √ 円  
 ③就学費（授業料を除く図書・文房具・パソコン等） :  √ 円  
 ④交通費（定期代・ガソリン代・駐車場代等） :  √ 円  
 ⑤通信費（電話料・インターネット等） :  √ 円  
 ⑥その他（交際費・教養娯楽費・被服費・医療費等） :  √ 円  
 ⑦預貯金・借金返済 :  √ 円

問4. 今年の4月以降にアルバイトをしましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  春学期中に定期的なアルバイトをした
2.  春学期中に臨時的なアルバイトをした
3.  夏季休業期間中に定期的なアルバイトをした
4.  夏季休業期間中に臨時的なアルバイトをした
5.  全くしなかった

問4で「1」～「4」を選択した方にお聞きします。

問4-1. 仕事の種類について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  家庭教師
2.  塾講師・添削指導
3.  一般事務
4.  特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）
5.  飲食店での業務
6.  飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）
7.  重労働（引っ越し・建築関係等）
8.  本学における短期雇用等
9.  その他

◎「9. その他」を選択した方は、職種を記入してください。

問4で「1」～「4」を選択した方にお聞きします。

問4-2. アルバイトを行う主な理由は何ですか。あてはまるものを一つ選択してください。

1.  学費のため
2.  生活費のため
3.  サークル活動費のため
4.  レジャー・旅行のため

- 5.  技術を得るため
- 6.  友人を得るため
- 7.  その他

◎「7. その他」を選択した方は、その理由を記入してください。

**問4で「1」～「4」を選択した方にお聞きします。**

問4－3. アルバイトに費やされる時間は学修の妨げになっていますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  とても妨げになっている
- 2.  すこし妨げになっている
- 3.  あまり妨げになっていない
- 4.  全く妨げになっていない

問5. 大学に希望する経済支援は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  給付型（返還義務なし）奨学金
- 2.  貸与型（返還義務あり）奨学金
- 3.  授業料免除
- 4.  一時貸付金（急な出費が生じた場合などの貸付）
- 5.  その他
- 6.  特に希望しない

◎「5. その他」を選択した方は、希望する経済支援の具体例を記入してください。

**問5で「4. 一時貸付金」を選択した方にお聞きします。**

問5－1. 一時貸付金を希望する理由は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  授業料のため
- 2.  生活費のため
- 3.  その他

問6. あなたの現在の住まいについて、あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  学生宿舎
- 2.  民間のアパート・マンションなど
- 3.  親と同居
- 4.  親戚・知人宅
- 5.  その他

**問6で「2」～「5」を選択した方にお聞きします。**

問6－1. 学生宿舎への入居を希望しますか。

- 希望する 希望しない

問6で「2」～「5」を選択した方にお聞きします。

問6-2. あなたの現在の居住地について、あてはまる番号を1つだけ選択してください。

- (A) 学生宿舎以外でつくば市内 (1. 天久保 2. 春日 3. 桜 4. 柴崎 5. 吾妻 6. その他)  
(B) つくば市以外で茨城県内 (1. 県南地域 2. 県西地域 3. その他)  
(C) 茨城県外で関東地方 (1. 東京都 2. 千葉県 3. 埼玉県 4. その他)  
(D) その他 (1. その他)

問6で「1. 学生宿舎」を選択した方にお聞きします。

問6-3. 入居している学生宿舎について、あてはまるものを各1つずつ選択してください。

① 学生宿舎の地区

1.  一の矢地区  
2.  平砂地区  
3.  追越地区  
4.  春日地区

② 居室のタイプ

1.  単身宿舎  
2.  世帯宿舎  
3.  二人室 (単身使用)  
4.  シェアハウス (グローバルヴィレッジ)

問6で「1. 学生宿舎」を選択した方にお聞きします。

問6-4. 入居している学生宿舎の満足度について、以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. 料金  
2. 居室  
3. 補食室  
4. 宿舎設備 (エアコン・トイレ・洗濯室・コインシャワー等)  
5. セキュリティ  
6. ネットワーク環境  
7. 売店  
8. 管理事務所の対応  
9. 総体的に

- a. かなり満足  
b. おおむね満足  
c. どちらともいえない  
d. 少し不満  
e. かなり不満

1  2  3  4  5  6

7  8  9

◎学生宿舎に関して、上記1～9の項目以外に満足している点または不満な点があれば自由に記述してください。

**問6で「1. 学生宿舎」を選択した方にお聞きします。**

問6－5. 学生宿舎での生活について、あてはまるものを各1つずつ選択してください。

**A. 近隣の入居者との関係は**

1.  よく会話をする
2.  時々会話をする
3.  あいさつを交わす程度
4.  ほとんど会話をしない

**B. 留学生居住者との交流（留学生の方は、日本人居住者との交流）はありますか**

1.  よくある
2.  ときどきある
3.  あまりない
4.  まったくない

問7. 筑波大学では現在、学生宿舎のリニューアルを検討しています。新しい宿舎に求める項目は何ですか。重視する順に3つまで選択してください。

1. 1番目に重視する項目
  2. 2番目に重視する項目
  3. 3番目に重視する項目
- a. 賃料  
b. 広さ  
c. 個室タイプであること（キッチン・トイレ・シャワー付き）  
d. シェアハウス形式であること  
e. エアコン  
f. Wi-Fi 環境  
g. セキュリティ
- 1  2  3

◎新しい学生宿舎に関して、上記a～gの項目以外に重視する項目があれば自由に記述してください。

問8. 今年の4月から6月における平均的な1日または1週間の過ごし方について

**A. 平日の1日での平均時間を記入してください**

- ①大学の授業の時間（受講のための動画視聴時間を含む）：  
対面  時間      動画視聴  時間
- ②授業の予習・復習・課題を行う時間：  
 時間

- ③研究の時間 :  時間
- ④授業と研究以外の自学自習のための時間 :  時間
- ⑤睡眠時間 :  時間

**B. 1週間の総時間を記入してください**

- ①大学の授業の時間（受講のための動画視聴時間を含む） :  
 対面  時間      動画視聴  時間
- ②授業の予習・復習・課題を行う時間 :  時間
- ③研究の時間 :  時間
- ④授業と研究以外の自学自習のための時間 :  時間
- ⑤サークル・ボランティアなどの活動時間 :  時間
- ⑥アルバイト時間 :  時間

**C. 休日の過ごし方について主にあてはまるものを選択してください（複数回答可）**

1.  自室で過ごす
2.  趣味・娯楽・買い物のため外出
3.  アルバイト
4.  部活動・サークル活動
5.  大学の授業
6.  大学の研究
7.  その他

◎「7. その他」を選択した方は、具体的な休日の過ごし方を記入してください。

問9. 現在の日常生活に、全体として満足していますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  かなり満足
2.  おおむね満足
3.  どちらともいえない
4.  少し不満
5.  かなり不満

問10. 新型コロナウイルス感染症拡大下での様々な制限は、あなたの生活にどのような影響を及ぼしていますか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. 自身のキャリア形成や就職・進学
2. 家族関係や友人との関係
3. 自身のメンタルヘルスや健康状態
4. アルバイト収入や家族の収入
5. 課外活動等
6. 余暇時間の過ごし方

a. とてもよい影響があった

- b. よい影響があった
- c. どちらとも言えない
- d. 悪い影響があった
- e. とても悪い影響があった

1  2  3  4  5  6

### Ⅲ. 通学等について

問1 1. あなたが1回の通学のために利用している交通手段はどのようなものですか。雨天および雨天以外の日それぞれについて、あてはまるものをすべて選択してください。

#### ① 雨天時

- 1.  徒歩
- 2.  自転車
- 3.  バイク（原付を含む）
- 4.  自家用車
- 5.  キャンパス交通システム（学内循環バス）
- 6.  学内循環バス以外の路線バス（高速バスを含む）
- 7.  つくばエクスプレス（TX）
- 8.  JR常磐線
- 9.  7、8以外の鉄道路線
- 10.  その他

#### ② 雨天以外

- 1.  徒歩
- 2.  自転車
- 3.  バイク（原付を含む）
- 4.  自家用車
- 5.  キャンパス交通システム（学内循環バス）
- 6.  学内循環バス以外の路線バス（高速バスを含む）
- 7.  つくばエクスプレス（TX）
- 8.  JR常磐線
- 9.  7、8以外の鉄道路線
- 10.  その他

問1 2. 雨天の日以外のあなたの通学時間は片道どのくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  15分未満
- 2.  15分～30分未満
- 3.  30分～45分未満
- 4.  45分～1時間未満
- 5.  1時間～1時間半未満
- 6.  1時間半～2時間未満



7.  2時間以上

問13. キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度はどのくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  ほぼ毎日
2.  週に2～3回
3.  月に2～3回
4.  年に数回
5.  いまままでに数回
6.  利用したことはない

## IV. 健康状態について

問14. あなたの過去1年間の健康状態について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  健康である
2.  健康不良で数日寝込んだ（受診・入院を除く）
3.  身体の病気で受診・入院した
4.  精神的な問題で受診・入院した
5.  心理的な問題で相談機関を利用した
6.  けがで受診・入院した
7.  その他

問15. あなたは過去1年間にどのようなことで困ったり悩んだりしましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  学業や研究の不振
2.  単位修得の問題
3.  転学類・転学群
4.  休学・退学
5.  進路
6.  就職
7.  友人との関係
8.  教員との関係
9.  研究室内の問題
10.  部活動・サークル内の問題
11.  恋愛関係
12.  家族関係
13.  自分の性格
14.  自分の精神的・心理的状态
15.  自分の身体的病気・けが等の状態
16.  経済状態
17.  ハラスメント
18.  その他

19. □ 特になし

◎ 「18. その他」を選択した方は、その内容を具体的に記入してください。

問16. 次の事柄について、過去1年間のあなたの感じ方に最も近いのはどれですか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. 自分のやりたいことができている
2. 何となく不安になることがある
3. 自分のことをよくわかってきている人がいる
4. 何をやってもうまくいかない気がする
5. 気分が憂鬱である
6. 「死にたい」と思ったことがある
7. 大学生活が充実している

- a. とてもあてはまる
- b. 少しあてはまる
- c. あまりあてはまらない
- d. 全くあてはまらない

1  √    2  √    3  √    4  √    5  √    6  √  
7  √

## V. 相談相手・情報の取得方法について

問17. あなたが重要なことを話したり、悩みを相談する人はどなたですか。話したり相談しやすい順に3つまで選択してください。

1. 1番目に話したり相談しやすい人は
2. 2番目に話したり相談しやすい人は
3. 3番目に話したり相談しやすい人は

- a. 家族
- b. 恋人
- c. 友人（学内）
- d. 友人（学外）
- e. 先輩・後輩（学内）
- f. 先輩・後輩（学外）
- g. 教員
- h. その他
- i. 特になし

1  √    2  √    3  √

問17で「a」～「h」を選択した方にお聞きします。

問17-1. 「問17」で話したり相談しやすいとして選んだ人たちとあなたが話をする機会（電話やメールも含みます）は普段どのくらいありますか。それぞれの人についてあてはまるアルファベットを選択してください。

1. 1番の人とは
2. 2番の人とは
3. 3番の人とは

- a. 頻繁にある
- b. 少しある
- c. あまりない
- d. ほとんどない

1  2  3

問18. 学業や生活に関わる一般的な情報を得ようとするとき、主に誰にあるいはどこにアクセスしますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  教員
2.  事務職員
3.  友人等
4.  TWINS 掲示板
5.  manaba の掲示板
6.  Microsoft Teams
7.  大学のHP
8.  学群・学類等のHP
9.  学群・学類やクラスのメーリングリストまたはグループライン
10.  SNS (Twitter、Instagram 等)
11.  その他

問19. 筑波大学には、学生生活の中で生じる様々な問題について、相談できる機関や制度があります。利用状況について、以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. スチューデントプラザ総合相談窓口
2. 春日地区総合相談窓口
3. 学生相談室
4. キャリア・就職相談
5. 相談室「あう」
6. 保健管理センター1階 精神保健相談（精神科）
7. 保健管理センター2階 健康相談（内科）
8. LGBT等の相談窓口（DACセンターダイバーシティ）
9. 障害学生支援の相談窓口（DACセンターアクセシビリティ）
10. 留学生相談室
11. ハラスメント相談センター

- a. 利用したことがある
- b. 利用したことはないが、利用の仕方は知っている

c. 利用したことはないが、存在は知っている

d. 利用したことがなく、存在も知らない

1  2  3  4  5  6   
7  8  9  10  11

## VI. クラス制度・学生組織・課外活動等について

「1年生」「2年生」の方のみにお聞きします。

問20. あなたのクラスはどのように機能していますか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  大学への要望をまとめる
2.  大学からの情報を学生に連絡する
3.  勉強会を行う
4.  行事を企画運営する
5.  友人・知り合いをつくる
6.  クラス担任教員とのつながりを維持する
7.  その他
8.  機能していない

「1年生」「2年生」の方のみにお聞きします。

問21. 学生組織の活動について、以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. クラス代表者会議の活動
2. 全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議（全代会）の活動

- a. よく知っている
- b. まあまあ知っている
- c. あまり知らない
- d. 全く知らない

1  2

問22. サークル活動について、あてはまるものを1つだけ選択してください。（大学から認定されたサークルとは課外活動団体および一般団体のことを示します。）

1.  大学から認定されたサークルで活動中
2.  大学の認定を受けていないサークルで活動中
3.  「1」と「2」両方のサークルで活動中
4.  以前は活動していた
5.  活動したことはない

問22で「1」～「4」を選択した方にお聞きします。

問22-1. サークル活動の動機について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  友人がほしくて
2.  知識・教養のため
3.  健康のため

- 4.  技術向上のため
- 5.  団体活動を経験したい
- 6.  趣味と一致
- 7.  余暇の利用のため
- 8.  レクリエーションの一環で
- 9.  希望の進路と同じで有益
- 10.  就職などにプラス
- 11.  高校時代からの継続
- 12.  勧誘されて
- 13.  社会貢献のため
- 14.  その他

問23. 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘についてお尋ねします。以下の項目ごとに当てはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

- 1. 大学入学後、キャンパス内で勧誘を受けたことが
- 2. 大学入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことが
- 3. 大学入学後、キャンパス内で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが
- 4. 大学入学後、キャンパス外で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが

- a. ある
- b. ない

1  2  3  4

問24. 大学生となってからのボランティア活動について、あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  授業やゼミを通じて参加したことがある
- 2.  つくばアクションプロジェクト (T-ACT) を通じて参加したことがある
- 3.  サークル活動を通じて参加したことがある
- 4.  その他の機会に参加したことがある
- 5.  参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている
- 6.  ボランティア活動に参加する予定はない

問25. つくばアクションプロジェクト (T-ACT) の活動について、あてはまるものをすべて選択してください。

(T-ACT とは、学生の「やってみたい」を支援する学生支援組織です。)

- 1.  T-ACT で企画の発案者 (プランナー) や運営者 (オーガナイザー) を行ったことがある
- 2.  T-ACT の企画に参加者 (パーティシパント) として関わったことがある
- 3.  総合科目「みんなで創ろう『つくばアクションプロジェクト』」を受けたことがある
- 4.  T-ACT 主催のイベント (活動報告会や公開シンポジウムなど) に参加したことがある
- 5.  その他の機会でも T-ACT に関わったことがある
- 6.  参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている
- 7.  T-ACT の活動に参加する予定はない

問26. 筑波大学の学外研修施設（レイクロッジヤマナカ・ナミカゼ館山）を利用したことはありますか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. レイクロッジヤマナカについて
2. ナミカゼ館山について

- a. 利用したことがある
- b. 利用したことがない
- c. 存在を知らない

1  √ 2  √

## Ⅶ. 進路や就職活動について

問27. あなたの卒業後の進路（現在の希望を含む）について、あてはまる番号を1つだけ選択してください。

- (A) 進学 (1. 筑波大学大学院 2. 国内の他大学大学院 3. 海外の大学院 4. その他)
- (B) 就職 (1. 企業 2. 教員 3. 公務員 4. 自営・起業 5. その他)
- (C) その他 (1. 決まっていない 2. まだ考えていない 3. その他)

√

問28. あなたは卒業後、外国で（留学生は卒業後、日本で）働きたいと思いますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1. ○ 強くそう思う
2. ○ ややそう思う
3. ○ 分からない
4. ○ あまりそう思わない
5. ○ 全くそう思わない

問29. あなたの進路決定の際の主な相談相手はどなたですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  家族
2.  親戚・知人
3.  友人・先輩
4.  教員
5.  事務職員
6.  その他

問30. あなたが進路を決めた（これから決めるときに考慮する）主な理由について、あてはまるものをすべて選択してください。

1.  やりがい
2.  社会的貢献
3.  給与が多い
4.  安定した生活
5.  ワーク・ライフ・バランス
6.  自分の能力や適性

- 7.  専門知識を深める
- 8.  大学で学んだことが生かせる
- 9.  社会的評価
- 10.  将来性
- 11.  地理的利便性
- 12.  その他

問3 1. 将来の進路（キャリア形成）についてあなたの感じ方に最も近いのはどれですか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

- 1. 将来の進路（キャリア形成）について、とても関心を持っている
- 2. 働くことについて、真剣に考えたことがない
- 3. 進路決定では、周囲の雰囲気流されることはない
- 4. 職業生活を充実させるためには、自分自身の責任が大きいと思う
- 5. 希望する進路に進むための具体的な計画を立てている
- 6. 希望する進路は決まっているが、それに向けての努力は特にしていない

- a. よくあてはまる
- b. ややあてはまる
- c. どちらともいえない
- d. あまりあてはまらない
- e. 全くあてはまらない

1  2  3  4  5  6

問3 2. あなたは CARIO（つくばキャリアポートフォリオ）を活用していますか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  現在、活用している
- 2.  時々、活用している
- 3.  ファーストイヤーセミナー（旧フレッシュマン・セミナー）でのみ活用した
- 4.  活用していない

◎「4. 活用していない」を選択した方で、活用していない理由がある方は記入してください。

「就職活動をした」「就職活動中」の方にお聞きします。

問3 3. 就職活動に役立った主な情報源は何ですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  就職課
- 2.  就職課 HP
- 3.  学内の就職ガイダンス
- 4.  学群・学類の就職委員
- 5.  就職情報誌
- 6.  就職情報サイト
- 7.  学外の就職イベント

- 8.  企業・自治体等のHP
- 9.  インターンシップ
- 10.  OB・OG 訪問
- 11.  SNS
- 12.  その他

◎「12. その他」を選択した方は、役に立った情報源を具体的に記入してください。

「就職活動をした」「就職活動中」の方にお聞きます。

問34. 就職活動によって、大学での学修に支障ができましたか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  支障は全くでていない
- 2.  支障はあまりでていない
- 3.  支障が多少はでている
- 4.  支障がととてもでている

## VIII. 家庭の状況について

問35. あなたの現在の生計を支えている方についてお尋ねします。

A1. あなたの生計を主に支えている方は誰ですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

- 1.  父
- 2.  母
- 3.  本人
- 4.  兄弟姉妹
- 5.  祖父母
- 6.  配偶者
- 7.  その他

A2. その方の職業についてあてはまるものを1つだけ選択してください。

(選択肢は「令和2年国勢調査結果」(総務省統計局)を参照)

- 1.  管理的職業(企業・官公庁における課長職以上、議員や経営者を含む)
- 2.  専門的、技術的職業(医師・看護師・弁護士・教師・保育士・税理士・技術者など)
- 3.  事務職(総務・人事・経理などの事務一般)
- 4.  販売職(商品販売、小売・卸売、不動産仲介、保険外交、営業職など)
- 5.  サービス職(美容師、料理人、旅行ガイド、接客業など)
- 6.  保安的職業(自衛官、警察官、消防士、警備員など)
- 7.  農林漁業職(ただし、農業以外の仕事の所得が主となっている兼業農家や農水産物加工は含まない)
- 8.  技能工、生産工程に関わる職業(工員、建設作業員、大工、自動車整備、電気工事など)
- 9.  運輸・清掃に関わる職業(運転手、郵便配達、倉庫作業、清掃など)
- 10.  無職(学生、年金生活者を含む)
- 11.  その他
- 12.  分からない



「あなたの生計を支えている方」が複数いる方にお聞きします。

B 1. Aで回答した方以外であなたの生計を支えている方は誰ですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  父
2.  母
3.  本人
4.  兄弟姉妹
5.  祖父母
6.  配偶者
7.  その他

B 2. その方の職業についてあてはまるものを1つだけ選択してください。

(選択肢は「令和2年国勢調査結果」(総務省統計局)を参照)

1.  管理的職業(企業・官公庁における課長職以上、議員や経営者を含む)
2.  専門的、技術的職業(医師・看護師・弁護士・教師・保育士・税理士・技術者など)
3.  事務職(総務・人事・経理などの事務一般)
4.  販売職(商品販売、小売・卸売、不動産仲介、保険外交、営業職など)
5.  サービス職(美容師、料理人、旅行ガイド、接客業など)
6.  保安的職業(自衛官、警察官、消防士、警備員など)
7.  農林漁業職(ただし、農業以外の仕事の所得が主となっている兼業農家や農水産物加工は含まない)
8.  技能工、生産工程に関わる職業(工員、建設作業員、大工、自動車整備、電気工事など)
9.  運輸・清掃に関わる職業(運転手、郵便配達、倉庫作業、清掃など)
10.  無職(学生、年金生活者を含む)
11.  その他
12.  分からない

**問36. あなたの現在の生計を支えている方の昨年(2021年1月～12月)の年間税込み収入はどれくらいですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。生計を支えている方が複数いる場合は、その全員分を合算してください。**

1.  300万円未満
2.  300万円～400万円未満
3.  400万円～500万円未満
4.  500万円～600万円未満
5.  600万円～700万円未満
6.  700万円～800万円未満
7.  800万円～900万円未満
8.  900万円～1000万円未満
9.  1000万円～1100万円未満
10.  1100万円～1200万円未満
11.  1200万円～1300万円未満
12.  1300万円以上

13.  分からない

## IX. 本学への期待や要望について

問37. 筑波大学の教員に最も期待することはどのようなことですか。あてはまるものを1つだけ選択してください。

1.  学問・研究の楽しさを教えてほしい
2.  授業内容を充実させてほしい
3.  もっと解りやすく教えてほしい
4.  ハラスメントの問題に敏感になってほしい
5.  その他
6.  特になし

◎「5. その他」を選択した方は、期待することを具体的に記入してください。

問38. 教育面や制度面で充実してほしいと思うのはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選択してください。

1.  教育スタッフ
2.  カリキュラム
3.  教職課程
4.  課外教育プログラム（講演会・講習会等）
5.  留学制度
6.  就職説明会
7.  クラス制度
8.  学生組織
9.  奨学金・授業料免除
10.  課外活動に対する支援
11.  ボランティア活動に対する支援
12.  メンタル面に関する支援
13.  ハラスメント対応（組織・制度）
14.  その他

◎「14. その他」を選択した方は、充実してほしい点を具体的に記入してください。

問39. TWINS、KdB（シラバス）、manaba の使いやすさについて満足していますか。以下の項目ごとにあてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

1. TWINS の使いやすさ
2. KdB（シラバス）の使いやすさ
3. Manaba の使いやすさ

- a. 満足
- b. まあ満足
- c. 普通
- d. やや不満
- e. 不満

1  2  3  4  5

◎TWINS、KdB（シラバス）、manaba について改善してほしい点があれば記入してください。

問40. キャンパス内の施設等で、特に整備・充実してほしいのはどれですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1.  教室・実験室
- 2.  図書館
- 3.  サテライト室
- 4.  ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）
- 5.  体育施設
- 6.  課外活動施設
- 7.  セキュリティ
- 8.  駐車場
- 9.  駐輪場
- 10.  キャンパス交通システム（学内循環バス）
- 11.  ペDESTリアンデッキ
- 12.  外灯
- 13.  その他

◎「13. その他」を選択した方は、整備・充実してほしい点を具体的に記入してください。

問41. 学内の福利厚生施設の満足度について、以下の項目ごとに、あてはまるアルファベットを1つずつ選択してください。

- 1. 食堂
- 2. 喫茶
- 3. パン販売
- 4. 弁当販売
- 5. キッチンカー
- 6. 書店
- 7. 画材
- 8. その他売店
- 9. 自動販売機

- a. 満足

- b. まあ満足
- c. 普通
- d. やや不満
- e. 不満

f. 利用したことがない

1  2  3  4  5  6   
 7  8  9

◎現在の福利厚生施設等で不便を感じたり改善してほしい点があれば、下記の分類表から該当する番号を記入後、具体的な内容を記述してください。複数項目に対する記述も可能です。

**【分類表】**

- 1. 食堂 2. 喫茶 3. パン販売 4. 弁当販売 5. キッチンカー 6. 書店 7. 画材
- 8. その他売店 9. 自動販売機

**【記述例】**  
 5. もっと多くの場所で販売してほしい  
 1. . . . . .

**【記述欄】**

問4 2. 筑波大学の教育や学生生活全般に対する要望や提言等について、以下の分類表の該当する項目を記入後、具体的な内容を記述してください。複数項目に対する記述も可能です。

**【分類表】**

- (A) 制度等に関する要望 (1. カリキュラム 2. 学生生活支援 3. 経済支援  
4. キャリア・就職支援 5. その他)
- (B) 教職員に対する要望 (1. 教員に対して 2. 事務職員に対して 3. その他)
- (C) 施設に対する要望 (1. 学修・研究環境 2. ネットワーク環境 3. 学習システム (TWINS、KdB、manaba 等) 4. 図書館 5. 宿舍 6. 食堂・売店  
7. 駐輪場 8. ペDESTリアンデッキ・道路等 9. その他)
- (D) その他 (1. その他)

**【記述例】**  
 C 4. 開館時間を延長してほしい  
 A 1. . . . . .

**【記述欄】**

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

Survey for Student Life in the University of Tsukuba, 2022  
For Undergraduate Students

\*\*\* Please Read \*\*\*

The purposes of this Student Life Fact-Finding Survey (called "the survey" below) are to further improve student life at the University of Tsukuba and to support improvements in education. The survey is for all students throughout the university. We hope to use everyone's responses as a valuable resource for making student life and education at the University of Tsukuba even better in the future.

The results of the survey will not be used for any purpose other than those mentioned above. Whether to respond to the survey is your choice. You will not be penalized in any way for your answers or for not giving answers. Because the survey is conducted on the "manaba" study management system, the university will be able to access your personal information. Student registration numbers may be used, but only when necessary for analysis involving other information held by the university in order to further improve student life or improve education at the University of Tsukuba. The results will be statistically processed and none of your personal information will be made public.

Personal information obtained in the survey will be handled strictly in accordance with the law "Act on the Protection of Personal Information held by Administrative Organs" (Act No. 57 of 2003), the University's "Personal Information Protection Rules" (Corporation Regulations No. 6 of 2005), and the University's Privacy Policy (approved by the University's President on February 4, 2021) based on the EU's General Data Protection Regulation (GDPR).

Reports summarizing the results obtained from previous surveys can be found at the following web page. We intend to publish a similar report on this survey.

URL: <https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-lifesurvey/>

If the above is acceptable to you, please answer the questions below.

We hope that many of you will understand the intent of the survey and take part.

October 2022

Ota Kei, Vice President for Student Affairs, University of Tsukuba

Kato Mitsuyasu, Vice President for Education, University of Tsukuba

\* \* \* \* \*

1. Notes for filling out the survey:

- ① The survey has 44 questions in total. (Expected time: about 30 minutes)
- ② Some questions ask for selection of numbers, letters, or such and some ask for more detailed answers.

When a selection is required, please select the applicable number, letter or such.

When a written answer is required, please type in the designated box.

- ③ Except when specified otherwise in the questions, answers should describe your situation as of October 1, 2022.
- ④ If you like to save your entry in the middle of a questionnaire, click the ※1“中断する” box on the page of questionnaire.
- ⑤ If you like to move your page back and forth, click the ※2“前へ” or ※3“次へ” box on the page of questionnaire. Do not use the back function on an Internet browser.  
※1 “中断する” : quit ※2”前へ” : forward ※3”次へ” : backward

2. Submission period:

October 3 (Monday) to October 31 (Monday), 2022

3. Please send any questions or feedback to the survey administrators (General Affairs Section, Division of Student Welfare, Department of Student Affairs).

Tel. 029-853-2298 or 029-853-2224

Email: [gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gk.gakuseikikaku@un.tsukuba.ac.jp)

## **I. About Yourself**

Q1. Have you experienced adult life outside academia?

- Yes       No

Q2. What are your main reasons for choosing the University of Tsukuba? Select all applicable answers.

- 1.  Reputation in the field of research
- 2.  Good teaching content
- 3.  Availability of the field I want to study
- 4.  Quality and ability of faculty advisors/good advisory system
- 5.  Good teaching and research facilities
- 6.  Wide choice of majors
- 7.  It is a national university
- 8.  Good systems of financial aid for tuition fees and living costs
- 9.  International focus with many overseas students and a comprehensive study abroad system
- 10.  Attractive green and spacious campus
- 11.  Well-equipped student residence halls
- 12.  Lively extracurricular activities
- 13.  Good prospects for career and employment after graduation
- 14.  Gained a good impression on an open day
- 15.  Recommended by a parent, high school teacher, or such
- 16.  Convenient for commuting from home
- 17.  Easy to obtain credentials and certifications
- 18.  Other

Ⓒ If you selected "18. Other", enter a specific reason(s).

---

## **II. General Lifestyle**

**Q3. From April to June 2022, what were your average monthly income and expenditure.**

### **A. Income**

- |                               |       |     |
|-------------------------------|-------|-----|
| ① Remittances                 | _____ | yen |
| ② Scholarship (grant type)    | _____ | yen |
| Scholarship (loan type)       | _____ | yen |
| ③ Part-time work              | _____ | yen |
| ④ Drawn from personal savings | _____ | yen |
| ⑤ Loans                       | _____ | yen |
| ⑥ Other                       | _____ | yen |

### **B. Expenses**

- |   |       |     |
|---|-------|-----|
| ① Food  | _____ | yen |
| ② Housing (rent, service fees, utilities, etc.)   | _____ | yen |
| ③ Study costs (excluding tuition; including library fees, office supplies, computer expenses, etc.) | _____ | yen |
| ④ Transport (commuter pass, fuel costs, parking fees, etc.)   | _____ | yen |
| ⑤ Communications (telephone, Internet, etc.)  | _____ | yen |
| ⑥ Others (leisure, hobbies, entertainment, clothing, medical costs, etc.)                           | _____ | yen |
| ⑦ Depositing savings/loan payments  | _____ | yen |

**Q4. Have you done any part-time work since the beginning of April 2022? Select all applicable answers.**

1.  Regular part-time work during the spring semester
2.  Casual part-time work during the spring semester
3.  Regular part-time work during the summer vacation
4.  Casual part-time work during the summer vacation
5.  None

**If you selected any of 1 to 4 in Q4, answer Q4-1.**

**Q4-1. What kind of work did you do? Select all applicable answers.**

1.  Private tutoring
2.  Cram school teaching or remote learning support
3.  Clerical work
4.  A special skill (translation, interpreting, sports coaching, etc.)
5.  Restaurant or bar work
6.  Light work other than restaurant or bar work (surveys, deliveries, sales work, etc.)

7.  Heavy work (house-moving, construction, etc.)
8.  Short-term employment at the university or similar
9.  Other

⊙ If you selected "9. Other", enter the kind(s) of work.

---

**If you selected any of 1 to 4 in Q4, answer Q4-2.**

Q4-2. What was/were your main reason(s) for doing part-time work? Select all applicable answers.

1.  To pay tuition
2.  To pay living costs
3.  To pay for student club activities
4.  To pay for leisure activities or travel
5.  To learn skills
6.  To find friends
7.  Other

⊙ If you selected "7. Other", enter the reason(s).

---

**If you selected any of 1 to 4 in Q4, answer Q4-3.**

Q4-3. Has the time you spent working part-time interfered with your studies? Select only one answer.

1.  Very much
2.  A bit
3.  Very little
4.  Not at all

Q5. What kind(s) of financial aid would you like to see at the university? Select all applicable answers.

1.  Grant-type scholarships (no repayment required)
2.  Loan-type scholarships (repayment required)
3.  Tuition fee exemptions
4.  Short-term loans (loans to pay urgent expenses etc.)
5.  Other
6.  None in particular

⊙ If you selected "5. Other", enter a specific example(s) of the financial aid you would like to see.

---

**If you selected 4 (short-term loans) in Q5, answer Q5-1.**

Q5-1. What should the short-term loans be for? Select all answers that apply.



1.  Tuition fees
2.  Living costs
3.  Others

**Q6. Where are you currently living? Select only one answer.**

1.  Student residence hall
2.  Private apartment or similar
3.  With parents
4.  A relative or acquaintance's home
5.  Others

**If you selected any of 2 to 5 in Q6, answer Q6-1.**

**Q6-1. Would you like to live in a student residence hall?**

- Yes       No

**If you selected any of 2 to 5 in Q6, answer Q6-2.**

**Q6-2. Which area do you currently live in? Select one answer.**

- (A) Tsukuba City other than the student residence halls  
(1. Amakubo 2. Kasuga 3. Sakura 4. Shibasaki 5. Azuma 6. Other)
- (B) Ibaraki Prefecture other than Tsukuba  
(1. South Ibaraki District 2. West Ibaraki District 3. Other)
- (C) Kanto other than Ibaraki  
(1. Tokyo Metropolis 2. Chiba Prefecture 3. Saitama Prefecture 4. Other)
- (D) Other  
(1. Other)
- \_\_\_\_\_

**If you selected "1. Student residence hall" in Q6, answer Q6-3.**

**Q6-3. Where is your student residence hall and what type of room do you have? Select one of each.**

① **Area of student residence hall**

1.  Ichinoya
2.  Hirasuna
3.  Oikoshi
4.  Kasuga

② **Type of room**

1.  Single room
2.  Family room
3.  Double room (for unmarried students)

4.  Shared house (Global Village)

**If you selected "1. Student residence hall" in Q6, answer Q6-4.**

Q6-4. How satisfied are you with the student residence hall? Select one letter for each category.

1. Cost
2. Personal room
3. Communal kitchen
4. Facilities (air conditioning, toilets, laundry room, coin showers, etc.)
5. Security
6. Internet access
7. Shops
8. Admin office
9. Overall

- a. Very satisfied
- b. Moderately satisfied
- c. Neutral
- d. Moderately dissatisfied
- e. Very dissatisfied

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_  
7 \_\_\_\_\_ 8 \_\_\_\_\_ 9 \_\_\_\_\_

- ⊙ If you are satisfied or dissatisfied with anything about the student residence halls apart from categories 1 to 9 above, enter details here.

\_\_\_\_\_

**If you selected 1 (Student residence halls) in Q6, answer Q6-5.**

Q6-5. How is life in the student residence hall? Select one answer for each question.

**A. Do you know your neighbors?**

1.  We often talk
2.  We occasionally talk
3.  We just exchange greetings
4.  We hardly talk

**B. Do you talk to residents from other countries? (If you are from another country, do you talk to Japanese residents?)**

1.  Often
2.  Sometimes
3.  Rarely

4.  Never

Q7. We are considering reconstructions of the student residence halls. What things would you like to see improved? Choose the three most important.

1. Most important
2. Second most important
3. Third most important

- a. Keeping rents low
- b. Room sizes
- c. More single rooms (with kitchen/toilet/shower)
- d. More shared house rooms
- e. Air conditioning
- f. Wi-Fi quality
- g. Security

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

If there is anything you think important for the new student residence halls apart from categories a to g above, enter details here.

\_\_\_\_\_

Q8. How did you spend a typical day and week from April to June 2022?

**A. On average, how many hours did you spend on the following on a weekday (Monday to Friday)?**

- ① University classes (including watching lectures on screen):  
In person \_\_\_\_\_ hours; screen time \_\_\_\_\_ hours
- ② Preparing for and reviewing classes and performing assignments \_\_\_\_\_ hours
- ③ Research \_\_\_\_\_ hours
- ④ Self-directed study outside classes and research \_\_\_\_\_ hours
- ⑤ Sleep \_\_\_\_\_ hours

**B. How much time in total did you spend on the following in a week?**

- ① University classes (including watching lectures on screen):  
In person \_\_\_\_\_ hours; screen time \_\_\_\_\_ hours
- ② Preparing for and reviewing classes and performing assignments \_\_\_\_\_ hours
- ③ Research \_\_\_\_\_ hours
- ④ Self-directed study outside classes and research \_\_\_\_\_ hours
- ⑤ Student club activities, volunteer activities, etc. \_\_\_\_\_ hours
- ⑥ Part-time work \_\_\_\_\_ hours

**C. How did you spend your days off? Select the most applicable answer (or multiple answers).**

1.  Staying in my room
2.  Going out for hobbies/entertainment/shopping
3.  Part-time work
4.  Extracurricular/student club activities
5.  University classes
6.  University research
7.  Other

⊙ If you selected "7. Other", enter details of how you spent your days off.

\_\_\_\_\_

**Q9. Are you satisfied with your daily life in general? Select only one answer.**

1.  Very satisfied
2.  Fairly satisfied
3.  Neutral
4.  Fairly dissatisfied
5.  Very dissatisfied

**Q10. How have the various restrictions associated with the COVID-19 pandemic affected your life?**

Select one letter for each category.

1. Career plan/employment/future study
2. Relationships with families and friends
3. Mental or physical health
4. Income from part-time work or family income
5. Extracurricular activities
6. How I spend free time

- a. Very positive effect
- b. Some positive effect
- c. Neutral
- d. Some negative effect
- e. Very negative effect

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_

**III. Daily Commuting**

**Q11. How do you commute between home and the University? Select all answers that apply for both wet days and dry days.**

① **Wet days**

1.  Walking
2.  Bicycle
3.  Motorbike (including scooters)
4.  Private car
5.  Campus transport system (University Loop-line On-campus Bus)
6.  Other local bus (including express bus)
7.  Tsukuba Express (TX)
8.  JR Joban line
9.  Rail lines other than 7,8
10.  Others

② **Dry days**

1.  Walking
2.  Bicycle
3.  Motorbike (including scooters)
4.  Private car
5.  Campus transport system (University Loop-line On-campus Bus)
6.  Other local bus (including express bus)
7.  Tsukuba Express (TX)
8.  JR Joban line
9.  Rail lines other than 7,8
10.  Others

Q12. How long does your commute take (for one way) usually except wet days? Select only one answer.

1.  Less than 15 minutes
2.  15–29 minutes
3.  30–44 minutes
4.  45–59 minutes
5.  60–89 minutes
6.  90–119 minutes
7.  More than two hours

Q13. How often do you use the campus transport system (University Loop-line On-campus Bus)?

Select only one answer.

1.  Nearly every day
2.  Two or three times a week
3.  A few times a month
4.  A few times a year
5.  A few times ever

6.  Never

## **IV. Health**

Q14. How has your health been in the past one year? Select all answers that apply.

1.  Good health
2.  Stayed at home for some days due to an illness
3.  Was examined or stayed in hospital due to a physical illness
4.  Was examined or stayed in hospital due to a mental problem
5.  Used a counseling service for a psychological problem
6.  Was examined or stayed in hospital due to injury
7.  Others

Q15. What kinds of problems have you experienced in the past one year? Select all answers that apply.

1.  Lack of progress in study or research
2.  A problem with academic credits
3.  Transferring to a different course or school
4.  Leave of absence or leaving university
5.  Career planning
6.  Job-hunting
7.  Relationships with friends
8.  Relationships with faculty
9.  Problems in the laboratory
10.  Problems in a club or circle
11.  Romantic relationships
12.  Family relationships
13.  Personal character
14.  Personal mental or psychological condition
15.  Personal physical condition such as illness or injury
16.  Money problems
17.  Harassment
18.  Others
19.  Nothing particular

© If you selected 18 (Others) in Q15, write in details.

---

Q16. How well do these statements match how you have felt over the past one year? Select only one answer for each statement.

1. I can do what I want to do

2. I have some worries
3. There are people here who understand me
4. Nothing I do goes well
5. I feel depressed
6. I have wanted to die
7. My university life is fulfilling

- a. Definitely
- b. Fairly
- c. Not really
- d. Not at all

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_  
7 \_\_\_\_\_

## **V. Availability of Advice and Information**

Q17-1. Who do you talk to about important matters and seek advice from? Select up to three answers, starting with the person who is easiest to approach.

1. Easiest to approach
  2. Second easiest
  3. Third easiest
- a. Family member
  - b. Romantic partner
  - c. Friend (in the University)
  - d. Friend (outside the University)
  - e. Senior and junior colleagues (in the University)
  - f. Senior and junior colleagues (outside the University)
  - g. Faculty member
  - h. Others
  - i. Nobody in particular

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

**If you selected a to h in Q17-1, answer Q17-2.**

Q17-2. How often can you talk to the people you identified in Q17-1 (including telephone and email) ?

Select only one answer for each person.

1. The easiest to approach
2. The second easiest

3. The third easiest

- a. Often
- b. Sometimes
- c. Occasionally
- d. Almost never

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

Q18. When you want to find general information about study or university life, to who/where do you usually go? Select all applicable answers.

- 1.  Faculty
- 2.  Admin staff
- 3.  Friends, etc.
- 4.  The TWINS message board
- 5.  The manaba message board
- 6.  Microsoft Teams
- 7.  The university website
- 8.  Website for your school, college, etc.
- 9.  Email group or chat group for your school, college, course, or class
- 10.  Social media (Twitter, Instagram, etc.)
- 11.  Other

Q19. University of Tsukuba has organizations and systems where you can go for consultation regarding the problems that arise in student life. Have you used them? Select only one answer for each category.

- 1. Student Plaza General Consultation Service
- 2. Kasuga Area General Consultation Service
- 3. Student Counseling Room
- 4. Desk for career counseling
- 5. Work-life balance counseling room "Au"
- 6. University Health center 1F, Mental Health care (Psychiatry)
- 7. University Health center 2F, Health consultation (Internal medicine)
- 8. Desk for LGBT and other sexual minorities (Diversity section in DAC Center)
- 9. Support service for students with disabilities (Accessibility section in DAC Center)
- 10. International students consulting room
- 11. Harassment counseling center

- a. I have used this
- b. I have not used this but I know how to access it



- c. I have not used this but I am aware of it
- d. I have not used this and I was not aware of it

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_  
 7 \_\_\_\_\_ 8 \_\_\_\_\_ 9 \_\_\_\_\_ 10 \_\_\_\_\_ 11 \_\_\_\_\_

## **VI. Class Groups, Student Organizations, Extracurricular Activities, etc.**

**Only first-year and second-year undergraduates should answer Q20.**

Q20. What does your class group do? Select all answers that apply.

- 1.  Petitions the University as a group
- 2.  Propagates information from the University to the students
- 3.  Functions as a study group
- 4.  Plans and organizes events
- 5.  Forms friendships and personal connections
- 6.  Maintains communication with the class teacher
- 7.  Others
- 8.  Nothing effective

**Only first-year and second-year undergraduates should answer Q21.**

Q21. How much do you know about these student organization activities? Select only one answer for each.

- 1. Activities in class representative meetings
  - 2. School and college representative meeting (Zendaikai) and their activities
- a. I know a lot about it
  - b. I know something
  - c. I know very little
  - d. I don't know anything

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_

Q22. How active are you in student groups? Select only one answer that applies.

- 1.  I belong to and am active only in a student group authorized by the University
- 2.  I belong to and am active only in a group that is not authorized by the University
- 3.  I belong to and am active in both groups in 1 and 2
- 4.  I used to be active in a student group
- 5.  I have never been active in a student group

**If you selected any of 1 to 4 in Q22, answer Q22-1.**

Q22-1. What motivates you to be active in a student group? Select all answers that apply.

1.  To make friends
2.  To gain knowledge and education
3.  To keep health
4.  To improve skills
5.  To gain experience in group activities
6.  To fill my interests
7.  To make use of leisure time
8.  To fill part of my recreation
9.  To contribute for my chosen career
10.  To contribute getting a job
11.  To continue what I did in high school
12.  To respond to the invitation
13.  To contribute to society
14.  Others

Q23. Have you been solicited to attend a religious group, a self-improvement seminar or similar? Select only one answer for each category.

1. Since joining the University, I have been solicited on campus
2. Since joining the University, I have been solicited off campus
3. Since joining the University, I have seen/heard someone else being solicited on campus
4. Since joining the University, I have seen/heard someone else being solicited off campus

- a. Yes
- b. No

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_

Q24. Have you participated in volunteer activities since joining the University? Select all answers that apply.

1.  I have participated through a class or a seminar
2.  I have participated through Tsukuba Action Project (T-ACT)
3.  I have participated through student group activities
4.  I have participated in another way
5.  I have not participated but I would like to participate while I am at the University
6.  I have no interest in volunteer activities

Q25. Have you participated in Tsukuba Action Project (T-ACT)? Select all answers that apply. (T-ACT is a student support organization that helps students to actualize their ideas or plans.)

1.  I have been a planner or organizer for a T-ACT project

2.  I have been a participant in a T-ACT project
3.  I have taken the introductory course "Planning and Execution of the Tsukuba Action Project"
4.  I have participated in a T-ACT event (such as an activity report meeting or a public symposium)
5.  I have done something else with T-ACT
6.  I have not participated but I would like to participate while I am in the University
7.  I have no interest in T-ACT activities

Q26. Have you used the university's off-campus training facilities (Lake Lodge Yamanaka and Nami Kaze Tateyama)? Select one answer for each.

1. Lake Lodge Yamanaka
2. Nami Kaze Tateyama

- a. I have used it
- b. I have not used it
- c. I don't know anything about it

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_

## **VII. Career and Job Hunting**

Q27. What do you plan to do after graduation including your current hope? Select only one answer.

(A) Further education

- ( 1. University of Tsukuba graduate school 2. Another graduate school in Japan  
3. A graduate school in another country 4. Others)

(B) Employment

- (1. In a company 2. Teaching 3. As a public servant 4. Self-employment/entrepreneur  
5. Others)

(C) Others

- (1. Undecided 4. Haven't really considered 3. Others)

\_\_\_\_\_

Q28. After graduation, do you want to work in another country? (International students: Do you want to work in Japan?) Select only one answer.

1.  Definitely
2.  I think so
3.  I'm not sure
4.  I think not
5.  Definitely not

Q29. Who do you mainly consult about career decisions? Select all answers that apply.

1.  Family
2.  Relative/acquaintance
3.  Friend/senior student
4.  Faculty member
5.  Administrative staff
6.  Others

Q30. What are or will be the main factors in choosing your career? Select all answers that apply.

1.  It will be worthwhile
2.  To contribute to society
3.  High income
4.  Stability in life
5.  Good work-life balance
6.  It will suit my skills and talents
7.  Deepening expertise in field
8.  To use what I have learned at University
9.  Social status
10.  Long-term prospects
11.  Convenient work locations
12.  Others

Q31. How do you feel about your future career (Career development)? Select only one answer for each statement.

1. I think a lot about my future career (Career development)
  2. I have not thought seriously about working
  3. My future career plans are not influenced by my surroundings
  4. Achieving a fulfilling professional life is very much my responsibility
  5. I have made specific plans for progress in my chosen career
  6. I have decided what career I want but I have not done anything specific for it
- 
- a. Definitely
  - b. I think so
  - c. I'm not sure
  - d. I think not
  - e. Definitely not

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_ 6 \_\_\_\_\_

Q32. Have you used CARIO (Tsukuba Career Portfolio)? Select only one answer.

1.  I am currently using it.
  2.  I have used it at times.
  3.  I only went to the first year seminar (formerly "freshman seminar").
  4.  I have not used it.
- ⊙ If you selected "4. I have not used it", enter a reason(s) you have not used CARIO.
- 

**Answer Q33 if you are job hunting now or have done job hunting activities.**

**Q33. What are the most useful sources of information for job hunting? Select all applicable answers.**

1.  Career Development Office/Division of Career Services
2.  Website of Career Development Office/Division of Career Services
3.  Job hunting guidance in the university
4.  Career development committee for your school or college
5.  Job listings magazine
6.  Job listings website
7.  Job hunting events outside the university
8.  Websites of businesses, government bodies, etc.
9.  Internships
10.  Alumni visits
11.  Social media
12.  Other

⊙ If you selected "12. Other", enter details of the most useful source(s) of information.

---

**Answer Q34 if you are job hunting now or have done job hunting activities.**

**Q34. Have your job hunting activities interfered with your university studies? Select only one answer.**

1.  Not at all
2.  Very little
3.  To some extent
4.  Very much

## **VIII. Home life**

**Q35. Who, if anyone, is helping you with living expenses?**

**A1. Who in your family is helping you with living expenses the most? Select only one answer.**

1.  Father
2.  Mother
3.  Myself
4.  A brother or sister

5.  A grandparent
6.  Spouse
7.  Other

**A2. What is that person's occupation? Select only one answer.**

**(For details of the categories, see the results of the 2020 Population Census from the Statistics Bureau of Japan.)**

1.  Administrative or managerial worker (managers in businesses and government offices, legislators, business owners, etc.)
2.  Professional or engineering worker (doctors, nurses, lawyers, teachers, nursery teachers, tax accountants, engineers, etc.)
3.  Clerical worker (general admin, human resources, accounting, etc.)
4.  Sales worker (wholesale, retail, real estate, insurance representatives, sales representatives, etc.)
5.  Service worker (hairdressers, chefs, tour guides, customer service representatives, etc.)
6.  Security worker (defense forces, police, fire service, guard work, etc.)
7.  Agriculture, forestry, or fishery worker (not including part-time farmers whose main income is not farming, jobs in processing of agricultural or marine products, etc.)
8.  Craft, machine operator, or related worker (factory work, construction, carpentry, motor maintenance, electrical work, etc.)
9.  Transport, cleaning, or related worker (driving, postal work, warehouse work, cleaning, etc.)
10.  Not in work (including students and pensioners)
11.  Other
12.  I don't know

**If more than one person is helping you with living expenses, answer B1.**

**B1. After the person mentioned in A1 and A2, who is helping you with living expenses the second most? Select only one answer.**

1.  Father
2.  Mother
3.  Myself
4.  A brother or sister
5.  A grandparent
6.  Spouse
7.  Other

**B2. What is that person's occupation? Select only one answer.**

**(For details of the categories, see the results of the 2020 Population Census from the Statistics Bureau of Japan.)**

1.  Administrative or managerial worker (managers in businesses and government offices, legislators, business owners, etc.)

2.  Professional or engineering worker (doctors, nurses, lawyers, teachers, nursery teachers, tax accountants, engineers, etc.)
3.  Clerical worker (general admin, human resources, accounting, etc.)
4.  Sales worker (wholesale, retail, real estate, insurance representatives, sales representatives, etc.)
5.  Service worker (hairdressers, chefs, tour guides, customer service representatives, etc.)
6.  Security worker (defense forces, police, fire service, guard work, etc.)
7.  Agriculture, forestry, or fishery worker (not including part-time farmers whose main income is not farming, jobs in processing of agricultural or marine products, etc.)
8.  Craft, machine operator, or related worker (factory work, construction, carpentry, motor maintenance, electrical work, etc.)
9.  Transport, cleaning, or related worker (driving, postal work, warehouse work, cleaning, etc.)
10.  Not in work (including students and pensioners)
11.  Other
12.  I don't know

Q36. Roughly how much was the pre-tax income of the person/people helping you with living expenses last year (January to December 2021)? Select only one answer. If more than one person is helping you, please calculate the sum of their incomes.

1.  Less than 3 million yen
2.  3 to 4 million yen
3.  4 to 5 million yen
4.  5 to 6 million yen
5.  6 to 7 million yen
6.  7 to 8 million yen
7.  to 9 million yen
8.  9 to 10 million yen
9.  10 to 11 million yen
10.  11 to 12 million yen
11.  12 to 13 million yen
12.  Over 13 million yen
13.  I don't know

## **IX. Your Hopes and Expectations of the University of Tsukuba**

Q37. What is your main desire for the University's faculty? Select only one answer.

1.  To teach the pleasure of scholarship and research
2.  Well-prepared lecture content
3.  Teaching that is easy to understand
4.  Sensitivity to harassment issues
5.  Others

6.  Nothing particular

If you selected 5 (Others) in Q37, specify what you desire.

---

**Q38. What factors would you like to see improved in our education or educational systems? Select all answers that apply.**

1.  Teaching staff
2.  Curriculum
3.  Teacher training courses
4.  Extra-curricular teaching programs (special lectures, short courses and such)
5.  The study abroad system
6.  Job-hunting information sessions
7.  The class group system
8.  Student organizations
9.  Scholarships, tuition fee exemptions, etc.
10.  Support for extra-curricular activities
11.  Support for volunteer activities
12.  Support for mental health
13.  Anti-harassment measures (organizations and processes)
14.  Others

If you selected 14 (Others) in Q37, specify what you hope to be improved.

---

**Q39. Are twins, KdB (the syllabus system), manaba easy to use? Select only one answer to indicate how satisfied you are. Select only one answer for each.**

1. TWINS
2. KdB (the syllabus system)
3. manaba

- a. Very easy
- b. Moderately easy
- c. Neutral
- d. Moderately difficult
- e. Very difficult

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_

**Q40. Which campus facilities particularly need to be expanded or improved? Select all applicable answers.**



1.  Teaching rooms and laboratories
2.  Library
3.  Satellite computer rooms
4.  Network environment (campus wireless LAN system, etc.)
5.  Sports and fitness facilities
6.  Facilities for extracurricular activities
7.  Security
8.  Parking
9.  Bicycle parking
10.  On-Campus Transport System (University Loop-line On-campus Bus)
11.  Pedestrian decks
12.  Outside lighting
13.  Other

⊙ If you selected "13. Other", enter specific details of what you want to see expanded or improved.

---

**Q41. How satisfied are you with welfare facilities on campus? Select one letter for each category.**

1. Cafeterias
2. Coffee shops
3. Bakeries
4. Lunchbox sales
5. Food trucks
6. Bookshops
7. Art and craft supplies
8. Other shops
9. Vending machines

- a. Very satisfied
- b. Moderately satisfied
- c. Neutral
- d. Moderately dissatisfied
- e. Very dissatisfied
- f. I have never used this

1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_  
 6 \_\_\_\_\_ 7 \_\_\_\_\_ 8 \_\_\_\_\_ 9 \_\_\_\_\_

⊙ If you think any of the current welfare facilities are inconvenient or need improvement, enter a number from the following list of categories and a specific comment. You can make more than one

comment.

**[List of categories]**

1. Cafeterias, 2. Coffee shops, 3. Bakeries, 4. Lunchbox sales, 5. Food trucks, 6. Bookshops,
7. Art and craft supplies, 8. Other shops, 9. Vending machines

**[Comment example]**

**5. They should be in more places.**

**1. ...**

---

Q42. If you have any requests or suggestions about teaching or student life in general at the University of Tsukuba, enter a letter and number from the following list of categories and a specific comment.

You can make more than one comment.

**[List of categories]**

- (A) Systems: 1. Curriculum, 2. Student life support, 3. Financial aid, 4. Career and job hunting support, 5. Other
- (B) Faculty: 1. Teaching faculty, 2. Administrative staff, 3. Other
- (C) Facilities: 1. Study and research environment, 2. Network environment, 3. Study systems (TWINS, KdB, manaba, etc.), 4. Library, 5. Student residence halls, 6. Cafeterias and shops, 7. Bicycle parking, 8. pedestrian decks, roads, etc., 9. Other
- (D) Other: 1. Anything else

**[Comment example]**

**C4. Opening times should be longer.**

**A1. ...**

---

This is the end of the survey. Thank you very much for your assistance.

## 筑波大学学生生活実態調査(学群)回答率について

回答率については、前々回の調査では32.1%、前回は22.5%であったが、今回は25.2%である。調査方法は、前回同様manabaを用いたWeb調査で実施し、回答率は2.7ポイント増加した。引き続き回答率向上のために周知方法等を改善していく必要がある。また、学群・学類によって回答率はまちまちであるが、35%を超える学類がある一方で、13%に満たない回答率の学類もある。学年別にみると、1年次45.0%、2年次29.1%、3年次21.2%、4年次11.3%となっており、学年進行により回答率が低下している。

**令和4年度 筑波大学学生生活実態調査(学群) 回答率**

学群・学類		学年		在籍学生数 (令和4年度9月1日現在)					回収票数						回収率							
		1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5年次	医学類6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5年次	医学類6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5年次	医学類6年次	合計
人文・文化学群	人文学類	94	119	120	165			498	50	38	23	13			124	53.2%	31.9%	19.2%	7.9%			24.9%
	比較文化学類	63	85	81	106			335	29	23	11	10			73	46.0%	27.1%	13.6%	9.4%			21.8%
	日本語・日本文化学類	21	26	42	44			133	10	12	10	7			39	47.6%	46.2%	23.8%	15.9%			29.3%
	小計	178	230	243	315			966	89	73	44	30			236	50.0%	31.7%	18.1%	9.5%			24.4%
社会・国際学群	社会学類	60	81	94	125			360	27	19	8	11			65	45.0%	23.5%	8.5%	8.8%			18.1%
	国際総合学類	65	83	80	102			330	21	9	4	7			41	32.3%	10.8%	5.0%	6.9%			12.4%
	小計	125	164	174	227			690	48	28	12	18			106	38.4%	17.1%	6.9%	7.9%			15.4%
人間学群	教育学類	34	37	37	46			154	21	12	11	6			50	61.8%	32.4%	29.7%	13.0%			32.5%
	心理学類	50	54	52	59			215	22	16	14	7			59	44.0%	29.6%	26.9%	11.9%			27.4%
	障害科学類	35	37	36	43			151	19	14	8	10			51	54.3%	37.8%	22.2%	23.3%			33.8%
	小計	119	128	125	148			520	62	42	33	23			160	52.1%	32.8%	26.4%	15.5%			30.8%
生命環境学群	生物学類	64	80	87	101			332	30	29	26	22			107	46.9%	36.3%	29.9%	21.8%			32.2%
	生物資源学類	102	124	137	146			509	55	50	23	18			146	53.9%	40.3%	16.8%	12.3%			28.7%
	地球学類	40	52	55	63			210	25	20	21	8			74	62.5%	38.5%	38.2%	12.7%			35.2%
	小計	206	256	279	310			1,051	110	99	70	48			327	53.4%	38.7%	25.1%	15.5%			31.1%
理工学群	数学類	30	40	41	42			153	18	11	17	7			53	60.0%	27.5%	41.5%	16.7%			34.6%
	物理学類	51	62	64	75			252	21	10	8	8			47	41.2%	16.1%	12.5%	10.7%			18.7%
	化学類	39	51	56	54			200	17	11	11	3			42	43.6%	21.6%	19.6%	5.6%			21.0%
	応用理工学類	90	117	134	158			499	38	15	24	13			90	42.2%	12.8%	17.9%	8.2%			18.0%
	工学システム学類	96	131	139	161			527	38	34	36	25			133	39.6%	26.0%	25.9%	15.5%			25.2%
	社会工学類	94	124	129	162			509	26	19	23	8			76	27.7%	15.3%	17.8%	4.9%			14.9%
	総合理工学位プログラム	9	10	7	3			29	3	0	4	0			7	33.3%	0.0%	57.1%	0.0%			24.1%
	小計	409	535	570	655			2,169	161	100	123	64			448	39.4%	18.7%	21.6%	9.8%			20.7%
情報学群	情報科学類	64	83	98	132			377	30	17	24	18			89	46.9%	20.5%	24.5%	13.6%			23.6%
	情報メディア創成学類	32	52	66	89			239	9	22	19	2			52	28.1%	42.3%	28.8%	2.2%			21.8%
	知識情報・図書館学類	60	105	117	138			420	35	30	44	16			125	58.3%	28.6%	37.6%	11.6%			29.8%
	小計	156	240	281	359			1,036	74	69	87	36			266	47.4%	28.8%	31.0%	10.0%			25.7%
医学群	医学類	121	130	140	139	138	155	823	56	38	23	26	16	11	170	46.3%	29.2%	16.4%	18.7%	11.6%	7.1%	20.7%
	看護学類	68	71	82	86			307	33	18	18	19			88	48.5%	25.4%	22.0%	22.1%			28.7%
	医療科学類	28	37	39	45			149	17	9	2	0			28	60.7%	24.3%	5.1%	0.0%			18.8%
	小計	217	238	261	270	138	155	1,279	106	65	43	45	16	11	286	48.8%	27.3%	16.5%	16.7%	11.6%	7.1%	22.4%
体育専門学群	251	256	249	275			1,031	147	106	49	17			319	58.6%	41.4%	19.7%	6.2%			30.9%	
芸術専門学群	99	104	104	134			441	50	45	25	21			141	50.5%	43.3%	24.0%	15.7%			32.0%	
グローバル教育	7	4	9	6			26	1	0	0	2			3	14.3%	0.0%					11.5%	
総合学域群	418	19					437	136	5					141	32.5%	26.3%					32.3%	
合計		2,185	2,174	2,295	2,699	138	155	9,646	984	632	486	304	16	11	2,433	45.0%	29.1%	21.2%	11.3%	11.6%	7.1%	25.2%

# 第1章 あなた自身について

## 問1. 社会人の経験について

- ◎ 社会人経験がある学群生は全体の約2%。
- ◎ 看護学類が8%と最も多く、次いで国際総合学類が約5%。

この設問はこれまで大学院生に対してのみ行っており、学群生を対象とした調査は今回が初めてである。集計の結果、社会人経験が「ある」と答えた学群生は全体の2.3%だったのに対し、「ない」は96.1%であった。学群・学類別でみると、社会人経験がある学生の割合は看護学類が8.0%と突出して多く、次いで国際総合学類4.9%、生物学類3.8%、医療科学類3.6%、芸術専門学群3.6%、生物資源学類3.5%と続いた。一方で、社会人経験ありと答えた学生が一人もいなかった学類は、比較文化学類、障害科学類、地球学類、数学類、物理学類、化学類、情報メディア創成学類であった。

また学年別でみると、1、2、3年生の社会人経験者の割合が2%前後であるのに対し、4年次では4.3%と上昇した。男女別の比較では、男性が2.5%、女性が2.0%と大きな差はみられなかった。

なお同じ設問に対する大学院生の回答結果は、社会人経験が「ある」30.1%、「ない」69.9%となっており、大学院生全体の3割が社会人経験者である。

表 1.1 社会人経験の有無【学群・学類等別、学年別、男女別、全体】

	社会人経験はない		社会人経験がある		無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
人文学類	121	97.6%	2	1.6%	1	0.8%
比較文化学類	73	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
日本語・日本文化学類	38	97.4%	1	2.6%	0	0.0%
社会学類	62	95.4%	1	1.5%	2	3.1%
国際総合学類	39	95.1%	2	4.9%	0	0.0%
教育学類	48	96.0%	1	2.0%	1	2.0%
心理学類	56	94.9%	1	1.7%	2	3.4%
障害科学類	51	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
生物学類	100	93.5%	4	3.7%	3	2.8%
生物資源学類	139	95.2%	5	3.4%	2	1.4%
地球学類	73	98.6%	0	0.0%	1	1.4%
数学類	51	96.2%	0	0.0%	2	3.8%
物理学類	47	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
化学類	41	97.6%	0	0.0%	1	2.4%
応用理工学類	85	94.4%	2	2.2%	3	3.3%
工学システム学類	130	97.7%	1	0.8%	2	1.5%
社会工学類	74	97.4%	1	1.3%	1	1.3%
情報科学類	84	94.4%	2	2.2%	3	3.4%
情報メディア創成学類	52	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
知識情報・図書館学類	120	96.0%	3	2.4%	2	1.6%
医学類	165	97.1%	3	1.8%	2	1.2%
看護学類	80	90.9%	7	8.0%	1	1.1%
医療科学類	27	96.4%	1	3.6%	0	0.0%
体育専門学群	305	95.6%	7	2.2%	7	2.2%
芸術専門学群	135	95.7%	5	3.5%	1	0.7%
総合学域群	135	95.7%	2	1.4%	4	2.8%
1年次	935	95.0%	22	2.2%	27	2.7%
2年次	616	97.5%	10	1.6%	6	0.9%
3年次	469	96.5%	10	2.1%	7	1.4%
4年次	290	95.4%	13	4.3%	1	0.3%
医学類5年次	16	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
医学類6年次	11	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
男性	1,205	95.0%	32	2.5%	32	2.5%
女性	1,132	97.3%	23	2.0%	9	0.8%
全体	2,337	96.1%	55	2.3%	41	1.7%

## 問2. 筑波大学を志望した主な理由について

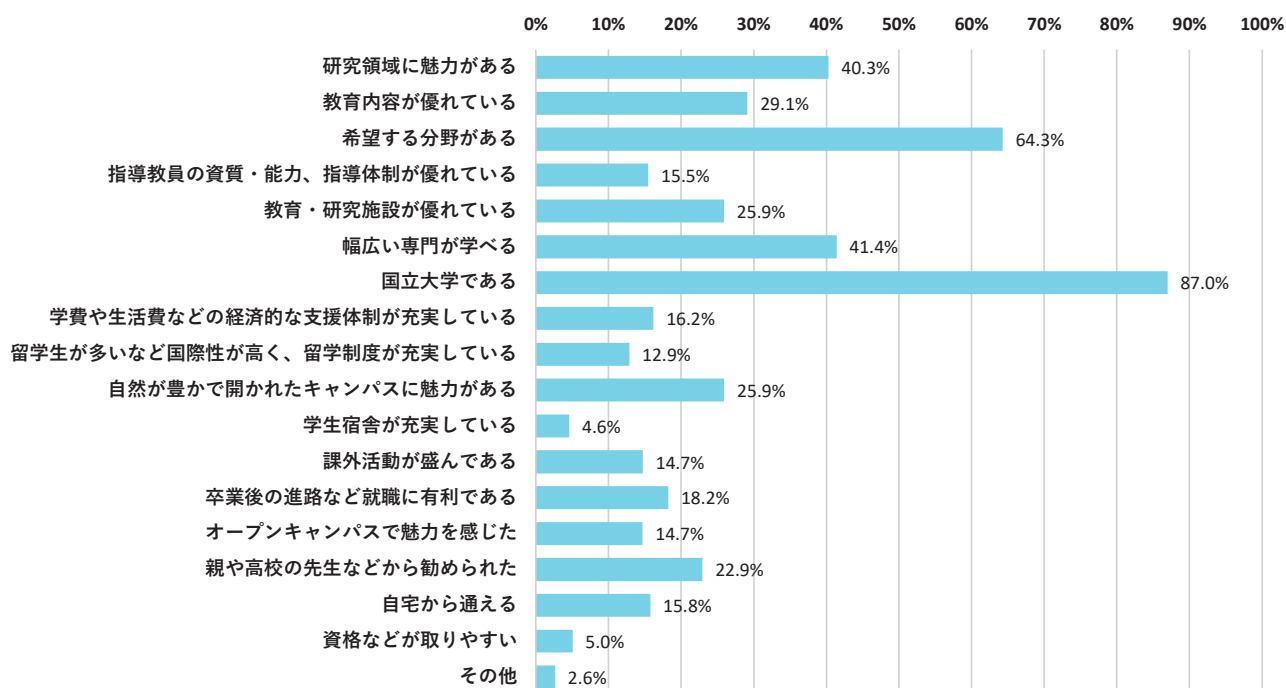
- ◎ 筑波大学を志望した理由の第1位は、「国立大学である」こと。
- ◎ 次に「希望する分野がある」「幅広い専門が学べる」「研究領域に魅力がある」が続く。
- ◎ また「教育・研究施設が優れている」や「自然豊かで開かれたキャンパスに興味がある」も上位に挙げられた。

この設問は「筑波大学を志望した理由」を18の選択肢から複数選ぶ形式で、今回の調査が初めてである。志望理由の第1位は「国立大学である」であり、9割近くの学生が選択した。次いで多かったのが、「希望する分野がある」64.3%、「幅広い専門が学べる」41.4%、「研究領域に魅力がある」40.3%であり、また4人に一人が「自然で開かれたキャンパスに魅力がある」や「教育内容が優れている」「教育・研究施設が優れている」を理由に挙げた。他にも「親や高校の先生などから勧められた」や「オープンキャンパスで魅力を感じた」、「卒業後の進路など就職に有利である」、「経済的支援体制の充実」、「指導教員の資質・能力、指導体制が優れている」「課外活動が盛んである」、「自宅から通える」なども選ばれた。

一方で、志望理由に挙げた学生が少なかった選択肢は、「学生宿舎が充実している」4.6%と「資格などが取りやすい」5%の2つである。前者については学生宿舎の経年劣化に加えて、コロナ禍でのリモート授業の導入により、1年次に大学周辺に転居しなかった学生が多かったことが要因と考えられる。なお以上の結果について、学群・学類や学年、男女の比較による顕著な差は見られなかった。

ちなみにその他の自由記述には、「体育・芸術分野が学べる」、「後期入試がある」、「総合学域群がある」、「発達障害者支援の充実」などが挙げられた。

図 1.1 筑波大学の主な志望理由



## 第2章 生活全般について

### 問3. 収入と支出について

#### A. 収入

- ◎「仕送り」と「アルバイト」が重要な収入源となっている。
- ◎ 76.7%の学生が「仕送り」を受けている。具体的には、月に3万円以上5万円未満の仕送りを受ける学生が19.7%でもっとも多い。
- ◎ 68.1%の学生が「アルバイト」で収入を得ている。具体的には、月に2万円以上3万円未満をアルバイトで得る学生が12.3%でもっとも多い。
- ◎ 87.3%の学生は「奨学金（給付型）」を全く受けていないが、10万円以上の学生も2.1%ほどみられる。

今年度の4月～6月における平均的な1か月の収入を「仕送り」「奨学金（給付型）」「奨学金（貸与型）」「アルバイト」「自身の預貯金」「借金」「その他」に区別して尋ねた。

学生の重要な収入源となっているのが、「仕送り」と「アルバイト」である。まず、全体の76.7%が、1円以上の「仕送り」を受けている。具体的には、3万円以上5万円未満が19.7%、5万円以上7万円未満が19.4%、7万円以上10万円未満が14.0%、10万円以上15万円未満が10.6%であった。ただし、もっとも多いのは仕送りのない学生（0円）であり、23.3%がこれに該当する。一人暮らしをしているが仕送りのない学生や、実家から通学する学生がこれを選択したと推測される。

また、全体の68.1%が、「アルバイト」で1円以上の収入を得ている。具体的には、2万円以上3万円未満が12.3%であり、これに3万円以上4万円未満の11.8%、5万円以上7万円未満の10.9%、4万円以上5万円未満の10.8%が続く。ただし、0円の学生は31.9%であり、これがもっとも多い。とりわけ、1年次、医学類5年次、医学類6年次では、全体の平均よりも0円の割合が10ポイントから35ポイント高い。勉強に忙しく、アルバイトをする時間がないのかもしれない。

一方、「奨学金（給付型）」と「奨学金（貸与型）」では、0円を選択する学生の割合は4分の3を超えており、「奨学金（給付型）」で87.3%が、「奨学金（貸与型）」で78.7%が0円を選択している。ただし、「奨学金（給付型）」では7万円以上を受ける学生が3.3%、10万円以上を借りる学生も2.1%ほどみられる。また、「奨学金（貸与型）」では、7万円以上を借りる学生が4.5%、10万円以上の学生も2.8%ほどみられる。大部分の学生は奨学金なしで就学するいっぽうで、奨学金を生活の柱とする学生も一定数存在することがうかがえる。「借金」と「その他」は、0円と回答する学生の割合がそれぞれ95%を超えている。借金等が主要な収入源ではないことがわかる。

今回の調査で1ヶ月の平均収入（全体）を計算すると、図2.1に示すような金額となり、総額は107,842円となる。これを前回（平成29年度）の調査と比べてみると、前回は「仕送り」44,624円、「奨学金」18,984円、「アルバイト」21,736円、「預貯金から」9,382円、「借金により」498円、「その他」1,546円で、総額が96,770円であったので、今回が総額で1万円ほど、「仕送り」と「アルバイト」がそれぞれ5千円ほど増えていることが分かる。

図 2.1 1ヶ月の平均的な収入【全体平均（円）】

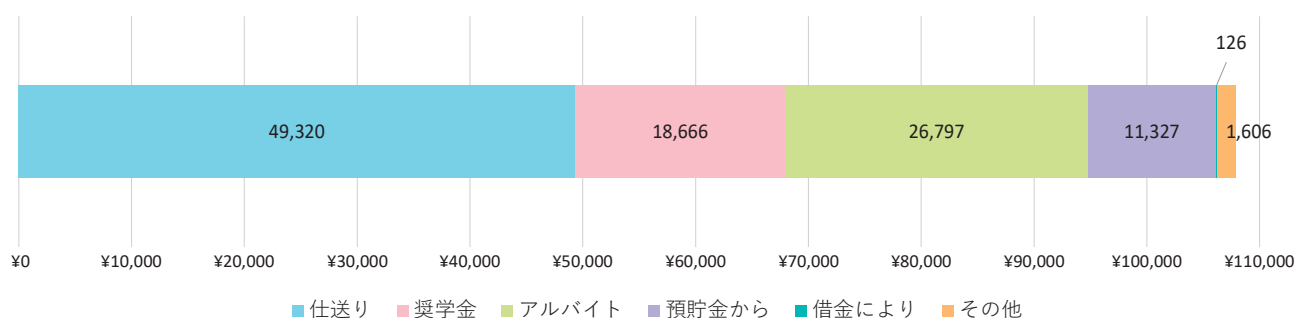


表 2.1 仕送り【学類別、学年別、男女別、全体（%）】

	0円	1円以上 1万円未満	1万円以上 3万円未満	3万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上
人文学類	26.1%	0.9%	4.3%	21.7%	30.4%	8.7%	6.1%	1.7%
比較文化学類	26.5%	0.0%	13.2%	19.1%	16.2%	16.2%	7.4%	1.5%
日本語・日本文化学類	26.3%	0.0%	5.3%	15.8%	18.4%	18.4%	13.2%	2.6%
社会学類	26.7%	5.0%	10.0%	18.3%	18.3%	8.3%	13.3%	0.0%
国際総合学類	30.8%	0.0%	12.8%	17.9%	17.9%	15.4%	5.1%	0.0%
教育学類	20.8%	2.1%	6.3%	25.0%	27.1%	10.4%	8.3%	0.0%
心理学類	33.3%	0.0%	7.4%	24.1%	16.7%	11.1%	7.4%	0.0%
障害科学類	24.4%	6.7%	4.4%	17.8%	26.7%	8.9%	11.1%	0.0%
生物学類	27.3%	1.0%	14.1%	12.1%	14.1%	14.1%	14.1%	3.0%
生物資源学類	23.7%	3.0%	7.4%	20.0%	20.7%	11.9%	12.6%	0.7%
地球学類	22.5%	4.2%	11.3%	25.4%	18.3%	12.7%	5.6%	0.0%
数学類	33.3%	2.1%	8.3%	25.0%	6.3%	20.8%	4.2%	0.0%
物理学類	28.3%	2.2%	17.4%	15.2%	6.5%	15.2%	13.0%	2.2%
化学類	26.3%	0.0%	10.5%	13.2%	21.1%	10.5%	13.2%	5.3%
応用理工学類	31.8%	3.5%	7.1%	14.1%	22.4%	12.9%	8.2%	0.0%
工学システム学類	31.0%	5.4%	7.8%	21.7%	11.6%	13.2%	9.3%	0.0%
社会工学類	32.0%	1.3%	2.7%	14.7%	17.3%	21.3%	9.3%	1.3%
情報科学類	13.1%	1.2%	11.9%	13.1%	22.6%	15.5%	21.4%	1.2%
情報メディア創成学類	20.4%	2.0%	8.2%	20.4%	24.5%	12.2%	12.2%	0.0%
知識情報・図書館学類	23.7%	1.7%	11.0%	20.3%	18.6%	15.3%	8.5%	0.8%
医学類	20.9%	2.0%	4.6%	13.1%	19.0%	18.3%	13.7%	8.5%
看護学類	33.3%	1.2%	9.9%	25.9%	6.2%	13.6%	6.2%	3.7%
医療科学類	32.0%	4.0%	8.0%	20.0%	16.0%	8.0%	8.0%	4.0%
体育専門学群	8.5%	1.3%	8.8%	22.8%	27.7%	16.9%	12.1%	2.0%
芸術専門学群	19.2%	0.8%	15.2%	26.4%	12.8%	15.2%	8.8%	1.6%
総合学域群	24.8%	2.9%	10.2%	19.0%	20.4%	8.8%	13.1%	0.7%
1年次	20.7%	2.1%	10.1%	23.1%	21.7%	10.6%	9.7%	2.0%
2年次	24.9%	1.2%	10.2%	15.7%	20.3%	14.9%	11.5%	1.4%
3年次	24.9%	3.7%	8.1%	19.4%	14.8%	15.9%	10.7%	2.4%
4年次	26.2%	1.1%	6.4%	17.7%	17.7%	19.1%	11.0%	0.7%
医学類5年次	26.7%	0.0%	0.0%	6.7%	20.0%	26.7%	13.3%	6.7%
医学類6年次	9.1%	9.1%	0.0%	18.2%	9.1%	18.2%	27.3%	9.1%
男性	24.2%	1.9%	9.8%	19.5%	19.2%	12.8%	10.3%	2.3%
女性	22.5%	2.2%	8.6%	19.9%	19.6%	15.0%	10.9%	1.3%
全体	23.3%	2.1%	9.1%	19.7%	19.4%	14.0%	10.6%	1.8%

表 2.2 奨学金（給付型）【学類別、学年別、男女別、全体（％）】

	0円	1円以上 5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 3万円未満	3万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上
人文学類	89.6%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	0.9%	1.9%	1.9%
比較文化学類	77.8%	0.0%	0.0%	6.3%	4.8%	9.5%	1.6%	0.0%
日本語・日本文化学類	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	2.8%	2.8%
社会学類	85.5%	0.0%	0.0%	1.8%	7.3%	1.8%	1.8%	1.8%
国際総合学類	77.1%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%	8.6%	0.0%	5.7%
教育学類	82.9%	2.4%	2.4%	0.0%	4.9%	4.9%	2.4%	0.0%
心理学類	91.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	4.4%
障害科学類	87.8%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	4.9%	2.4%	0.0%
生物学類	86.2%	1.1%	1.1%	2.1%	5.3%	3.2%	1.1%	0.0%
生物資源学類	90.7%	0.0%	0.8%	1.6%	3.9%	3.1%	0.0%	0.0%
地球学類	90.7%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	3.7%	1.9%
数学類	93.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	2.2%
物理学類	90.5%	0.0%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%
化学類	91.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	2.8%	0.0%
応用理工学類	88.5%	0.0%	0.0%	2.6%	7.7%	0.0%	1.3%	0.0%
工学システム学類	87.6%	0.0%	0.8%	1.7%	1.7%	5.8%	0.0%	2.5%
社会工学類	85.1%	1.5%	0.0%	4.5%	1.5%	1.5%	4.5%	1.5%
情報科学類	88.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	5.3%	1.3%	2.7%
情報メディア創成学類	95.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%
知識情報・図書館学類	90.6%	0.0%	0.0%	2.8%	1.9%	3.8%	0.0%	0.9%
医学類	83.9%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	1.5%	0.7%	12.4%
看護学類	93.6%	0.0%	0.0%	1.3%	2.6%	1.3%	1.3%	0.0%
医療科学類	80.8%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%	3.8%	3.8%	0.0%
体育専門学群	85.8%	0.4%	0.4%	1.9%	3.0%	5.6%	1.5%	1.5%
芸術専門学群	85.6%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%	6.3%	0.9%	1.8%
総合学域群	88.9%	0.0%	1.6%	3.2%	4.0%	2.4%	0.0%	0.0%
1年次	87.3%	0.4%	0.6%	2.1%	3.6%	3.7%	0.8%	1.5%
2年次	88.8%	0.2%	0.2%	1.9%	2.2%	3.0%	1.3%	2.4%
3年次	83.8%	0.7%	0.2%	2.1%	3.3%	5.0%	1.7%	3.1%
4年次	91.2%	0.0%	0.4%	1.1%	2.3%	3.4%	0.8%	0.8%
医学類5年次	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%
医学類6年次	80.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
男性	87.9%	0.6%	0.3%	1.6%	3.0%	3.5%	1.3%	1.7%
女性	86.8%	0.1%	0.5%	2.2%	3.0%	4.0%	1.0%	2.4%
全体	87.3%	0.3%	0.4%	1.9%	3.0%	3.8%	1.2%	2.1%

表 2.3 奨学金（貸与型）【学類別、学年別、男女別、全体（％）】

	0円	1円以上 5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 3万円未満	3万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上
人文学類	79.0%	0.0%	0.0%	3.8%	8.6%	6.7%	1.0%	1.0%
比較文化学類	85.2%	0.0%	0.0%	3.3%	6.6%	4.9%	0.0%	0.0%
日本語・日本文化学類	79.4%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%	11.8%	0.0%	0.0%
社会学類	78.2%	0.0%	0.0%	3.6%	7.3%	7.3%	1.8%	1.8%
国際総合学類	70.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.7%	2.9%	5.9%	5.9%
教育学類	70.7%	2.4%	0.0%	4.9%	4.9%	12.2%	2.4%	2.4%
心理学類	74.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.8%	6.4%	0.0%	6.4%
障害科学類	71.4%	0.0%	0.0%	4.8%	9.5%	14.3%	0.0%	0.0%
生物学類	84.9%	0.0%	0.0%	2.2%	4.3%	5.4%	1.1%	2.2%
生物資源学類	85.0%	0.0%	0.0%	1.6%	3.1%	4.7%	2.4%	3.1%
地球学類	68.3%	0.0%	0.0%	6.3%	12.7%	7.9%	1.6%	3.2%
数学類	67.4%	0.0%	0.0%	0.0%	17.4%	6.5%	2.2%	6.5%
物理学類	77.8%	0.0%	2.2%	2.2%	6.7%	8.9%	0.0%	2.2%
化学類	81.1%	0.0%	0.0%	2.7%	5.4%	10.8%	0.0%	0.0%
応用理工学類	73.8%	0.0%	0.0%	2.5%	7.5%	11.3%	2.5%	2.5%
工学システム学類	86.4%	0.0%	0.8%	0.8%	5.9%	2.5%	0.8%	2.5%
社会工学類	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.6%	4.5%	1.5%	3.0%
情報科学類	78.7%	0.0%	0.0%	2.7%	4.0%	10.7%	1.3%	2.7%
情報メディア創成学類	78.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%	6.5%	4.3%	0.0%
知識情報・図書館学類	84.4%	0.0%	0.0%	1.8%	8.3%	1.8%	3.7%	0.0%
医学類	87.2%	0.0%	0.0%	1.5%	1.5%	0.8%	0.0%	9.0%
看護学類	80.8%	0.0%	1.3%	1.3%	11.5%	2.6%	0.0%	2.6%
医療科学類	87.5%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%
体育専門学群	70.3%	0.0%	0.4%	3.0%	9.3%	9.3%	4.5%	3.3%
芸術専門学群	76.9%	0.0%	0.9%	5.6%	4.6%	7.4%	1.9%	2.8%
総合学域群	78.1%	0.0%	0.0%	2.3%	7.0%	10.9%	0.0%	1.6%
1年次	80.1%	0.0%	0.4%	2.8%	6.3%	6.7%	1.5%	2.2%
2年次	76.7%	0.2%	0.2%	2.0%	8.7%	6.3%	3.0%	3.0%
3年次	78.3%	0.0%	0.2%	2.1%	7.4%	7.6%	1.4%	2.9%
4年次	78.9%	0.0%	0.0%	2.6%	7.9%	6.4%	0.8%	3.4%
医学類5年次	92.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
医学類6年次	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%
男性	78.5%	0.0%	0.3%	2.3%	7.7%	7.2%	1.5%	2.6%
女性	78.9%	0.1%	0.2%	2.6%	7.1%	6.3%	1.9%	2.9%
全体	78.7%	0.0%	0.2%	2.4%	7.4%	6.7%	1.7%	2.8%



表 2.4 アルバイト【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】

	0円	1円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上
人文学類	34.8%	6.3%	8.0%	9.8%	9.8%	8.9%	13.4%	8.0%	0.9%
比較文化学類	21.2%	3.0%	9.1%	12.1%	10.6%	15.2%	21.2%	7.6%	0.0%
日本語・日本文化学類	22.9%	0.0%	11.4%	17.1%	8.6%	14.3%	22.9%	2.9%	0.0%
社会学類	10.5%	0.0%	10.5%	17.5%	26.3%	10.5%	10.5%	10.5%	3.5%
国際総合学類	13.2%	2.6%	18.4%	15.8%	13.2%	13.2%	18.4%	5.3%	0.0%
教育学類	31.3%	2.1%	4.2%	12.5%	22.9%	6.3%	8.3%	10.4%	2.1%
心理学類	17.0%	5.7%	7.5%	7.5%	13.2%	17.0%	17.0%	13.2%	1.9%
障害科学類	21.3%	6.4%	12.8%	6.4%	14.9%	6.4%	25.5%	2.1%	4.3%
生物学類	30.6%	8.2%	7.1%	18.4%	13.3%	11.2%	7.1%	3.1%	1.0%
生物資源学類	24.5%	3.6%	7.9%	14.4%	14.4%	17.3%	10.8%	4.3%	2.9%
地球学類	26.5%	1.5%	2.9%	20.6%	11.8%	11.8%	19.1%	4.4%	1.5%
数学類	26.1%	6.5%	4.3%	10.9%	19.6%	10.9%	13.0%	6.5%	2.2%
物理学類	45.7%	2.2%	4.3%	13.0%	8.7%	15.2%	10.9%	0.0%	0.0%
化学類	48.6%	5.4%	8.1%	18.9%	8.1%	5.4%	2.7%	0.0%	2.7%
応用理工学類	35.7%	2.4%	4.8%	13.1%	13.1%	11.9%	15.5%	3.6%	0.0%
工学システム学類	34.9%	7.9%	8.7%	8.7%	14.3%	11.1%	7.1%	5.6%	1.6%
社会工学類	16.0%	2.7%	9.3%	12.0%	16.0%	12.0%	21.3%	10.7%	0.0%
情報科学類	29.3%	7.3%	3.7%	9.8%	7.3%	15.9%	11.0%	8.5%	7.3%
情報メディア創成学類	29.2%	4.2%	4.2%	8.3%	12.5%	16.7%	14.6%	2.1%	8.3%
知識情報・図書館学類	31.1%	5.9%	15.1%	10.1%	8.4%	10.9%	10.9%	4.2%	3.4%
医学類	35.1%	4.0%	14.6%	11.3%	11.3%	9.9%	9.3%	3.3%	1.3%
看護学類	16.3%	3.5%	8.1%	11.6%	11.6%	12.8%	14.0%	16.3%	5.8%
医療科学類	22.2%	7.4%	3.7%	11.1%	22.2%	11.1%	18.5%	0.0%	3.7%
体育専門学群	49.7%	8.7%	13.6%	11.9%	7.7%	3.5%	2.4%	2.1%	0.3%
芸術専門学群	30.8%	8.3%	10.0%	15.8%	8.3%	10.8%	5.8%	7.5%	2.5%
総合学域群	43.8%	5.4%	12.3%	10.0%	8.5%	10.0%	7.7%	1.5%	0.8%
1年次	44.5%	5.8%	8.8%	10.0%	9.7%	9.1%	7.6%	3.2%	1.4%
2年次	19.9%	6.1%	12.0%	14.7%	14.7%	12.2%	12.5%	5.7%	2.2%
3年次	23.8%	4.2%	11.0%	13.7%	11.5%	11.7%	14.8%	7.3%	2.0%
4年次	27.9%	5.0%	5.4%	12.9%	13.2%	12.1%	12.5%	7.9%	3.2%
医学類5年次	66.7%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%
医学類6年次	60.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%
男性	25.7%	5.8%	11.3%	13.4%	11.9%	11.3%	12.8%	5.9%	2.0%
女性	37.7%	5.1%	8.0%	11.4%	11.6%	10.3%	9.2%	4.8%	2.0%
全体	31.9%	5.4%	9.6%	12.3%	11.8%	10.8%	10.9%	5.3%	2.0%

表 2.5 自身の預貯金から【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】

	0円	1円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上
人文学類	62.5%	5.8%	12.5%	5.8%	3.8%	1.9%	1.9%	0.0%	5.8%
比較文化学類	57.4%	11.5%	13.1%	1.6%	3.3%	1.6%	1.6%	1.6%	8.2%
日本語・日本文化学類	65.7%	14.3%	8.6%	2.9%	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	2.9%
社会学類	48.1%	19.2%	13.5%	9.6%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%
国際総合学類	48.5%	9.1%	18.2%	6.1%	9.1%	6.1%	0.0%	0.0%	3.0%
教育学類	57.5%	15.0%	7.5%	2.5%	0.0%	2.5%	2.5%	0.0%	12.5%
心理学類	71.1%	4.4%	11.1%	4.4%	4.4%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%
障害科学類	43.9%	14.6%	22.0%	9.8%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	4.9%
生物学類	70.2%	8.5%	8.5%	3.2%	3.2%	0.0%	3.2%	1.1%	2.1%
生物資源学類	62.2%	13.4%	12.6%	3.9%	0.8%	0.0%	2.4%	1.6%	3.1%
地球学類	64.4%	16.9%	11.9%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
数学類	59.1%	15.9%	6.8%	2.3%	2.3%	4.5%	2.3%	2.3%	4.5%
物理学類	69.8%	7.0%	14.0%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%
化学類	55.6%	11.1%	16.7%	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%	5.6%	2.8%
応用理工学類	66.2%	10.4%	19.5%	1.3%	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
工学システム学類	67.8%	14.0%	5.8%	4.1%	3.3%	0.0%	0.8%	0.8%	3.3%
社会工学類	58.8%	14.7%	13.2%	4.4%	4.4%	0.0%	0.0%	1.5%	2.9%
情報科学類	62.8%	11.5%	3.8%	7.7%	2.6%	1.3%	1.3%	2.6%	6.4%
情報メディア創成学類	69.8%	2.3%	14.0%	0.0%	7.0%	0.0%	2.3%	0.0%	4.7%
知識情報・図書館学類	56.6%	12.3%	15.1%	4.7%	1.9%	1.9%	0.0%	2.8%	4.7%
医学類	66.9%	7.4%	5.1%	5.1%	2.2%	2.2%	0.0%	2.2%	8.8%
看護学類	55.1%	12.8%	10.3%	6.4%	2.6%	1.3%	1.3%	1.3%	9.0%
医療科学類	52.2%	17.4%	13.0%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%
体育専門学群	60.6%	14.5%	10.8%	3.7%	2.2%	3.3%	1.5%	0.7%	2.6%
芸術専門学群	47.6%	19.0%	13.3%	10.5%	1.9%	1.0%	4.8%	1.9%	0.0%
総合学域群	60.3%	5.6%	12.7%	6.3%	4.8%	2.4%	0.8%	2.4%	4.8%
1年次	58.2%	11.8%	12.0%	5.7%	2.4%	1.3%	1.6%	1.6%	5.4%
2年次	65.8%	9.8%	10.8%	2.6%	3.0%	1.7%	1.9%	1.1%	3.2%
3年次	60.7%	14.7%	11.8%	4.3%	2.4%	0.5%	1.4%	1.2%	2.9%
4年次	58.8%	12.3%	9.2%	6.9%	3.5%	2.3%	1.2%	1.9%	3.8%
医学類5年次	64.3%	0.0%	28.6%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学類6年次	55.6%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
男性	55.9%	14.5%	13.2%	5.3%	2.7%	1.2%	1.9%	1.7%	3.6%
女性	65.1%	9.5%	9.8%	4.3%	2.8%	1.6%	1.3%	1.2%	4.5%
全体	60.8%	11.9%	11.4%	4.8%	2.7%	1.4%	1.6%	1.4%	4.1%

表 2.6 借金により【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】

	0円	1円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上
人文学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
比較文化学類	98.3%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
日本語・日本文化学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際総合学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
心理学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害科学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物学類	98.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
生物資源学類	99.2%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地球学類	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
数学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
化学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
応用理工学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
工学システム学類	99.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会工学類	98.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
情報科学類	98.6%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
情報メディア創成学類	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
知識情報・図書館学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
看護学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医療科学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
体育専門学群	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
芸術専門学群	99.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総合学域群	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1年次	99.9%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2年次	99.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3年次	99.3%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
4年次	98.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
医学類5年次	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学類6年次	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	99.7%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
女性	99.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	99.5%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%

表 2.7 その他【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】

	0円	1円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上
人文学類	92.9%	3.0%	3.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
比較文化学類	94.6%	3.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
日本語・日本文化学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会学類	97.8%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際総合学類	96.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教育学類	94.3%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
心理学類	95.1%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害科学類	97.1%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物学類	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
生物資源学類	93.9%	0.9%	4.3%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地球学類	96.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
数学類	95.3%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理学類	91.7%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%
化学類	90.9%	0.0%	0.0%	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
応用理工学類	94.7%	1.3%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
工学システム学類	98.3%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会工学類	96.5%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
情報科学類	97.3%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
情報メディア創成学類	93.2%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
知識情報・図書館学類	94.1%	2.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%
医学類	95.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
看護学類	93.3%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
医療科学類	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
体育専門学群	95.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.9%
芸術専門学群	96.8%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
総合学域群	95.5%	0.0%	1.8%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
1年次	95.0%	1.0%	1.4%	1.1%	0.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.7%
2年次	97.9%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.2%	0.2%	0.4%
3年次	93.0%	2.1%	1.8%	1.3%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%	1.0%
4年次	96.2%	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	2.1%
医学類5年次	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学類6年次	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	94.3%	1.1%	1.7%	1.2%	0.4%	0.4%	0.1%	0.1%	0.8%
女性	96.6%	0.9%	0.7%	0.3%	0.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%
全体	95.5%	1.0%	1.1%	0.7%	0.4%	0.3%	0.1%	0.1%	0.9%

## B. 支出

- ◎ 食費と住居費が支出の多くを占めている。
- ◎ 住居費は5万円以上7万円未満の学生が22.0%でもっとも多い。
- ◎ 食費は76.9%が1万円以上4万円未満であるが、2万円以上3万円未満が30.5%でもっとも多い。

今年度の4月～6月における平均的な1か月の支出を、「食費」「住居費（家賃・共益費・光熱費等）」「就学費（授業料を除く図書・文房具・パソコン等）」「交通費（定期代・ガソリン代・駐車場代等）」「通信費（電話代・インターネット等）」「その他（交際費・教養娯楽費・被服費・医療費等）」「預貯金・借金返済」に区別して尋ねた。

支出の多くを占めるのは、食費と住居費である。住居費については、5万円以上7万円未満と回答する学生が22.0%でもっとも多く、次いで0円の19.3%、4万円以上5万円未満の16.0%、3万円以上4万円未満の13.3%が続く。0円を選択したのは、実家等から通学しており家賃の必要ない学生であると推測される。

食費については、全体の76.9%の学生が1万円以上4万円未満（「1万円以上2万円未満」「2万円以上3万円未満」「3万円以上4万円未満」の合計）であると回答している。具体的には2万円以上3万円未満が30.5%でもっとも多く、1万円以上2万円未満の29.8%、3万円以上4万円未満の16.6%と続く。1円以上1万円未満という学生も、10.6%みられた。また、就学費は1円以上5千円未満を選択する学生が39.2%でもっとも多く、5千円以上1万円未満の25.8%、0円の13.6%が続く。交通費は0円が32.8%でもっとも多く、1円以上5千円未満の24.8%、5千円以上1万円未満の18.4%と続く。また、通信費は0円が40.5%でもっとも多く、1円以上5千円未満の33.0%、5千円以上1万円未満の19.1%と続く。

今回の調査における1ヶ月の平均支出(全体)は、図2.2に示すような金額であり、総額が94,309円となる。前回(平成29年度)の調査では、「食費」24,654円、「住居費」29,491円、「就学費」4,422円、「交通費」4,903円、「通信費」2,860円、「その他」13,330円、「預貯金・借金返済」9,569円で、総額が89,229円であったので、今回総じて支出は増えているものの、「食費」と「預貯金・借金返済」だけは減少している状況がある。

図2.2 1ヶ月の平均的な支出【全体平均（円）】

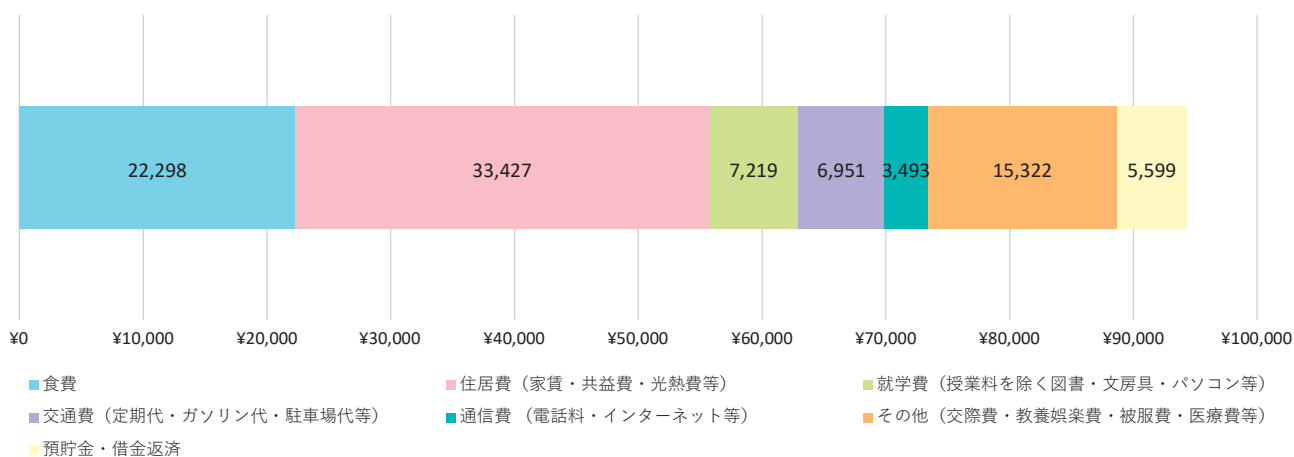


表 2.8 食費【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】

	0円	1円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上
人文学類	5.2%	14.7%	36.2%	31.0%	7.8%	2.6%	0.9%	0.9%	0.9%
比較文化学類	6.0%	14.9%	29.9%	32.8%	10.4%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%
日本語・日本文化学類	7.7%	15.4%	25.6%	33.3%	12.8%	2.6%	0.0%	2.6%	0.0%
社会学類	0.0%	15.5%	29.3%	32.8%	17.2%	5.2%	0.0%	0.0%	0.0%
国際総合学類	0.0%	13.2%	36.8%	26.3%	21.1%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
教育学類	6.5%	2.2%	32.6%	32.6%	15.2%	4.3%	2.2%	2.2%	2.2%
心理学類	3.8%	13.2%	34.0%	34.0%	11.3%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
障害科学類	4.3%	13.0%	21.7%	32.6%	17.4%	8.7%	2.2%	0.0%	0.0%
生物学類	7.4%	13.8%	33.0%	22.3%	16.0%	6.4%	0.0%	0.0%	1.1%
生物資源学類	5.1%	10.3%	29.4%	32.4%	17.6%	2.2%	2.2%	0.0%	0.7%
地球学類	4.1%	15.1%	32.9%	26.0%	12.3%	5.5%	4.1%	0.0%	0.0%
数学類	10.9%	6.5%	30.4%	43.5%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理学類	8.9%	13.3%	24.4%	33.3%	17.8%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
化学類	2.5%	10.0%	35.0%	30.0%	15.0%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%
応用理工学類	9.6%	16.9%	26.5%	30.1%	9.6%	6.0%	1.2%	0.0%	0.0%
工学システム学類	10.2%	13.3%	25.8%	32.8%	13.3%	1.6%	3.1%	0.0%	0.0%
社会工学類	6.8%	4.1%	36.5%	32.4%	14.9%	4.1%	1.4%	0.0%	0.0%
情報科学類	3.6%	10.7%	21.4%	31.0%	23.8%	7.1%	2.4%	0.0%	0.0%
情報メディア創成学類	6.1%	10.2%	34.7%	28.6%	16.3%	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%
知識情報・図書館学類	7.8%	15.7%	38.3%	17.4%	13.0%	5.2%	0.0%	1.7%	0.9%
医学類	4.5%	5.8%	20.8%	31.8%	27.3%	5.2%	3.2%	0.6%	0.6%
看護学類	7.3%	9.8%	47.6%	20.7%	8.5%	4.9%	1.2%	0.0%	0.0%
医療科学類	8.0%	12.0%	44.0%	28.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
体育専門学群	0.3%	3.6%	20.3%	34.0%	26.8%	10.1%	4.6%	0.3%	0.0%
芸術専門学群	4.0%	16.0%	33.6%	32.8%	8.8%	2.4%	1.6%	0.8%	0.0%
総合学域群	6.0%	6.8%	35.3%	31.6%	17.3%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%
1年次	4.7%	12.4%	31.7%	29.2%	15.2%	3.9%	2.4%	0.3%	0.2%
2年次	4.9%	10.2%	29.8%	30.8%	17.9%	4.6%	1.5%	0.0%	0.3%
3年次	6.2%	9.0%	29.2%	30.1%	16.9%	5.7%	1.8%	0.9%	0.2%
4年次	6.2%	9.3%	26.3%	34.6%	15.9%	5.9%	1.4%	0.3%	0.0%
医学類5年次	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	33.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
医学類6年次	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%
男性	5.5%	9.4%	23.8%	31.7%	20.9%	6.0%	2.2%	0.3%	0.3%
女性	4.9%	11.9%	36.6%	29.3%	11.8%	3.3%	1.7%	0.4%	0.3%
全体	5.2%	10.6%	29.8%	30.5%	16.6%	4.7%	1.9%	0.4%	0.3%

表 2.9 住居費（家賃・共益費・光熱費等）【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】

	0円	1円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上
人文学類	19.1%	8.7%	9.6%	8.7%	11.3%	18.3%	19.1%	5.2%	0.0%
比較文化学類	15.4%	1.5%	12.3%	9.2%	13.8%	16.9%	23.1%	6.2%	1.5%
日本語・日本文化学類	26.3%	10.5%	5.3%	5.3%	13.2%	10.5%	21.1%	5.3%	2.6%
社会学類	21.1%	3.5%	3.5%	10.5%	19.3%	17.5%	24.6%	0.0%	0.0%
国際総合学類	23.7%	0.0%	13.2%	10.5%	28.9%	15.8%	2.6%	2.6%	2.6%
教育学類	14.9%	8.5%	12.8%	10.6%	12.8%	17.0%	14.9%	6.4%	2.1%
心理学類	22.6%	9.4%	5.7%	7.5%	7.5%	11.3%	28.3%	7.5%	0.0%
障害科学類	20.5%	4.5%	9.1%	13.6%	4.5%	15.9%	27.3%	2.3%	2.3%
生物学類	25.0%	3.1%	11.5%	6.3%	9.4%	18.8%	21.9%	3.1%	1.0%
生物資源学類	24.8%	5.3%	9.0%	12.8%	15.0%	11.3%	19.5%	0.8%	1.5%
地球学類	24.2%	6.1%	12.1%	10.6%	15.2%	10.6%	21.2%	0.0%	0.0%
数学類	26.1%	2.2%	6.5%	6.5%	19.6%	15.2%	23.9%	0.0%	0.0%
物理学類	26.7%	6.7%	11.1%	13.3%	8.9%	11.1%	20.0%	2.2%	0.0%
化学類	24.3%	10.8%	10.8%	2.7%	10.8%	18.9%	21.6%	0.0%	0.0%
応用理工学類	30.1%	3.6%	12.0%	10.8%	14.5%	9.6%	16.9%	1.2%	1.2%
工学システム学類	31.3%	3.1%	6.3%	7.0%	14.1%	17.2%	19.5%	0.8%	0.8%
社会工学類	21.9%	4.1%	6.8%	11.0%	13.7%	15.1%	21.9%	4.1%	1.4%
情報科学類	19.5%	2.4%	3.7%	6.1%	17.1%	23.2%	19.5%	7.3%	1.2%
情報メディア創成学類	14.3%	14.3%	6.1%	12.2%	16.3%	16.3%	16.3%	4.1%	0.0%
知識情報・図書館学類	19.3%	8.8%	7.9%	9.6%	10.5%	19.3%	20.2%	4.4%	0.0%
医学類	16.1%	3.4%	5.4%	4.0%	8.1%	12.1%	36.2%	12.1%	2.7%
看護学類	22.0%	8.5%	6.1%	7.3%	13.4%	12.2%	22.0%	7.3%	1.2%
医療科学類	24.0%	8.0%	16.0%	16.0%	12.0%	12.0%	12.0%	0.0%	0.0%
体育専門学群	4.7%	6.1%	9.1%	10.1%	15.5%	22.0%	25.3%	5.7%	1.4%
芸術専門学群	13.7%	12.1%	6.5%	10.5%	12.9%	17.7%	23.4%	2.4%	0.8%
総合学域群	21.2%	15.2%	10.6%	12.1%	9.8%	10.6%	18.9%	1.5%	0.0%
1年次	17.7%	11.7%	12.8%	13.7%	11.8%	11.0%	16.9%	3.3%	1.2%
2年次	19.5%	5.2%	6.6%	6.3%	13.1%	19.5%	25.5%	3.3%	0.9%
3年次	19.2%	2.2%	5.3%	6.2%	17.3%	18.6%	25.9%	4.9%	0.4%
4年次	25.5%	1.1%	3.9%	7.1%	11.7%	19.9%	24.1%	5.7%	1.1%
医学類5年次	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	20.0%	26.7%	33.3%	6.7%
医学類6年次	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	27.3%	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%
男性	20.1%	6.4%	8.9%	8.7%	16.4%	17.9%	18.4%	2.8%	0.4%
女性	18.5%	6.9%	7.9%	9.9%	9.8%	13.7%	26.1%	5.5%	1.6%
全体	19.3%	6.6%	8.4%	9.3%	13.3%	16.0%	22.0%	4.1%	1.0%

表 2.10 就学費（授業料を除く図書・文房具・パソコン等）【学類別、学年別、男女別、全体（%）】

	0円	1円以上 5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 1万5千円未満	1万5千円以上 2万円未満	2万円以上 2万5千円未満	2万5千円以上 3万円未満	3万円以上 3万5千円未満	3万5千円以上 4万円未満	4万円以上
人文学類	14.5%	43.6%	18.2%	12.7%	5.5%	0.9%	0.0%	1.8%	0.0%	2.7%
比較文化学類	4.5%	54.5%	27.3%	6.1%	3.0%	0.0%	0.0%	1.5%	1.5%	1.5%
日本語・日本文化学類	10.8%	56.8%	21.6%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%
社会学類	9.1%	36.4%	40.0%	5.5%	3.6%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	1.8%
国際総合学類	11.1%	38.9%	36.1%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
教育学類	2.2%	22.2%	42.2%	15.6%	11.1%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	2.2%
心理学類	24.0%	50.0%	12.0%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
障害科学類	15.9%	25.0%	20.5%	18.2%	6.8%	4.5%	4.5%	2.3%	0.0%	2.3%
生物学類	19.1%	42.6%	23.4%	5.3%	4.3%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
生物資源学類	18.2%	45.5%	23.5%	6.1%	3.0%	0.8%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%
地球学類	14.7%	41.2%	23.5%	5.9%	8.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
数学類	8.7%	34.8%	34.8%	13.0%	4.3%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%
物理学類	17.8%	33.3%	17.8%	8.9%	13.3%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	4.4%
化学類	16.2%	37.8%	24.3%	10.8%	5.4%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
応用理工学類	11.1%	33.3%	43.2%	7.4%	2.5%	0.0%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%
工学システム学類	16.5%	40.9%	23.6%	6.3%	7.1%	1.6%	0.8%	0.0%	0.0%	3.1%
社会工学類	12.3%	42.5%	30.1%	5.5%	2.7%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	4.1%
情報科学類	19.3%	21.7%	32.5%	14.5%	3.6%	4.8%	0.0%	1.2%	1.2%	1.2%
情報メディア創成学類	8.2%	32.7%	32.7%	18.4%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	2.0%
知識情報・図書館学類	13.0%	38.0%	29.6%	11.1%	2.8%	0.9%	0.0%	0.9%	0.9%	2.8%
医学類	14.0%	29.4%	17.5%	19.6%	5.6%	5.6%	2.1%	0.0%	1.4%	4.9%
看護学類	6.2%	43.2%	22.2%	8.6%	4.9%	6.2%	0.0%	0.0%	4.9%	3.7%
医療科学類	8.3%	45.8%	33.3%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
体育専門学群	15.5%	50.4%	20.1%	4.7%	3.6%	1.8%	0.0%	1.1%	0.4%	2.5%
芸術専門学群	11.0%	28.8%	26.3%	13.6%	10.2%	0.8%	1.7%	2.5%	0.0%	5.1%
総合学域群	12.6%	29.1%	32.3%	13.4%	3.1%	4.7%	1.6%	0.0%	0.8%	2.4%
1年次	11.6%	36.2%	26.8%	9.3%	5.2%	2.8%	1.2%	0.9%	1.0%	5.1%
2年次	14.7%	42.6%	22.0%	11.3%	4.3%	2.3%	0.4%	0.5%	0.0%	2.0%
3年次	14.2%	40.4%	29.7%	8.9%	3.9%	0.7%	0.2%	0.7%	0.5%	0.9%
4年次	17.6%	40.5%	24.4%	8.2%	4.3%	1.4%	1.4%	0.7%	0.4%	1.1%
医学類5年次	7.1%	35.7%	21.4%	35.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学類6年次	10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	14.9%	36.4%	28.2%	9.0%	5.1%	1.9%	1.0%	0.8%	0.5%	2.2%
女性	12.2%	42.3%	23.1%	10.7%	3.9%	2.3%	0.6%	0.7%	0.6%	3.6%
全体	13.6%	39.2%	25.8%	9.8%	4.6%	2.1%	0.8%	0.7%	0.6%	2.9%

表 2.11 交通費（定期代・ガソリン代・駐車場代等）【学類別、学年別、男女別、全体（%）】

	0円	1円以上 5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 1万5千円未満	1万5千円以上 2万円未満	2万円以上 2万5千円未満	2万5千円以上 3万円未満	3万円以上 3万5千円未満	3万5千円以上 4万円未満	4万円以上
人文学類	34.9%	33.0%	12.8%	10.1%	1.8%	1.8%	1.8%	0.9%	0.9%	1.8%
比較文化学類	25.0%	31.3%	18.8%	6.3%	7.8%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
日本語・日本文化学類	23.7%	21.1%	23.7%	15.8%	7.9%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%
社会学類	30.4%	30.4%	19.6%	7.1%	7.1%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
国際総合学類	35.1%	2.7%	21.6%	29.7%	2.7%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
教育学類	27.7%	23.4%	19.1%	10.6%	4.3%	6.4%	4.3%	2.1%	2.1%	0.0%
心理学類	20.0%	28.0%	28.0%	12.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
障害科学類	21.7%	28.3%	28.3%	10.9%	2.2%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%
生物学類	33.0%	20.9%	26.4%	6.6%	5.5%	2.2%	1.1%	0.0%	1.1%	3.3%
生物資源学類	22.4%	29.1%	17.9%	7.5%	9.7%	3.0%	2.2%	3.7%	1.5%	3.0%
地球学類	29.0%	21.7%	29.0%	10.1%	2.9%	1.4%	2.9%	0.0%	0.0%	2.9%
数学類	42.2%	28.9%	8.9%	11.1%	4.4%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%
物理学類	36.4%	27.3%	13.6%	6.8%	4.5%	2.3%	2.3%	4.5%	0.0%	2.3%
化学類	38.5%	17.9%	17.9%	2.6%	5.1%	5.1%	2.6%	5.1%	0.0%	5.1%
応用理工学類	40.5%	22.8%	11.4%	10.1%	3.8%	3.8%	2.5%	3.8%	1.3%	0.0%
工学システム学類	31.2%	34.4%	14.4%	8.8%	3.2%	1.6%	0.8%	0.0%	0.8%	4.8%
社会工学類	18.7%	29.3%	22.7%	10.7%	5.3%	8.0%	0.0%	2.7%	0.0%	2.7%
情報科学類	32.1%	32.1%	14.8%	4.9%	6.2%	3.7%	0.0%	1.2%	1.2%	3.7%
情報メディア創成学類	34.7%	30.6%	12.2%	10.2%	4.1%	4.1%	0.0%	2.0%	0.0%	2.0%
知識情報・図書館学類	34.5%	20.0%	20.9%	6.4%	7.3%	3.6%	0.9%	1.8%	0.9%	3.6%
医学類	25.5%	19.5%	24.8%	14.1%	6.7%	4.0%	1.3%	0.7%	1.3%	2.0%
看護学類	27.1%	28.2%	14.1%	8.2%	10.6%	3.5%	2.4%	0.0%	1.2%	4.7%
医療科学類	38.5%	30.8%	7.7%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%	3.8%	3.8%
体育専門学群	46.4%	19.3%	15.0%	9.3%	4.3%	2.5%	0.4%	0.4%	0.4%	2.1%
芸術専門学群	38.1%	22.0%	14.4%	11.0%	6.8%	2.5%	2.5%	1.7%	0.0%	0.8%
総合学域群	35.7%	22.2%	23.0%	6.3%	3.2%	3.2%	0.0%	1.6%	0.0%	4.8%
1年次	36.9%	26.3%	15.5%	7.3%	4.2%	3.6%	1.3%	0.8%	0.7%	3.4%
2年次	32.1%	23.8%	21.3%	9.2%	6.0%	2.1%	0.9%	1.2%	0.2%	3.0%
3年次	28.9%	24.5%	20.5%	11.8%	5.5%	3.2%	1.1%	2.5%	0.5%	1.6%
4年次	29.0%	24.0%	18.6%	10.8%	7.2%	3.6%	2.2%	0.7%	1.8%	2.2%
医学類5年次	33.3%	13.3%	20.0%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	6.7%
医学類6年次	0.0%	10.0%	10.0%	40.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	36.4%	25.3%	17.1%	8.7%	4.6%	3.1%	0.9%	1.2%	0.6%	2.0%
女性	28.8%	24.3%	19.9%	10.1%	6.3%	3.2%	1.7%	1.3%	0.7%	3.7%
全体	32.8%	24.8%	18.4%	9.4%	5.4%	3.2%	1.3%	1.2%	0.6%	2.8%

表 2.12 通信費（電話料・インターネット等）【学類別、学年別、男女別、全体（%）】

	0円	1円以上 5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 1万5千円未満	1万5千円以上 2万円未満	2万円以上 2万5千円未満	2万5千円以上 3万円未満	3万円以上 3万5千円未満	3万5千円以上 4万円未満	4万円以上
人文学類	45.3%	31.1%	18.9%	3.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
比較文化学類	37.1%	43.5%	9.7%	6.5%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%
日本語・日本文化学類	33.3%	30.6%	27.8%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会学類	41.8%	27.3%	21.8%	3.6%	3.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際総合学類	37.1%	34.3%	22.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
教育学類	34.9%	27.9%	16.3%	11.6%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%
心理学類	58.7%	26.1%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
障害科学類	54.8%	16.7%	14.3%	9.5%	0.0%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%
生物学類	43.0%	35.5%	15.1%	5.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物資源学類	35.9%	38.2%	21.4%	3.1%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
地球学類	41.0%	36.1%	18.0%	3.3%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
数学類	55.6%	26.7%	13.3%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理学類	48.8%	25.6%	16.3%	2.3%	4.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
化学類	38.2%	32.4%	20.6%	5.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
応用理工学類	40.0%	41.3%	14.7%	1.3%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
工学システム学類	43.7%	35.7%	16.7%	3.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会工学類	31.1%	47.3%	16.2%	2.7%	0.0%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%
情報科学類	38.8%	35.0%	20.0%	3.8%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
情報メディア創成学類	34.7%	40.8%	20.4%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知識情報・図書館学類	45.3%	29.2%	18.9%	1.9%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学類	39.3%	36.6%	16.6%	4.1%	2.1%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
看護学類	37.5%	33.8%	17.5%	5.0%	2.5%	1.3%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%
医療科学類	41.7%	37.5%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%
体育専門学群	37.3%	22.9%	28.0%	8.5%	1.8%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%
芸術専門学群	36.3%	39.8%	15.9%	6.2%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総合学域群	41.7%	30.7%	22.0%	3.1%	0.0%	0.8%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%
1年次	38.5%	34.2%	19.5%	4.5%	0.8%	1.2%	0.2%	0.5%	0.2%	0.2%
2年次	47.2%	30.0%	17.0%	4.1%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
3年次	37.3%	33.1%	21.4%	4.7%	1.9%	1.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%
4年次	37.6%	35.1%	19.0%	4.7%	2.9%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%
医学類5年次	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学類6年次	30.0%	20.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	39.9%	34.9%	19.4%	3.6%	1.2%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
女性	41.2%	30.9%	18.8%	5.5%	1.6%	0.8%	0.3%	0.6%	0.2%	0.1%
全体	40.5%	33.0%	19.1%	4.5%	1.4%	0.9%	0.1%	0.3%	0.1%	0.2%

表 2.13 その他（交際費・教養娯楽費・被服費・医療費等）【学類別、学年別、男女別、全体（%）】

	0円	1円以上 5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 1万5千円未満	1万5千円以上 2万円未満	2万円以上 2万5千円未満	2万5千円以上 3万円未満	3万円以上 3万5千円未満	3万5千円以上 4万円未満	4万円以上
人文学類	3.6%	18.0%	14.4%	19.8%	21.6%	10.8%	4.5%	1.8%	0.0%	5.4%
比較文化学類	6.1%	4.5%	24.2%	24.2%	16.7%	9.1%	3.0%	4.5%	1.5%	6.1%
日本語・日本文化学類	2.7%	5.4%	27.0%	18.9%	13.5%	8.1%	2.7%	8.1%	0.0%	13.5%
社会学類	1.9%	13.0%	16.7%	27.8%	18.5%	1.9%	7.4%	1.9%	1.9%	9.3%
国際総合学類	5.6%	11.1%	8.3%	11.1%	11.1%	25.0%	2.8%	8.3%	2.8%	13.9%
教育学類	2.2%	4.4%	22.2%	28.9%	17.8%	6.7%	4.4%	2.2%	2.2%	8.9%
心理学類	2.1%	6.4%	17.0%	17.0%	17.0%	14.9%	0.0%	21.3%	0.0%	4.3%
障害科学類	2.2%	8.9%	17.8%	28.9%	8.9%	17.8%	4.4%	6.7%	0.0%	4.4%
生物学類	5.4%	15.2%	18.5%	18.5%	12.0%	6.5%	8.7%	6.5%	1.1%	7.6%
生物資源学類	5.1%	14.0%	20.6%	16.2%	14.7%	14.0%	5.1%	4.4%	1.5%	4.4%
地球学類	7.2%	11.6%	20.3%	21.7%	10.1%	15.9%	8.7%	1.4%	1.4%	1.4%
数学類	10.9%	13.0%	21.7%	10.9%	13.0%	10.9%	4.3%	4.3%	2.2%	8.7%
物理学類	20.9%	20.9%	11.6%	14.0%	9.3%	9.3%	2.3%	7.0%	2.3%	2.3%
化学類	5.3%	15.8%	23.7%	23.7%	0.0%	13.2%	7.9%	7.9%	0.0%	2.6%
応用理工学類	10.1%	19.0%	12.7%	19.0%	16.5%	7.6%	7.6%	1.3%	2.5%	3.8%
工学システム学類	8.7%	13.5%	27.8%	15.9%	11.1%	8.7%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%
社会工学類	5.5%	9.6%	16.4%	16.4%	15.1%	15.1%	4.1%	8.2%	4.1%	5.5%
情報科学類	7.4%	16.0%	16.0%	11.1%	11.1%	9.9%	9.9%	7.4%	1.2%	9.9%
情報メディア創成学類	12.2%	10.2%	14.3%	18.4%	12.2%	18.4%	4.1%	2.0%	0.0%	8.2%
知識情報・図書館学類	5.5%	11.9%	18.3%	17.4%	13.8%	11.9%	5.5%	8.3%	0.9%	6.4%
医学類	9.0%	6.2%	20.7%	13.8%	8.3%	13.8%	8.3%	6.2%	2.1%	11.7%
看護学類	0.0%	7.6%	12.7%	12.7%	19.0%	11.4%	10.1%	11.4%	3.8%	11.4%
医療科学類	8.0%	16.0%	20.0%	28.0%	4.0%	12.0%	4.0%	8.0%	0.0%	0.0%
体育専門学群	6.2%	10.6%	27.1%	16.5%	13.9%	8.1%	7.7%	3.3%	1.1%	5.5%
芸術専門学群	4.1%	13.9%	24.6%	13.9%	9.8%	14.8%	7.4%	4.1%	1.6%	5.7%
総合学域群	10.2%	11.0%	22.8%	17.3%	17.3%	9.4%	3.1%	7.1%	0.0%	1.6%
1年次	8.3%	13.8%	22.4%	16.8%	12.6%	10.0%	4.5%	4.6%	1.8%	5.3%
2年次	4.6%	9.4%	19.5%	19.3%	14.0%	11.9%	8.0%	5.5%	0.2%	7.6%
3年次	7.3%	12.1%	17.4%	16.9%	13.9%	13.2%	5.5%	6.6%	1.6%	5.5%
4年次	3.2%	11.0%	21.6%	17.7%	14.5%	9.9%	7.4%	5.7%	1.8%	7.1%
医学類5年次	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%	14.3%	21.4%	0.0%	21.4%	0.0%	7.1%
医学類6年次	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	20.0%
男性	9.7%	13.0%	22.0%	17.1%	12.8%	9.2%	5.2%	3.9%	1.1%	6.1%
女性	2.8%	10.7%	18.7%	18.0%	14.2%	13.3%	6.9%	7.3%	1.6%	6.5%
全体	6.4%	11.9%	20.4%	17.5%	13.5%	11.2%	6.0%	5.5%	1.3%	6.3%

表 2.14 預貯金・借金返済【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】

	0円	1円以上 5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 1万5千円未満	1万5千円以上 2万円未満	2万円以上 2万5千円未満	2万5千円以上 3万円未満	3万円以上 3万5千円未満	3万5千円以上 4万円未満	4万円以上
人文学類	64.4%	5.0%	5.9%	8.9%	3.0%	3.0%	4.0%	2.0%	0.0%	4.0%
比較文化学類	69.8%	1.9%	3.8%	5.7%	5.7%	1.9%	0.0%	1.9%	1.9%	7.5%
日本語・日本文学類	57.6%	15.2%	9.1%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%
社会学類	56.3%	6.3%	6.3%	12.5%	2.1%	2.1%	4.2%	0.0%	0.0%	10.4%
国際総合学類	70.0%	0.0%	10.0%	6.7%	3.3%	3.3%	0.0%	3.3%	3.3%	0.0%
教育学類	78.4%	5.4%	2.7%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	8.1%
心理学類	65.1%	7.0%	9.3%	7.0%	4.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%
障害科学類	65.8%	2.6%	7.9%	13.2%	0.0%	5.3%	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%
生物学類	81.8%	3.4%	3.4%	4.5%	2.3%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	2.3%
生物資源学類	63.3%	6.7%	10.0%	4.2%	3.3%	3.3%	1.7%	1.7%	0.8%	5.0%
地球学類	59.6%	8.8%	3.5%	8.8%	5.3%	3.5%	3.5%	1.8%	0.0%	5.3%
数学類	66.7%	4.8%	4.8%	21.4%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
物理学類	62.5%	5.0%	12.5%	2.5%	0.0%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
化学類	69.7%	3.0%	9.1%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%	9.1%
応用理工学類	72.5%	2.9%	7.2%	5.8%	1.4%	4.3%	2.9%	1.4%	0.0%	1.4%
工学システム学類	69.8%	5.2%	4.3%	6.9%	6.0%	0.9%	0.9%	2.6%	0.0%	3.4%
社会工学類	54.7%	6.3%	9.4%	9.4%	3.1%	4.7%	3.1%	0.0%	0.0%	9.4%
情報科学類	63.5%	5.4%	6.8%	2.7%	4.1%	5.4%	1.4%	4.1%	1.4%	5.4%
情報メディア創成学類	69.0%	4.8%	2.4%	2.4%	2.4%	4.8%	2.4%	4.8%	0.0%	7.1%
知識情報・図書館学類	64.4%	7.9%	6.9%	8.9%	3.0%	0.0%	2.0%	4.0%	1.0%	2.0%
医学類	69.5%	2.3%	3.9%	4.7%	3.9%	2.3%	0.0%	1.6%	0.0%	11.7%
看護学類	60.6%	2.8%	4.2%	12.7%	2.8%	2.8%	2.8%	1.4%	1.4%	8.5%
医療科学類	65.2%	8.7%	4.3%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%
体育専門学群	75.6%	6.3%	6.7%	3.8%	1.7%	1.3%	0.8%	0.0%	0.0%	3.8%
芸術専門学群	66.0%	7.8%	5.8%	6.8%	3.9%	2.9%	1.9%	1.9%	0.0%	2.9%
総合学域群	74.1%	6.3%	3.6%	5.4%	1.8%	2.7%	3.6%	0.0%	0.9%	1.8%
1年次	70.8%	6.2%	4.6%	5.3%	2.8%	2.1%	2.1%	0.8%	0.3%	4.9%
2年次	63.9%	5.6%	7.2%	8.5%	3.7%	2.9%	1.0%	2.1%	0.4%	4.7%
3年次	65.1%	5.2%	8.7%	6.5%	2.2%	3.0%	0.7%	2.2%	0.7%	5.5%
4年次	69.6%	3.6%	4.5%	6.1%	4.5%	2.8%	2.0%	1.2%	1.2%	4.5%
医学類5年次	85.7%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
医学類6年次	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
男性	69.0%	5.1%	6.4%	7.1%	2.3%	2.6%	1.0%	1.6%	0.4%	4.5%
女性	66.4%	5.9%	5.8%	5.7%	4.0%	2.6%	2.1%	1.3%	0.7%	5.5%
全体	67.8%	5.5%	6.1%	6.4%	3.1%	2.6%	1.5%	1.5%	0.5%	5.0%

#### 問4. アルバイトの経験について

- ◎ 全体の74.1%の学生が、今年の4月以降にアルバイトをしている。
- ◎ 具体的には、54.3%が「春学期中に定期的なアルバイトをした」、43.2%が「夏季休業期間中に定期的なアルバイトをした」と回答している。

調査年の4月以降のアルバイト経験について、「春学期中に定期的なアルバイトをした」「春学期中に臨時的なアルバイトをした」「夏季休業中に定期的なアルバイトをした」「夏季休業期間中に臨時的なアルバイトをした」「全くしなかった」から当てはまるものを全て選択してもらった。

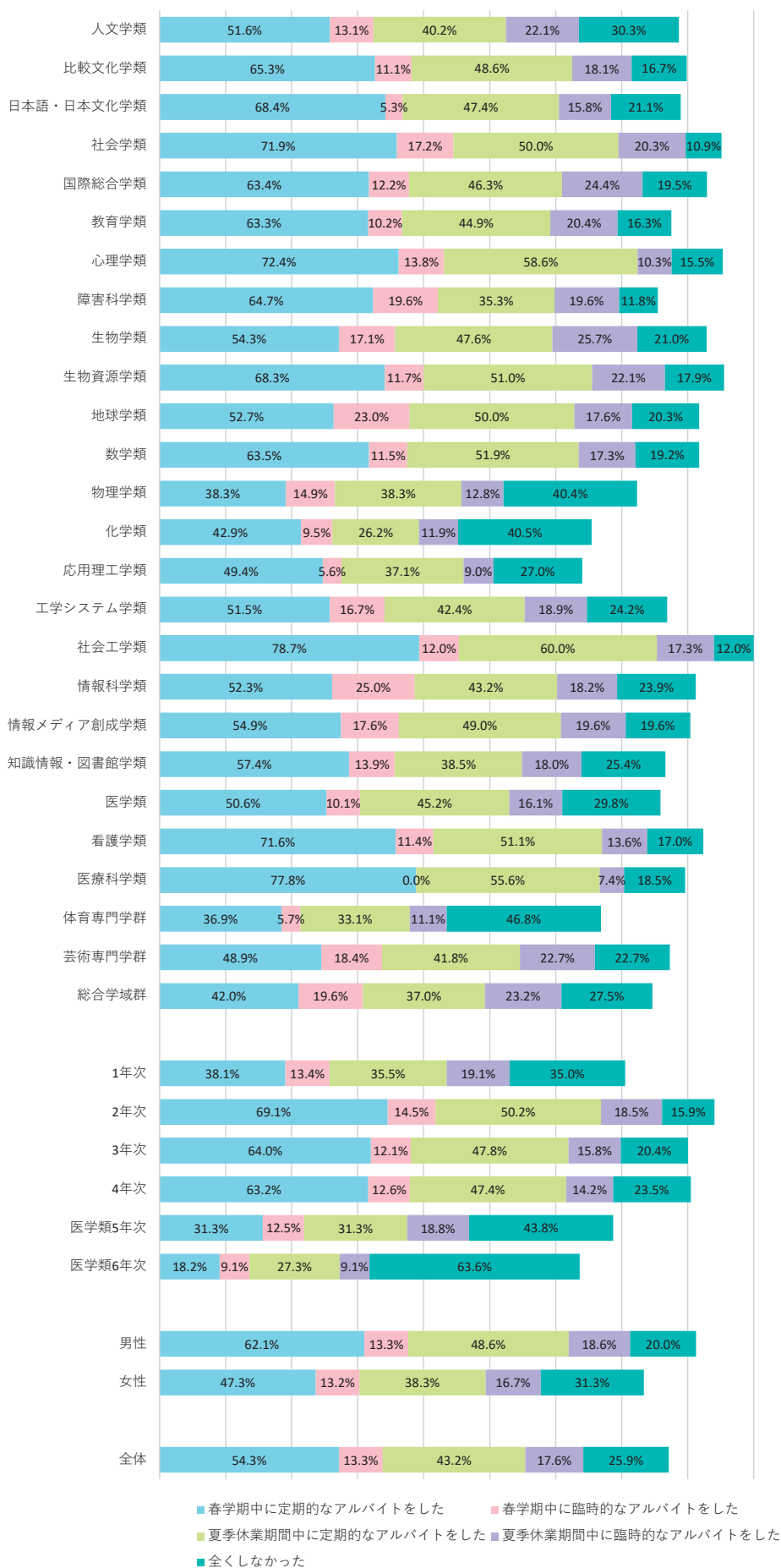
調査の結果からは、全体で74.1%の学生が、何らかのアルバイトをしていることが示された。具体的には、54.3%が「春学期中に定期的なアルバイトをした」、43.2%が「夏季休業中に定期的なアルバイトをした」と回答しており、定期的なアルバイトが重要な収入源となっている様子が見えてくる。また、17.6%は「夏季休業期間中に臨時的なアルバイトをした」、13.3%は「春学期中に臨時的なアルバイトをした」を選択している。

何らかのアルバイトをする学生の割合は、前回調査（平成29年度調査）の76.1%とほぼ同じ水準である。ただし、前々回調査（平成24年度調査）において何らかのアルバイトをしている学生の割合は64.4%であったから、平成24年頃と比較すると、アルバイトをする学生の割合が上昇傾向であることがわかる。

学年ごとにみると、1年次では「全くしなかった」の割合が35.0%で、全体を10ポイントほど上回っていた。また、医学類5年次では43.8%、医学類6年次では63.6%と、全体を大きく上回っている。勉学に忙しく、アルバイトをする時間がない様子が見えてくる。これは前回調査と同一の傾向である。学群・学類別にみると、物理学類、化学類、体育専門学類でアルバイトを「全くしなかった」の割合が40%を上回っている。



図 2.3 アルバイトの経験【学群・学類別、学年別、男女別、全体 (%)】



#### 問4-1. アルバイトの種類について

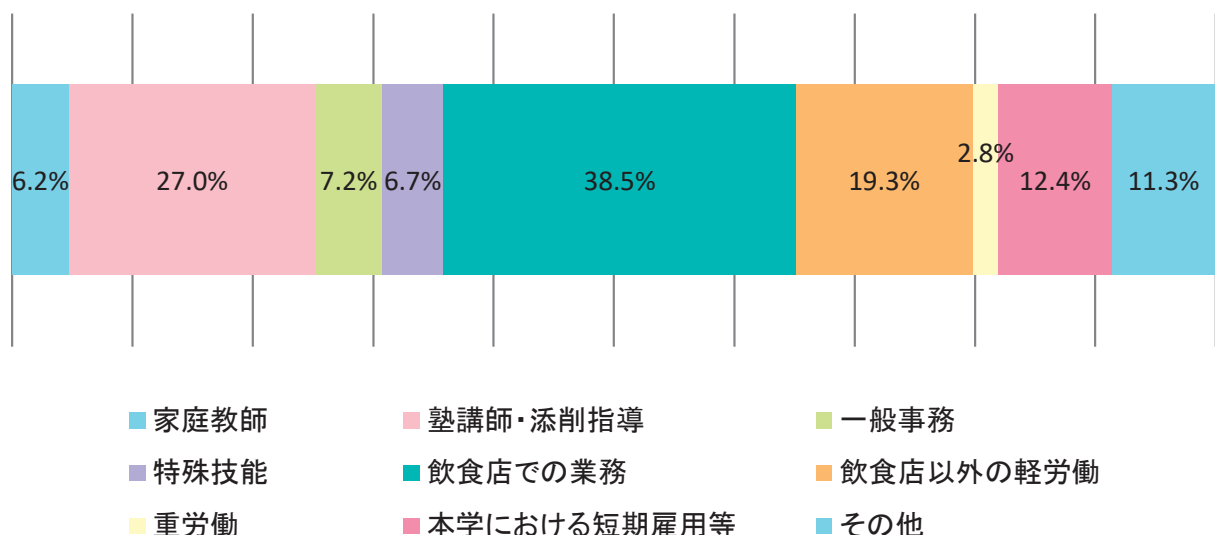
- ◎「飲食店での業務」が38.5%でもっと多い。
- ◎「塾講師・添削指導」や「家庭教師」など、教育指導に関するアルバイトをする学生は33.2%であった。
- ◎一方、「一般事務」「特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）」「重労働（引っ越し・建築関係等）」に従事する学生の割合は、それぞれ10%を下回っていた。

問4でアルバイトをしたことがある学生に対し、アルバイトの種類について複数回答で尋ねた。アルバイトの種類は、「家庭教師」「塾講師・添削指導」「一般事務」「特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）」「飲食店での業務」「飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）」「重労働（引っ越し・建築関係等）」「本学における短期雇用等」「その他」である。

これらのアルバイトの中では「飲食店での業務」が38.5%でもっと多く、「塾講師・添削指導」の27.0%、「飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）」の19.3%、「本学における短期雇用等」の12.4%、「その他」の11.3%と続く。「塾講師・添削指導」と「家庭教師」をあわせると33.2%であるから、飲食店でのアルバイトと並んで教育指導に関するアルバイトが重要な収入源であることがわかる。これは、前回調査とほぼ同一の結果である。一方、「一般事務」は7.2%、「特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）」は6.7%、「重労働（引っ越し・建築関係等）」は2.8%であり、それぞれ10%を下回っていた。これも前回調査とほぼ同一の結果であった。

学群・学類ごとにみると、人文学類、日本語・日本文化学類、社会学類、国際総合学類、教育学類、生物学類、生物資源学類、地球学類、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、医学類、医療科学類、総合学域群で、教育関係のアルバイトに従事する割合が全体の平均を上回っている。とりわけ、数学類、物理学類、医学類では、50%以上が教育関係のアルバイトに従事している。

図 2.4 アルバイトの種類【全体 (%)】



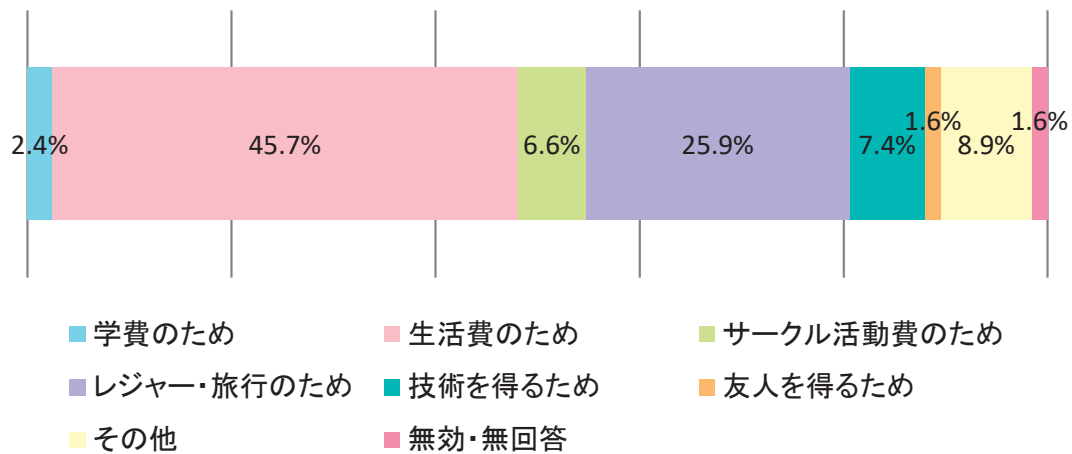
## 問4-2. アルバイトをする理由について

- ◎ 45.7%の学生が「生活費のため」にアルバイトをしている。
- ◎ 次いで「レジャー・旅行のため」の25.9%、「その他」の8.9%が多い。
- ◎ 「学費のため」にアルバイトをしている学生は、2.4%に留まる。

問4でアルバイトをしたことがあると回答した学生に対して、アルバイトをする理由を複数選択で尋ねた。アルバイトをする理由として示したのは、「学費のため」「生活費のため」「サークル活動費のため」「レジャー・旅行のため」「技術を得るため」「友人を得るため」「その他」である。

その結果、「生活費のため」にアルバイトをする学生が45.7%でもっとも多い。これに、「レジャー・旅行のため」の25.9%、「その他」の8.9%、「技術を得るため」の7.4%、「サークル活動費のため」の6.6%が続く。「学費のため」を選択したのは、2.4%に留まった。

図2.5 アルバイトをする理由【全体 (%)】



#### 問4-3. アルバイトの学修への影響について

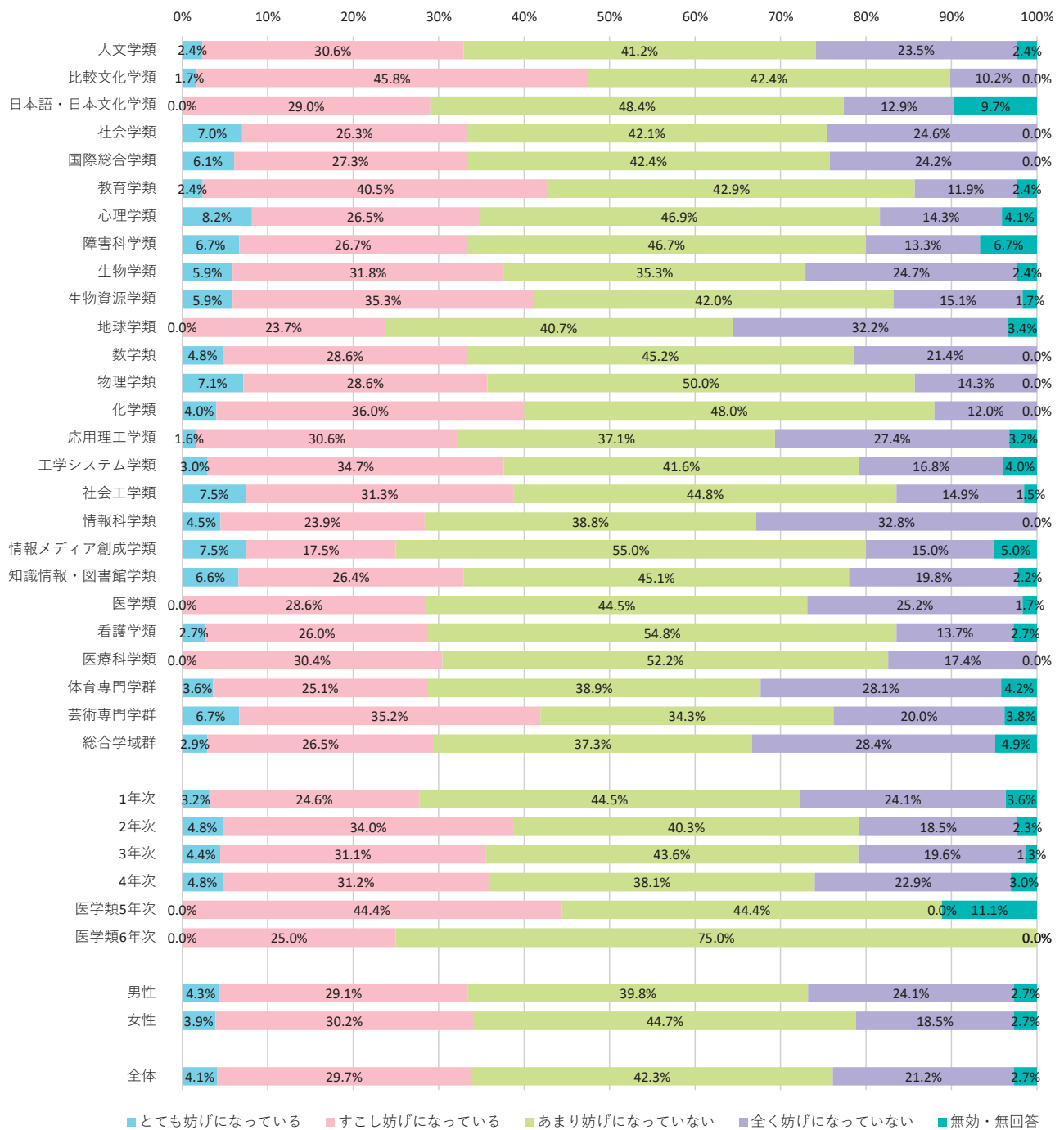
- ◎ 約 35%の学生がアルバイトに費やす時間が学修の妨げとなっていると感じている。
- ◎ 医学類5年次では、アルバイトが学修の「とても妨げになっている」あるいは「すこし妨げになっている」と回答した者の割合が50%を超えた。
- ◎ 概ね、前回の調査と同一の傾向である。

問4でアルバイトをしたことがあると回答した学生に対して、そのアルバイトに費やされる時間は学修の妨げになっているかを、「とても妨げになっている」「すこし妨げになっている」「あまり妨げになっていない」「全く妨げになっていない」の4択で尋ねた。

調査の結果、4.1%が「とても妨げになっている」、30.1%が「すこし妨げになっている」、42.8%が「あまり妨げになっていない」、21.4%が「全く妨げになっていない」と回答していることが示された。このことから、全体の約35%の学生が、アルバイトに費やす時間が学修の妨げとなっていると感じていることがわかる。前回調査と選択肢が変わっているため単純な比較はできないが（前回は「かなり妨げになっている」「多少妨げになっている」「妨げになっていない」の3択）、妨げになっていると感じている学生の割合は、おおむね同水準である。

学群・学類ごとにみると、比較文化学類、教育学類、生物資源学類、化学類、芸術専門学群で、「とても妨げになっている」あるいは「すこし妨げになっている」と回答した者の割合が40%を超えている。また、学年ごとにみると、医学5年次で「とても妨げになっている」あるいは「すこし妨げになっている」と回答した者の割合が50%を超えており、学修の多忙さがうかがえる。

図 2.6 アルバイト時間の学修への影響【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】



## 問5. 大学に希望する経済支援について

### 問5-1. 一時貸付金を希望する理由について

- ◎ 希望する経済支援としては、「給付型（返還義務なし）奨学金」が48.6%でもっとも多い。
- ◎ 「特に希望しない」を選択した学生は36.0%であり、前回調査よりも10ポイントほど増加している。
- ◎ 「一時貸付金」を希望する理由は、「生活費のため」が68.5%でもっとも多い。

大学に希望する経済支援として、「給付型（返還義務なし）奨学金」「貸与型（返還義務あり）奨学金」「授業料免除」「一時貸付金（急な出費が生じた場合などの貸付）」「その他」「特に希望しない」から、当てはまるものを全て選択してもらった。

調査の結果、全体の64.0%が何らかの経済支援を希望している。希望する経済支援としては、「給付型（返還義務なし）奨学金」が48.6%でもっとも多く、これに「授業料免除」の41.7%、「貸与型（返還義務あり）奨学金」の6.9%、「一時貸付金（急な出費が生じた場合などの貸付）」の5.6%、「その他」の0.8%が続く。「特に希望しない」を選択した学生は、36.0%であった。前回調査では「特に希望しない」が24.8%であったから、特段の経済支援を希望しない学生の割合が10ポイントほど増加していることがわかる。

また、「一時貸付金」を選択した回答者に対しては、その理由を「授業料のため」「生活費のため」「その他」の3つから複数回答可で尋ねている。「生活費のため」が68.5%でもっとも多く、これに「授業料のため」の41.1%、「その他」の12.9%が続く。なお、学年ごとでの目立った違いは見られなかった。

表 2.15 希望する経済支援【全体 (%)】

	回答数	回答率
給付型（返還義務なし）奨学金	1,077	48.6%
貸与型（返還義務あり）奨学金	152	6.9%
授業料免除	923	41.7%
一時貸付金（急な出費が生じた場合などの貸付）	124	5.6%
その他	18	0.8%
特に希望しない	797	36.0%

表 2.16 一時貸付金を希望する理由【全体 (%)】

	回答数	回答率
授業料のため	51	41.1%
生活費のため	85	68.5%
その他	16	12.9%

## 問 6. 現在の住まいについて

### 問 6 - 1. 学生宿舎への入居希望について

- ◎ 57.9%が「民間のアパート・マンション」に居住している。
- ◎ 21.4%が「学生宿舎」に居住しており、とくに1年次では35.8%が「学生宿舎」に居住している。
- ◎ 現在「学生宿舎」に居住していない学生の中で、入居を希望するのは2.7%に留まる。

現在の住まいについて、「学生宿舎」「民間のアパート・マンション」「親と同居」「親戚・知人宅」「その他」の中から、当てはまるものを1つだけ選択してもらった。

全体では「民間のアパート・マンション」が57.9%でもっとも多く、これに「学生宿舎」の21.4%、「親と同居」の19.5%が続く。「親戚・知人宅」「その他」を選択した者はそれぞれ1%を下回った。学年ごとにとみると、1年次では35.8%が「学生宿舎」を選択しており、学年が上がるごとにこの割合が減少する。1年次では、まず学生宿舎に入居する傾向があることがわかる。また、前回調査では、「学生宿舎」が19.1%、「民間のアパート・マンションなど」が62.6%、「親と同居」すなわち自宅通学者が16.5%であったから、目立った変化はない。

さらに、問6において「学生宿舎」以外を選択した学生に対しては、学生宿舎への入居希望について「希望する」「希望しない」の2択で尋ねた。「希望する」と回答した学生は2.7%に留まり、94.3%は宿舎への入居を希望していないことが示された。前回調査では7.6%が希望すると回答していたから、学生宿舎への入居希望は全体としては減少傾向にある。

また、前回調査では、1年次の学生宿舎への入居希望が3.0%で、年次が進むにつれてその比率は増加し、4年次では11.4%と入居希望が多くなっているという傾向があった。しかし、今回の調査では4年次でも入居希望者は3.9%に留まっている。ただし、2年次以上で入居を希望する学生もいることから、これらをいかに収容するか検討が必要であるだろう。

図 2.7 現在の住まい【全体 (%)】

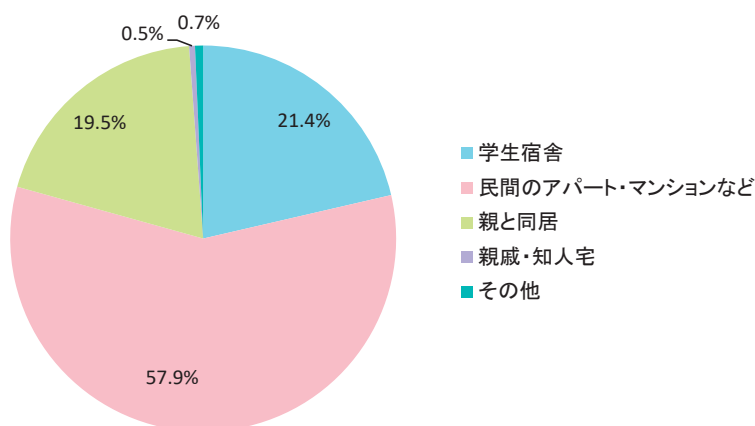


表 2.17 学生宿舎への入居希望【学年別、男女別 (%)】

	希望する		希望しない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1年次	14	2.4%	547	93.7%	23	3.9%
2年次	14	2.8%	470	95.1%	10	2.0%
3年次	10	2.5%	379	94.5%	12	3.0%
4年次	10	3.9%	240	93.4%	7	2.7%
医学類5年次	0	0.0%	13	100.0%	0	0.0%
医学類6年次	0	0.0%	8	100.0%	0	0.0%
男性	27	2.9%	870	94.0%	29	3.1%
女性	21	2.5%	787	94.7%	23	2.8%
全体	48	2.7%	1657	94.3%	52	3.0%



## 問6－2. 現在の居住地について

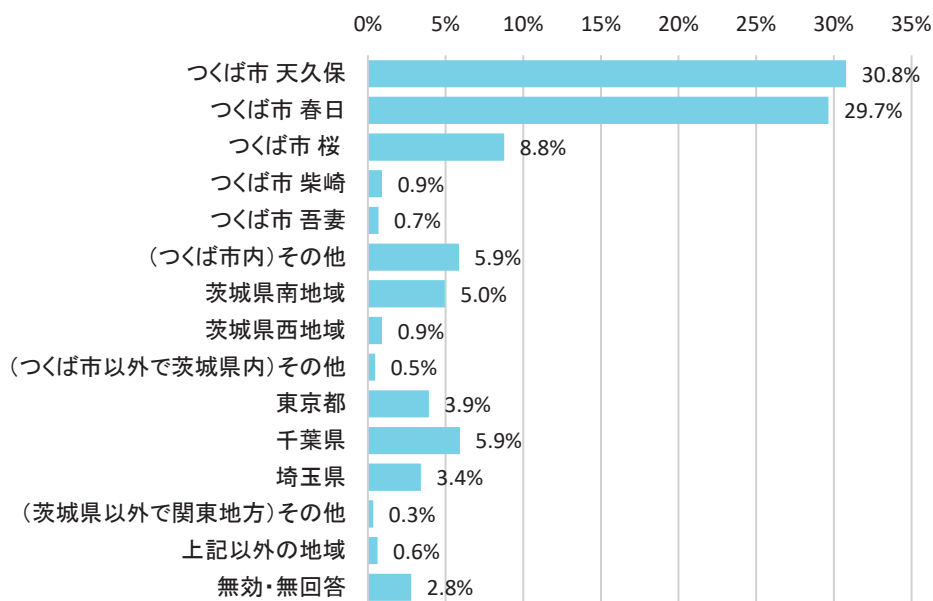
- ◎ 学生宿舎以外に居住する学生については、つくば市内に居住する学生の割合が76.8%でもっとも多い。とりわけ、天久保と春日の居住率が高い。
- ◎ 茨城県外で関東地方は13.5%、つくば市以外で茨城県内は6.4%であった。

問6で「学生宿舎」以外を選択した学生に対して、現在の居住地を尋ねた。

選択肢は、(A) 学生宿舎以外でつくば市内 (1. 天久保、2. 春日、3. 桜、4. 柴崎、5. 吾妻、6. その他)、(B) つくば市以外で茨城県内 (1. 県南地域、2. 県西地域、3. その他)、(C) 茨城県外で関東地方 (1. 東京都、2. 千葉県、3. 埼玉県 4. その他)、(D) その他である。

学生宿舎以外でつくば市内が76.8%、つくば市以外で茨城県内が6.4%、茨城県外で関東地方が13.5%で、つくば市内に居住する学生の割合がもっとも高いことがわかる。このうち、天久保が30.8%、春日が29.7%でそれぞれ居住率が高く、この2地区だけで全体の60.5%を占めている。前回調査では、この2地区の居住率はそれぞれ29.6%と34.5%であったから、大きな変化はない。学年ごと、学群・学類ごとにも目立った違いは見られなかった。

図 2.8 現在の住まい【全体 (%)】



問6-3①. 入居している学生宿舎について

問6-3②. 入居している学生宿舎の居室のタイプについて

- ◎ 学生宿舎の入居者のうち、49.6%が「平砂地区」に居住している。
- ◎ 「一の矢地区」の居住者は24.7%、「追越地区」の居住者は13.2%、「春日地区」の居住者は10.7%である。
- ◎ 79.3%が「単身宿舎」に居住している。

問6で「学生宿舎」に入居していると回答した学生に対して、入居地区を「一の矢地区」「平砂地区」「追越地区」「春日地区」の4択で尋ねた。49.6%が「平砂地区」でもっとも多く、これに「一の矢地区」の24.7%、「追越地区」の13.2%、「春日地区」の10.7%が続く。

また、居室タイプを「単身宿舎」「世帯宿舎」「二人室(単身使用)」「シェアハウス(グローバルヴィレッジ)」の4択で尋ねたところ、79.3%が「単身宿舎」でもっとも多く、これに「シェアハウス(グローバルヴィレッジ)」の16.7%、「二人室(単身使用)」の2.7%が続いた。

図 2.9 学生宿舎の地区【全体 (%)】

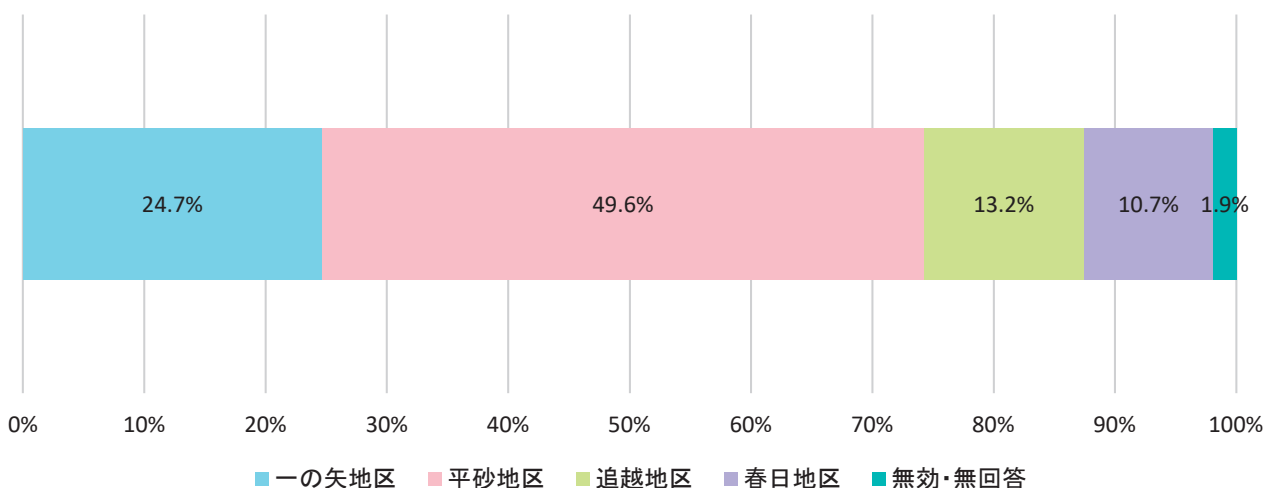
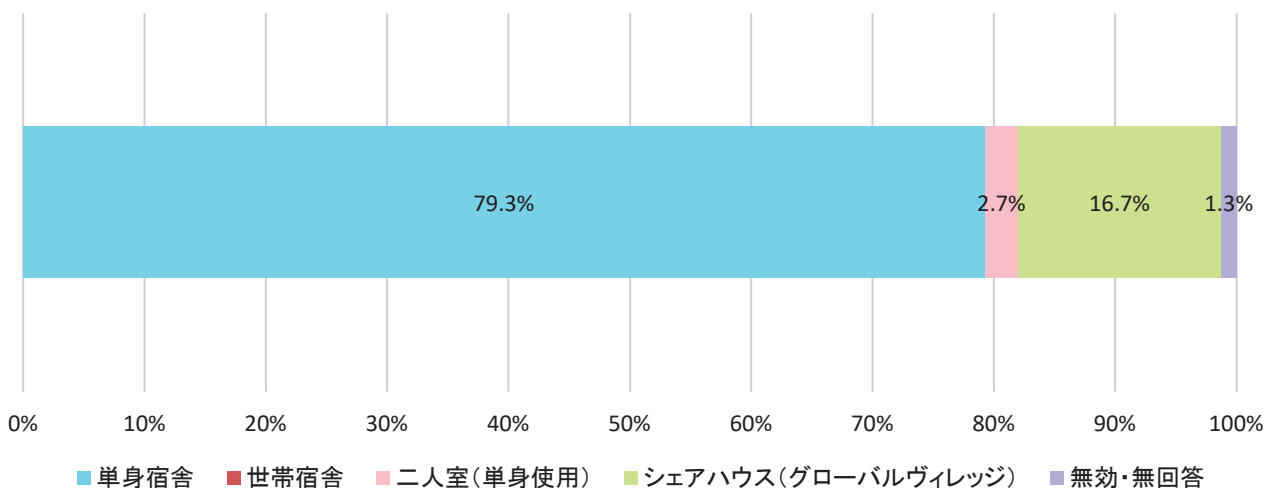


図 2.10 居室のタイプ【全体 (%)】



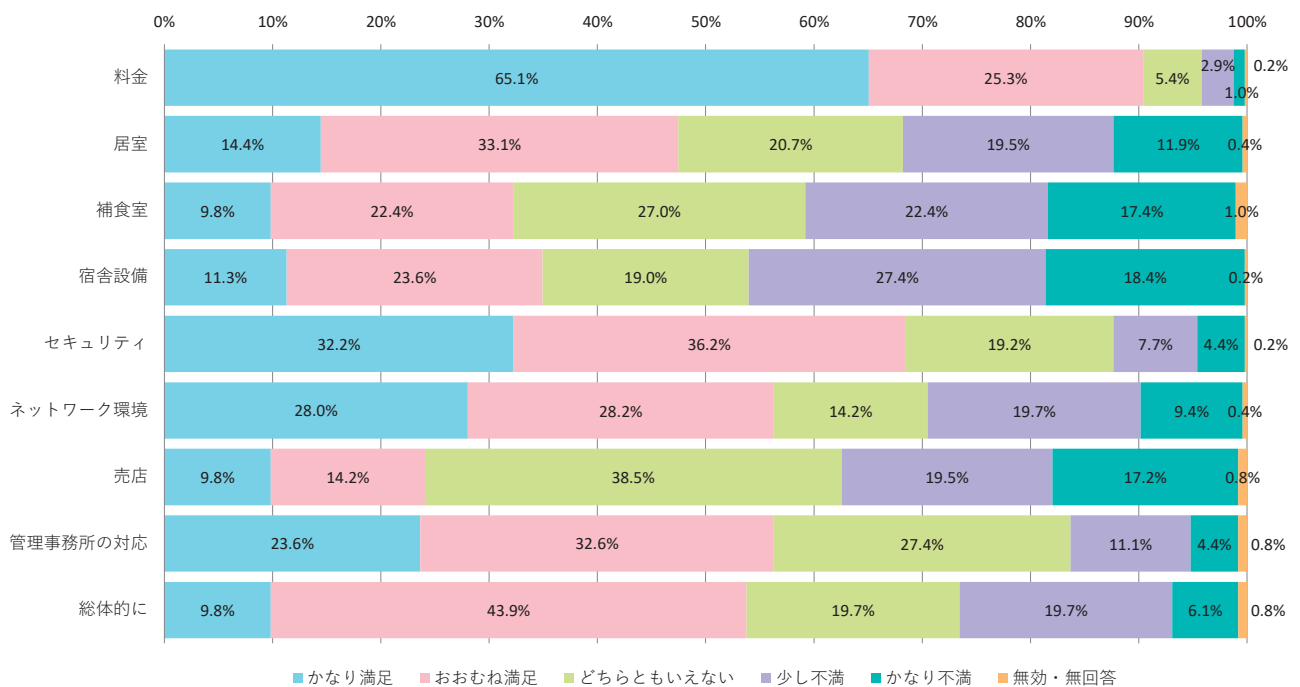
## 問6-4. 学生宿舎の満足度について

- ◎ 学生宿舎の入居者のうち、53.7%が居住環境に総合的には満足している（「かなり満足」と「おおむね満足」の合計）。
- ◎ とりわけ、90.4%の入居者が「料金」に満足をしている。また、「セキュリティ」「ネットワーク環境」「管理事務所の対応」の満足度も50%を超えている
- ◎ 一方で、「売店」の満足度は24.0%と低調であった。

問6で「学生宿舎」に入居していると回答した学生に対して、現在の居住地の満足度について、「かなり満足」「おおむね満足」「どちらともいえない」「少し不満」「かなり不満」の5段階で尋ねた。尋ねたのは、「料金」「居室」「補食室」「宿舎設備（エアコン・トイレ・洗濯室・コインシャワー等）」「セキュリティ」「ネットワーク環境」「売店」「管理事務所の対応」「総合的に」の9項目である。

総合的にみると、「かなり満足」が9.8%、「おおむね満足」が43.9%、「どちらともいえない」が19.7%、「少し不満」が19.7%、「かなり不満」が6.1%であり、53.7%が満足している（「かなり満足」と「おおむね満足」の合計）ことがわかる。これは前回調査とおおむね同一の水準である。「かなり満足」と「おおむね満足」の合計の割合を項目別にみると、料金が90.4%でもっとも高く、その他「セキュリティ」「ネットワーク環境」「管理事務所の対応」が50%を超えている。いっぽうで、「売店」の満足度は24.0%と低調であった。

図 2.11 学生宿舎満足度【全体 (%)】



## 問6－5. 学生宿舎での生活について

- ◎ 学生宿舎の入居者のうち、35.6%は近隣の入居者と「ほとんど会話しなない」。
- ◎ 学生宿舎の入居者のうち、60.7%は留学生居住者との交流が「まったくない」。
- ◎ 前回調査とほぼ同一の傾向である。

問6で「学生宿舎」に入居していると回答した学生に対して、「A. 近隣の入居者との関係」「B. 留学生居住者（留学生の方は、日本人居住者との交流）との交流」の状況について尋ねた。なお、近隣の入居者との関係は「よく会話をする」「時々会話をする」「あいさつを交わす程度」「ほとんど会話しなない」の4段階、留学生居住者との交流は「よくある」「ときどきある」「あまりない」「まったくない」の4段階で尋ねた。

近隣の入居者との関係は、15.7%が「よく会話をする」、22.4%が「時々会話をする」、25.9%が「あいさつを交わす程度」、35.6%が「ほとんど会話しなない」であった。前回調査では、「よく会話をする」が10.9%、「時々会話をする」が24.9%、「あいさつを交わす程度」が33.0%、「ほとんど会話しなない」が27.9%であったから、目立った違いは見られないことがわかる。

また、留学生居住者との交流は、6.1%が「よくある」、15.9%が「ときどきある」、15.7%が「あまりない」、60.7%が「まったくない」であった。前回調査では、「よくある」が6.8%、「ときどきある」が16.1%、「あまりない」が17.3%、「まったくない」が55.8%であったことからほぼ横ばいであり、留学生居住者との日常的な交流は少ないことがわかる。

図 2.12 A. 近隣の入居者との関係【全体 (%)】

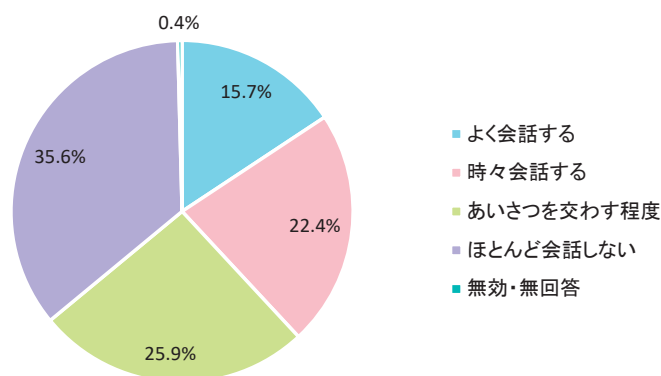
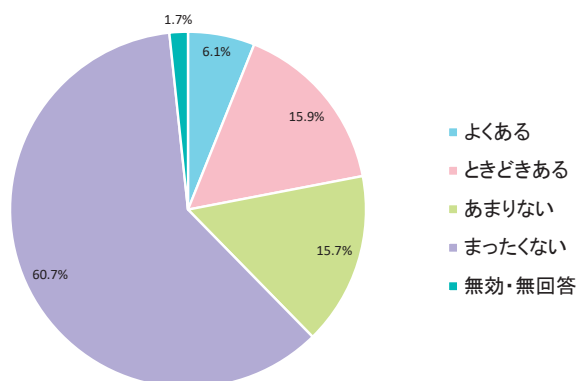


図 2.13 B. 留学生居住者との交流【全体 (%)】



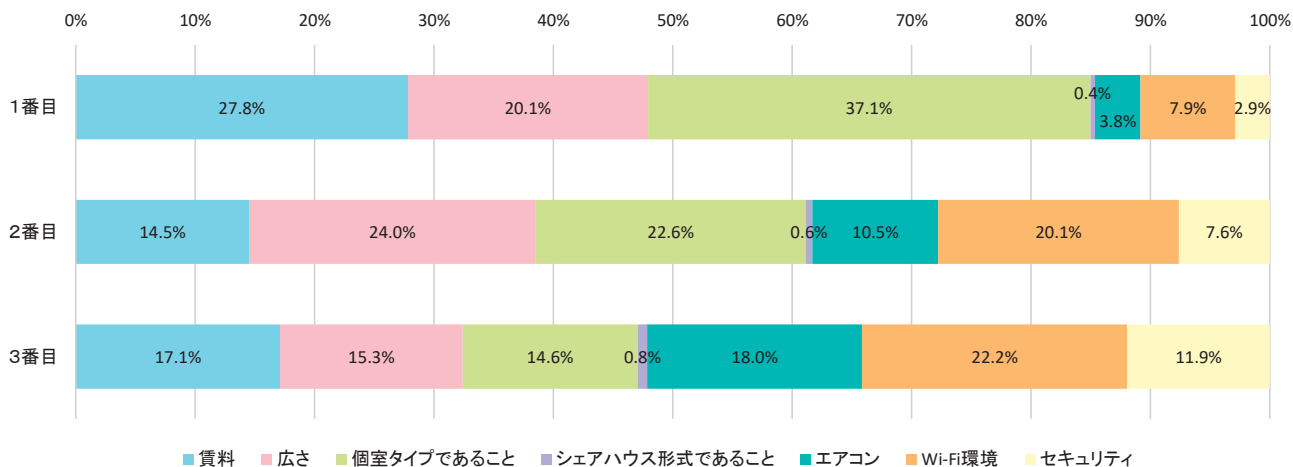
## 問 7. 学生宿舎のリニューアルについて

- ◎ 学生宿舎のリニューアルにあたって1番目に重視する項目としてもっとも多かったのは「個室タイプであること（キッチン・トイレ・シャワー付き）」であり、37.1%がこれを選択している。次いで「賃料」の27.8%、「広さ」の20.1%が続く。
- ◎ 2番目に重視する項目としてもっとも多かったのは、24.0%の「広さ」である。
- ◎ 3番目に重視する項目としてもっとも多かったのは、「Wi-Fi環境」であり、22.2%がこれを選択している。

学生宿舎のリニューアルについて、新しい宿舎に求める項目を重視する順に3つまで選択してもらった。選択肢は「賃料」「広さ」「個室タイプであること（キッチン・トイレ・シャワー付き）」「シェアハウス形式であること」「エアコン」「Wi-Fi環境」「セキュリティ」の7つである。

1番目に重視する項目としてもっとも多かったのは「個室タイプであること（キッチン・トイレ・シャワー付き）」であり、37.1%がこれを選択している。次いで「賃料」の27.8%、「広さ」の20.1%が続く。2番目に重視する項目としてもっとも多かったのは、24.0%の「広さ」であり、「個室タイプであること（キッチン・トイレ・シャワー付き）」「賃料」が続く。3番目に重視する項目としてもっとも多かったのは、「Wi-Fi環境」であり、22.2%がこれを選択していた。これに、「エアコン」「賃料」が続く。総じて、最低限のプライバシーや広さが確保されることや賃料の優先順位が高く、それにWi-Fi環境やエアコンなどの居住環境が続くことがわかる。

図 2.14 重視項目【全体 (%)】



※個室タイプ…キッチン・トイレ・シャワー付き

## 問 8. 平均的な 1 日または 1 週間の過ごし方について

### A. 平均的な 1 日の過ごし方

- ◎「大学の授業の時間（動画視聴）」は 2 時間以上 3 時間未満が 26.3%でもっとも多い。
- ◎ 一方、「授業の予習・復習・課題を行う時間」は 1 時間以上 2 時間未満が 34.4%でもっとも多い。

今年の 4 月から 6 月における平均的な 1 日の時間の使い方を、「大学の授業の時間（対面）」「大学の授業の時間（動画視聴）」「授業の予習・復習・課題を行う時間」「研究の時間」「授業と研究以外の自学自習のための時間」「睡眠時間」に区別して尋ねた。

「大学の授業の時間（対面）」は 67.6%が 1 分以上 3 時間未満と回答しているが、1 時間以上 2 時間未満が 28.5%でもっとも多い。「大学の授業の時間（動画視聴）」は 68.8%が 1 時間以上 4 時間未満と回答しているが（「1 時間以上 2 時間未満」「2 時間以上 3 時間未満」「3 時間以上 4 時間未満」の合計）、そのなかでも 2 時間以上 3 時間未満が 26.3%でもっとも多い。1 日の多くの時間を、授業に充てていることがわかる。

一方、「授業の予習・復習・課題を行う時間」については、1 時間以上 2 時間未満が 34.4%でもっとも多かった。「授業と研究以外の自学自習のための時間」についても、1 分以上 1 時間未満が 36.7%でもっとも多いことから、総じて授業以外の学習時間は限定的であることがうかがえる。

「睡眠時間」は 6 時間以上 8 時間未満（「6 時間以上 7 時間未満」と「7 時間以上 8 時間未満」の合計）が全体の 68.4%を占めた。

図 2.15 平均的な 1 日の過ごし方【全体 (%)】

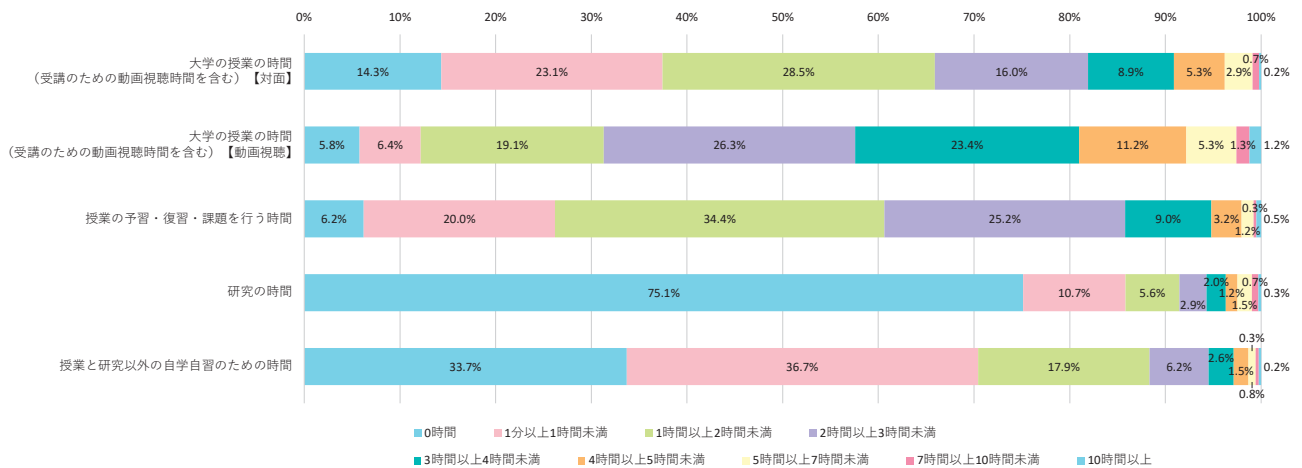
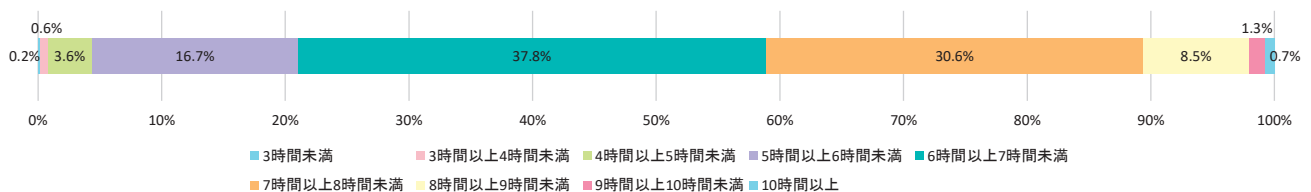


図 2.16 平均的な睡眠時間【全体 (%)】



## B. 平均的な1週間の過ごし方

### C. 平均的な休日の過ごし方

- ◎「大学の授業の時間（対面）」は、10時間未満と回答する学生が68.2%でもっとも多かった。
- ◎「大学の授業の時間（動画視聴）」は、10時間以上15時間未満が24.6%、15時間以上20時間未満が19.9%、20時間以上25時間未満が12.1%であり、まとまった時間を動画視聴にあてていることが示された。
- ◎「授業の予習・復習・課題を行う時間」「研究の時間」「授業と研究以外の自学自習のための時間」は、いずれも10時間未満がもっとも多かった。

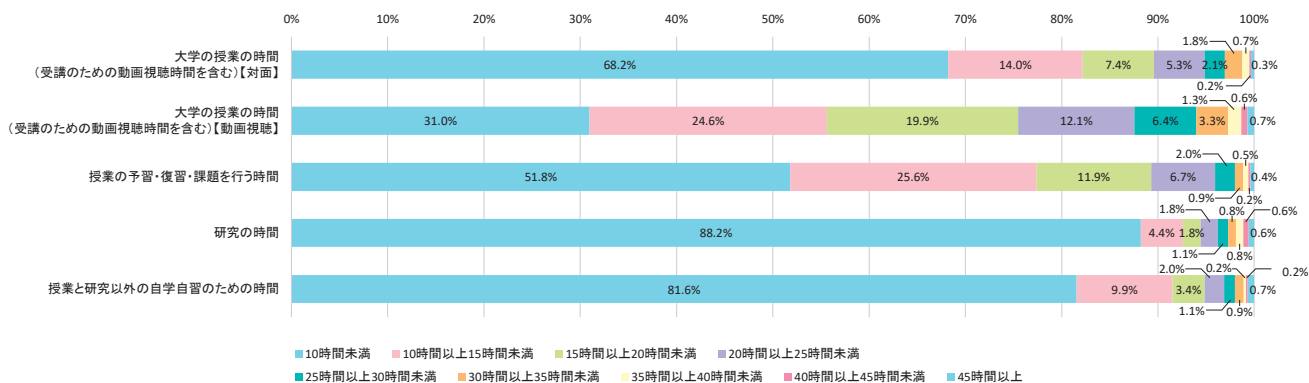
平均的な1週間の過ごし方について、「大学の授業の時間（対面）」「大学の授業の時間（動画視聴）」「授業の予習・復習・課題を行う時間」「研究の時間」「授業と研究以外の自学自習のための時間」「サークル・ボランティアなどの活動時間」「アルバイト時間」に区別して尋ねた。

「大学の授業の時間（対面）」は、10時間未満と回答する学生が68.2%ともっとも多かった。一方、「大学の授業の時間（動画視聴）」は、10時間未満が31.0%ともっとも多いものの、10時間以上15時間未満が24.6%、15時間以上20時間未満が19.9%、20時間以上25時間未満が12.1%と、まとまった時間を動画視聴にあてていることがわかる。とりわけ、1年次では他の学年と比較して、動画視聴にあてる時間が長い傾向にあった。これらは、調査年の春学期は対面授業が本格的には再開していなかったこと、1年次は相対的に多くの単位を修得する必要があることによるものであると推測される。また、「授業の予習・復習・課題を行う時間」「研究の時間」「授業と研究以外の自学自習のための時間」はいずれも10時間未満がもっとも多かった。

一方、「アルバイト」は2時間未満の学生が34.3%でもっとも多いものの、10時間以上と回答する学生の割合も28.2%であり（「10時間以上12時間未満」「12時間以上14時間未満」「14時間以上16時間未満」「16時間以上」の合計）、学生全体の3分の1は一定の時間をアルバイトに使っていることが示された。

また、平均的な休日の過ごし方について、「自室で過ごす」「趣味・娯楽・買い物のための外出」「アルバイト」「部活動・サークル活動」「大学の授業」「大学の研究」「その他」という7つのなかから当てはまるものを全て選択してもらった。「自室で過ごす」が85.8%でもっとも多く、次いで「趣味・娯楽・買い物のための外出」の71.7%、「部活動・サークル活動」の52.1%、「アルバイト」の46.2%と続いた。

図 2.17 平均的な1週間の過ごし方【全体 (%)】



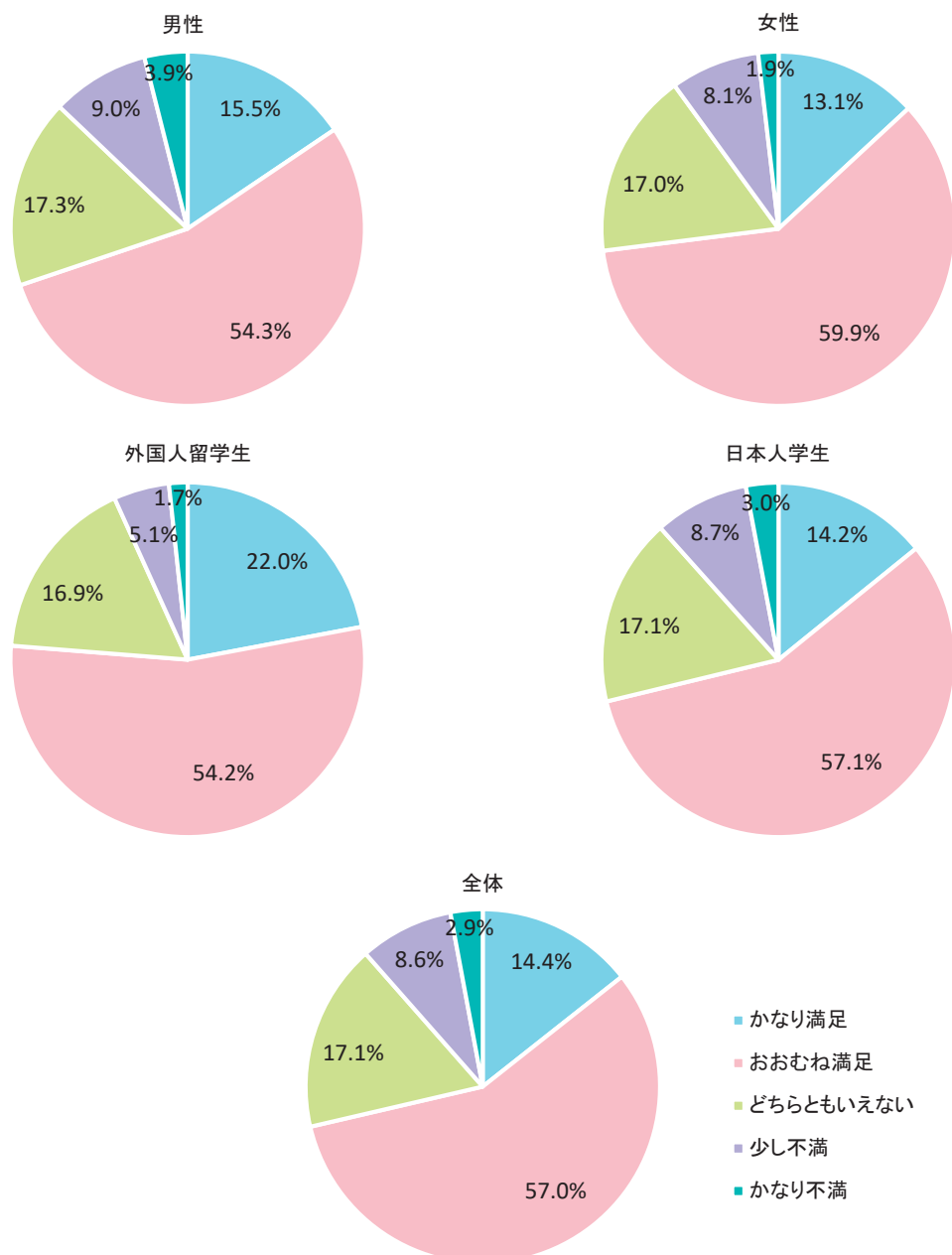
## 問 9. 日常生活の満足度について

◎ 日常生活の満足度は、全体では「かなり満足」14.4% および「おおむね満足」57.0%。

現在の日常生活に対する満足度を、「かなり満足」、「おおむね満足」、「どちらともいえない」、「少し不満」、「かなり不満」の5択で尋ねた。全体では、「かなり満足」14.4%、「おおむね満足」57.0%、「どちらともいえない」17.1%、「少し不満」8.6%、「かなり不満」2.9%であった。

男女別では、女性の方が「かなり満足」または「おおむね満足」と回答した割合が男性に比べて若干高い。これは前回（平成29年度）の回答と同様であった。

図 2.18 日常生活の満足度【男女別、外国人留学生・日本人学生別、全体（%）】





## 問 10. 新型コロナの影響について

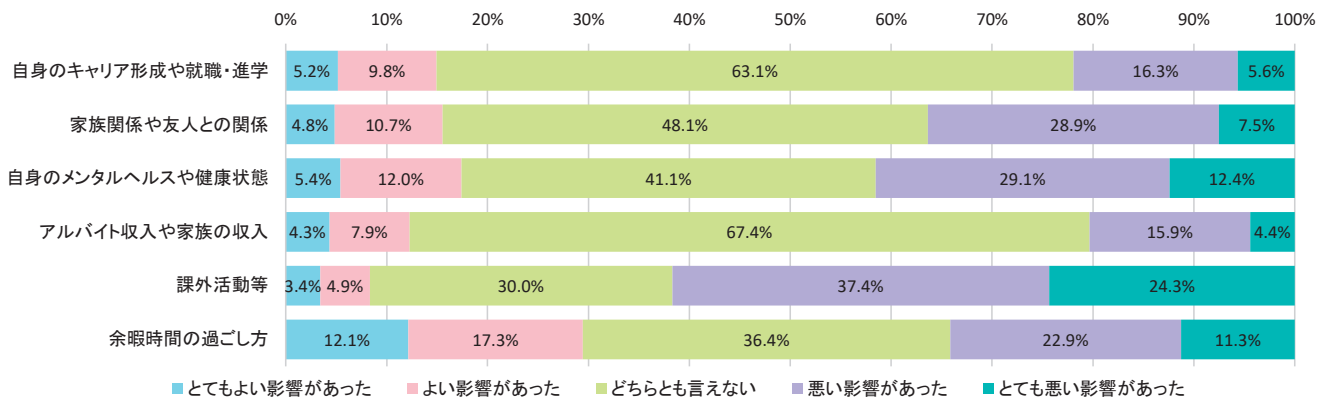
- ◎ 新型コロナが学生生活に大きな負の影響を与えていることが分かった。
- ◎ 特に課外活動の不満が大きい。
- ◎ アルバイトや家族の収入は、予想に反し、あまり大きな影響が見られなかった。

選択肢「とてもよい影響があった」は、予想通り 10% を切っているものがほとんどだが、唯一「余暇時間の過ごし方」のみ 12.1% と高かった。

逆に「課外活動等」では、「悪い影響があった」を選択した学生が 37.4% と高かった。

「アルバイト収入や家族の収入」に関しては、「とてもよい影響があった」4.3%、「よい影響があった」7.9%、「どちらとも言えない」67.4% で、75% を超えており、予想に反して悪い影響が低かった。逆に、よい影響が 10% を超えており、マスコミ報道とは異なる結果に驚いた。

図 2.19 新型コロナの影響【全体 (%)】



### 第3章 通学等について

#### 問 11. 通学時の交通手段について

- ◎ 雨天時は徒歩が多く、雨天時以外は自転車が多くなる。
- ◎ 学内循環バス利用者は雨天時の方が多い。
- ◎ 学内循環バスの利用は天候に関係なく、また前回の調査よりも高くなった。

雨天時以外は「自転車」が85%と最も高いが、この結果は前回(86.6%)とほぼ同じである。

雨天時には「徒歩」が66.4%と「自転車」の52.2%を上回った。この結果は、前回は天候に関わらず「自転車」(雨天時67.6%)が多かったのとは異なる。雨天時でも半数以上が自転車を利用しているので、傘ではなく合羽の利用を指導する必要がある。

前回よりも高くなったのは、

雨天時：キャンパス交通システム(23.8% → 25.4%)、つくばエクスプレス(9.9% → 12.7%)

雨天時以外：キャンパス交通システム(12.3% → 14.5%)、つくばエクスプレス(9.8% → 12.5%)

低くなったのが、

雨天時：学内循環バス以外の路線バス(8.3% → 4.4%)

雨天時以外：学内循環バス以外の路線バス(6.4% → 3.0%)

あまり変わらないのが

雨天時：JR常磐線(2.0% → 2.3%)、雨天時以外：JR常磐線(2.0% → 2.2%)

男女での違いは顕著ではないが、女性の方がバス利用が若干多い。

図 3.1 通学時の交通手段 雨天時【学年別、男女別、全体 (%)】(複数回答方式)

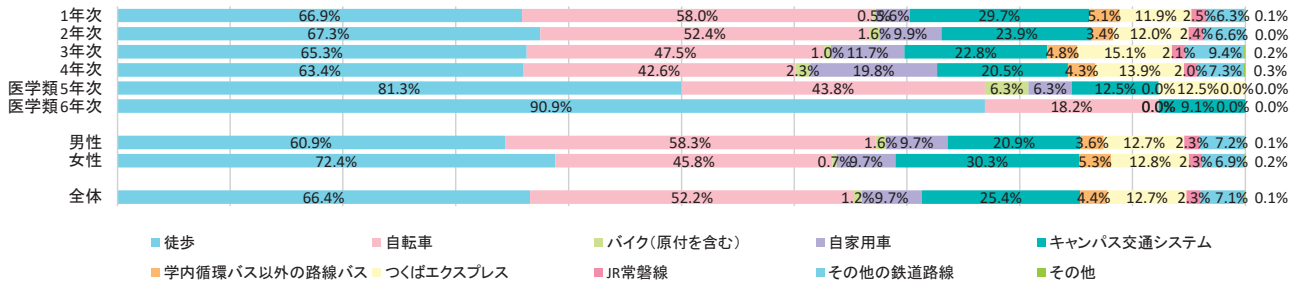
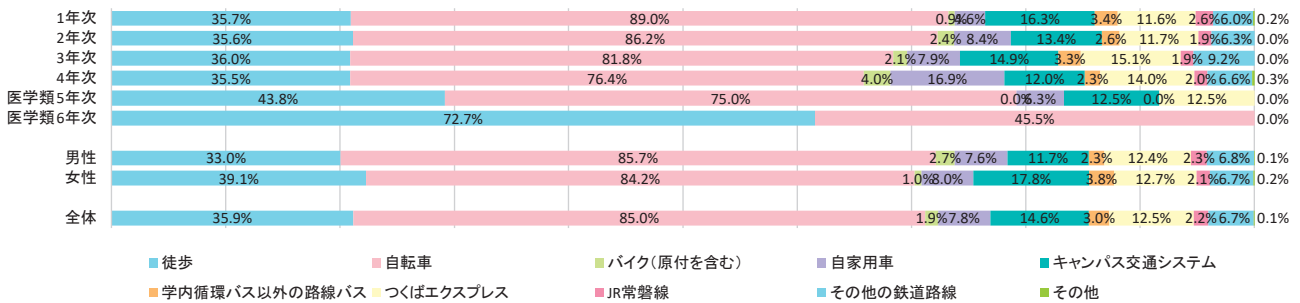


図 3.2 通学時の交通手段 雨天時以外【学年別、男女別、全体 (%)】(複数回答方式)



## 問 12. 雨天時以外の通学時間について（片道）

- ◎ 15分未満の学生は65%で、前回(72%)よりも減った。
- ◎ 30分未満の学生は約81.5%で、前回(84%)とほぼ同じ。
- ◎ 1時間以上の学生は約14%で、前回(約11%)よりも増えた。

通学時間が15分未満の学生は、前回よりもかなり減少したが(72.0% → 65.0%)、30分未満ではあまり顕著な変化は見られなかった(84.7% → 81.5%)。徒歩や自転車などを交通手段にしている宿舎や近隣アパート・マンションから通学している学生が多いことに依ると思われる。

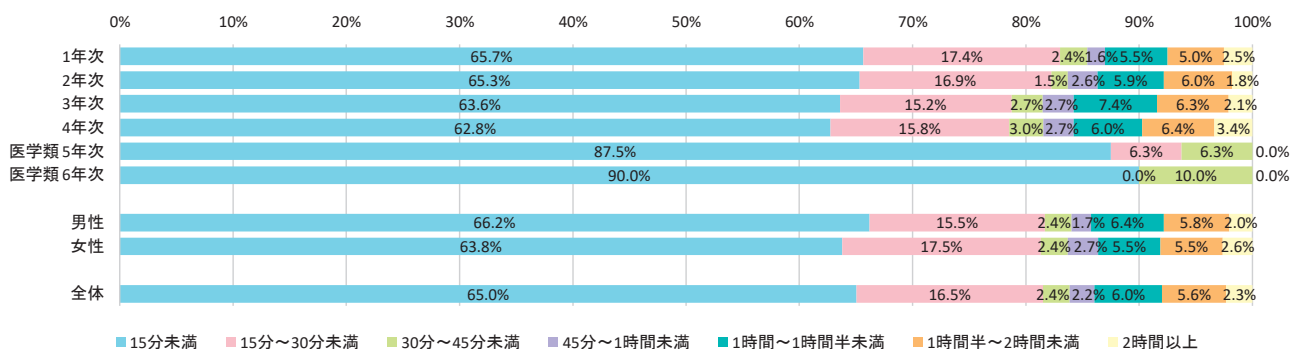
1時間以上かかる学生は増えている(10.5% → 13.9%)。原因として考えられるのは

1. JR常磐線と路線バスの両方の本数が減り、駅での乗り換え待ち時間が長くなった。
2. JR常磐線から大学への路線バスの廃止により、センターでの路線バス・循環バス乗り換え時間が生じた。
- 2' JR常磐線からのバスが全てセンター止まりになったため、センター・大学間のバスの本数が半数以下になった。
3. 遠方から通学する学生が増えている。

循環バスは常に混んでおり、本数を増やすか、以前のように路線バスを大学まで入れる必要が高いと強く示唆される。

男女での割合の違いはほとんどなかった。

図 3.3 雨天時以外の通学時間【学年別、男女別、全体 (%)】



### 問 13. キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度について

- ◎ 「ほぼ毎日」、「週に2-3回」の利用者は約2割で、前回とほぼ同じ。
- ◎ 「いままでに数回」、「利用したことがない」が、前回よりも増えた。
- ◎ 週に2-3回以上の利用者は、女性はほぼ同じだが、男性は減った。

予想に反し、コロナで対面授業が少ないにもかかわらず、「ほぼ毎日」と「週に2-3回」の利用者は(19.0%)で、前回(19.6%)とほぼ同じであった。

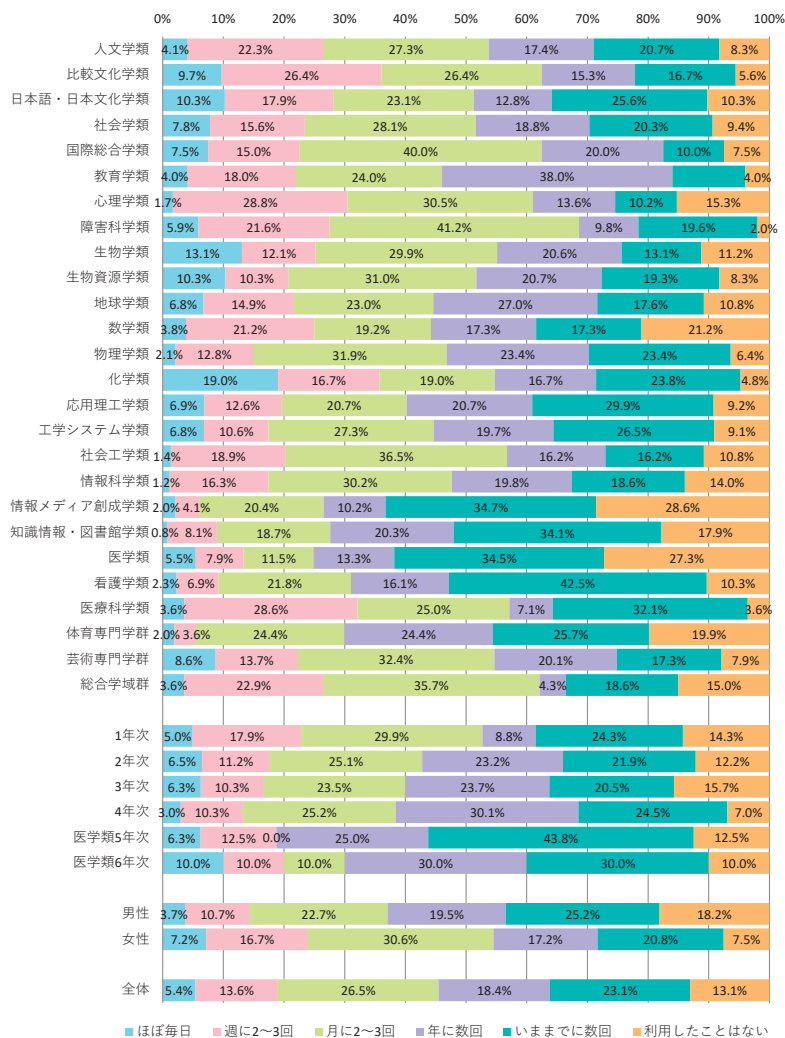
「いままでに数回」と「利用したことはない」の割合(36.2%)は、コロナ前の前回(25.1%)よりも明らかに増えており、予想通りであった。

「月に2-3回」と「年に数回」の割合(44.9%)は、前回(55.4%)よりも大きく減少している。

前回は、1年次のみ「月に2-3回」が46.6%と2-4年次の約25%よりも顕著に高かったが、今回はそのような差異は見られなかった。1年次の「年に数回」が他の学年に比べ顕著に低いが、これは前回と同じ傾向である。

「ほぼ毎日」利用する割合は男女共に減少(4.9% → 3.7%, 10.0% → 7.2%)しているが、「週に2-3回」の場合は女性はほぼ同じだが、男性は増えた(7.4% → 10.7%)。体育、語学、実技や実験など、対面講義のときのみ利用している学生がいると予想される。男女共に「利用したことはない」は予想通り増えている(11.4% → 18.2%, 2.5% → 7.5%)。

図 3.4 キャンパス交通システム（学内循環バス）の利用頻度【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】



## 第4章 健康状態について

### 問 14. 過去1年間の健康状態について

- ◎ 全体の約70%は身体的に健康であり、日常的体調不良を除くと大半が健康である。
- ◎ 心理的問題での相談機関利用者は全体の約4.6%であり、学年があがるにつれ増加傾向。
- ◎ 精神的問題での受診・入院経験のあるものは全体の約4.5%である。

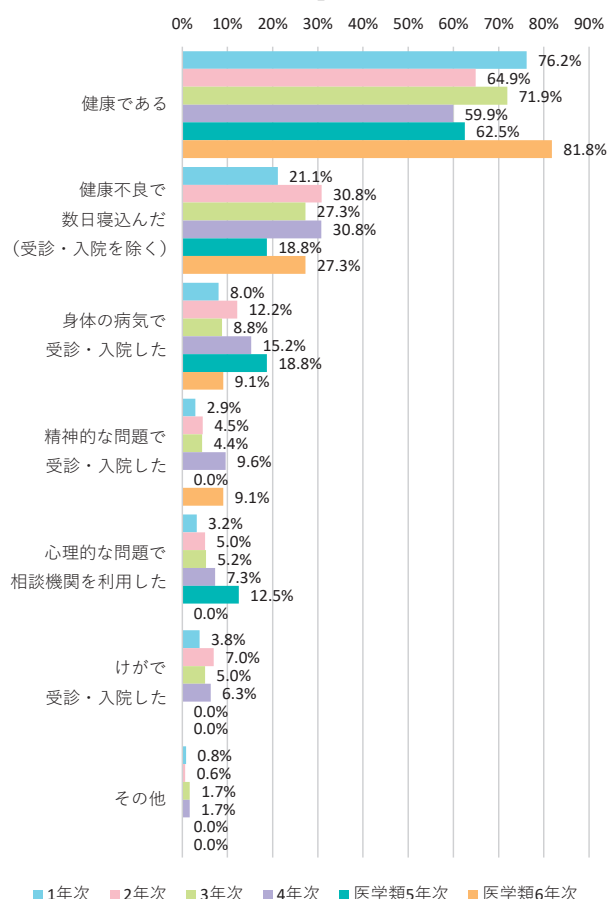
過去1年の身体的および心理的・精神的健康状態について、あてはまるものをすべて選択させた。健康であると回答したものは全体の約7割であった。前回調査の59.2%に比べて10%以上増加しており、健康に高い意識をもって生活している学生が増えていることが推測される。1年次と医学類6年次が約8割前後であり、その他の学年は約6割～7割であった。また、受診や入院を要しない軽度の体調不良を患ったものが全体の26.1%であり、受診や入院を要する疾病に罹患したものが10.2%、入院や受診を要する負傷をしたものが5.1%であった。以上の結果から、大半の学生は、日常的な体調不良を除けば、身体的に健康であったことが推測される。

心理的問題を感じて相談機関を利用したと回答したものは全体の4.6%で、前回調査の4.4%とほぼ同等である。1年次の3.2%に対し、2年次と3年次は約5.1%、4年次は7.3%と割合が増加しており、学年が進むにつれて心理的問題を抱える学生が増加する傾向がある。一方、精神的問題により受診や入院をしたと回答したものは全体の4.5%で、前回調査の3.3%よりやや増加した。1年次の2.9%に対して、2年次と3年次は約4.5%、4年次の受診率は9.6%と、やはり学年が上がるほど増加する傾向がある。

表 4.1 過去1年間の健康状態【全体】

健康である	70.3%
健康不良で数日寝込んだ (受診・入院を除く)	26.1%
身体の病気で受診・入院した	10.2%
精神的な問題で受診・入院した	4.5%
心理的な問題で相談機関を利用した	4.6%
けがで受診・入院した	5.1%
その他	1.0%

図 4.1 過去1年間の健康状態【学年別、男女別、全体 (%)】



## 問 15. 過去 1 年間の困り事・悩み事について

- ◎ 最も多い困り事悩み事は「進路」「自分の精神的・心理的状态」で約 4 割であった。
- ◎ 「自分の精神的・心理的状态」の該当者は、前回調査よりも増加していた。
- ◎ 「学業や研究の不振」や「自分の性格」についても 3 割以上が該当していた。

過去 1 年間にどのようなことで困ったり悩んだりしたかを複数選択させた。最も多くあげられたのは「進路」と「自分の精神的・心理的状态」でいずれも全体の 42.7% が該当した。「進路」は前回調査でも該当者が最も多い悩みであったが、「自分の精神的・心理的状态」は前回の 33.9% よりも高く、精神的・心理的につらい状態にある者が増加していることが推測される。

3 番目に多い悩みは「学業や研究の不振」で、35.4% が選択している。医学類 5 年次、6 年次を除き、学年が上がるほど割合が増える傾向にあり、4 年次は約半数が該当している。4 番目は「自分の性格」の 33.6% で、この 2 つの項目は、回答者全体の割合は前回調査とほぼ同数の結果となっている。他には、「単位修得の問題」「就職」「友人との関係」「部活動・サークル内の問題」「恋愛関係」「経済状態」といった悩みが約 17～31% の間で該当している。このうち前回調査よりも 5% 以上増加しているのは「単位修得の問題 (25.8%→31.3%)」と「友人との関係 (23.7%→29.1%)」であり、5% 以上減少しているのは「部活動・サークル内の問題 (32.8%→26.3%)」であった。単位修得の問題については、前回調査時との大きな違いにオンライン授業の存在があり、対応に苦勞する学生が一定数いたことが推測される。部活動・サークルは、活動の制限が悩みの減少の背景にあると思われ、新型コロナウイルス感染拡大の影響が、学生の様々な悩みに影響していると考えられた。

男女別でみると、「進路」「友人との関係」「自分の精神的・心理的状态」「自分の性格」といった悩みは女性に抱えている割合が多いのに対し、「学業や研究の不振」「単位修得の問題」といった悩みは男女同等か男性に多い傾向が見られた。

表 4.2 過去 1 年間の困り事・悩み事【学年別、男女別、全体 (%)】

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	医学類 5 年次	医学類 6 年次	男性	女性	全体
学業や研究の不振	33.8%	33.7%	36.0%	44.0%	18.8%	27.3%	34.5%	36.3%	35.4%
単位修得の問題	27.3%	40.2%	33.1%	25.7%	0.0%	9.1%	34.9%	27.5%	31.3%
転学類・転学群	3.4%	3.4%	2.5%	2.7%	0.0%	0.0%	3.0%	3.2%	3.1%
休学・退学	1.8%	3.8%	4.8%	8.3%	6.3%	0.0%	3.4%	4.1%	3.8%
進路	36.7%	39.1%	54.7%	50.3%	50.0%	27.3%	38.7%	47.0%	42.7%
就職	10.3%	20.8%	43.2%	49.0%	12.5%	36.4%	21.5%	28.0%	24.6%
友人との関係	29.9%	32.5%	30.1%	18.3%	31.3%	18.2%	26.7%	31.6%	29.1%
教員との関係	2.6%	3.3%	4.6%	7.3%	6.3%	0.0%	3.5%	4.1%	3.8%
研究室内の問題	0.4%	0.7%	1.9%	7.0%	6.3%	0.0%	1.7%	1.6%	1.6%
部活動・サークル内の問題	22.5%	35.3%	26.7%	21.3%	12.5%	0.0%	23.6%	29.3%	26.3%
恋愛関係	14.2%	21.1%	19.4%	15.3%	12.5%	9.1%	18.4%	15.8%	17.1%
家族関係	9.9%	10.8%	11.8%	11.7%	12.5%	0.0%	9.0%	12.5%	10.7%
自分の性格	33.1%	34.0%	34.3%	34.7%	18.8%	27.3%	27.9%	39.7%	33.6%
自分の精神的・心理的状态	40.2%	44.4%	42.5%	48.7%	25.0%	36.4%	35.1%	50.8%	42.7%
自分の身体的病氣・けが等の状態	10.8%	13.7%	10.3%	16.0%	0.0%	9.1%	10.3%	13.9%	12.0%
経済状態	12.9%	23.9%	19.2%	29.0%	12.5%	18.2%	19.3%	18.8%	19.1%
ハラスメント	1.3%	0.8%	1.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.9%	2.2%	1.5%
その他	1.5%	1.1%	0.2%	1.7%	0.0%	0.0%	1.1%	1.2%	1.1%
特になし	17.7%	12.7%	11.4%	10.0%	31.3%	27.3%	16.5%	12.0%	14.3%

## 問 16. 過去 1 年間のあなたの感じ方について

- ◎「自分のやりたいことができている」「自分のことをよくわかってきている人がいる」等の心理的健康度が高い回答であった。
- ◎「大学生活が充実している」という回答は前回調査よりも減少した。
- ◎「気分が憂鬱である」は約 12%、「『死にたい』と思ったことがある」は約 8%が高頻度で該当。

心理的健康度についていくつかの指標で「とてもあてはまる」から「全くあてはまらない」の 4 件法で尋ねた。「自分のやりたいことができている」「自分のことをよくわかってきている人がいる」「大学生活が充実している」の 3 項目はどれも約 7～8 割程度が YES 群（注参照）に該当していた。このうち、「大学生活が充実している」は前回調査（男性 78.0%、女性 82.6%）と比べて男女とも YES 群が減少しており、コロナ禍での制限された大学生活の影響がうかがえた。それでも、心理的健康を維持している学生は多いと言える。

一方、「何となく不安になることがある」という項目には 78.3%（前回調査は 76.8%）が YES 群として回答しており、女性のほうがやや多い。また、前回調査と比較すると、「何をやってもうまくいかない気がする（37.6%→40.5%）」「気分が憂鬱である（42.3%→44.5%）」「『死にたい』と思ったことがある（22.0%→24.7%）」といった項目はいずれも YES 群がやや増加しており、特に希死念慮項目に「とてもあてはまる」を選択したものは 8.0%であった。これまで以上に丁寧な対応が求められよう。

図 4.2 過去 1 年間の精神的な健康状態【全体 (%)】

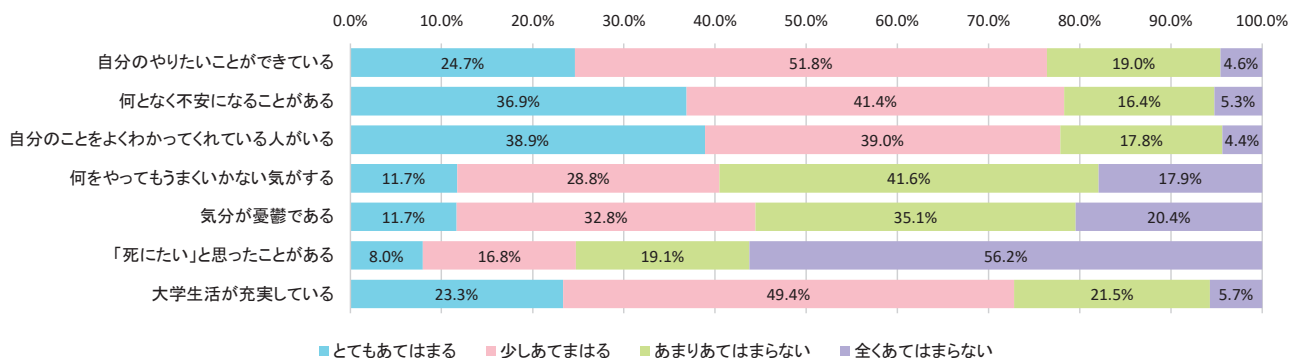


表 4.3 過去 1 年間の感じ方【男女別 (%)】

	YES		NO	
	男性	女性	男性	女性
自分のやりたいことができている	72.1%	76.4%	24.3%	21.4%
何となく不安になることがある	71.9%	80.3%	24.3%	17.5%
自分のことをよくわかってきている人がいる	71.6%	80.0%	24.8%	17.9%
何をやってもうまくいかない気がする	37.5%	41.3%	58.9%	56.6%
気分が憂鬱である	42.0%	44.4%	54.5%	53.4%
「死にたい」と思ったことがある	21.1%	27.1%	75.3%	70.7%
大学生活が充実している	67.8%	73.6%	28.5%	24.1%

注) 把握しやすいよう、YES は「とてもあてはまる」「少しあてはまる」を合算し、NO は「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」を合算した。

## 第5章 相談相手・情報の得方について

### 問 17-1. 主な相談相手について

- ◎ 総じて相談相手として最も選ばれやすいのは家族、友人、恋人である。
- ◎ 前回調査と比べ、学内の友人や先輩・後輩の割合が減少している。
- ◎ 男性は相談相手を持たない者が女性より多い。

重要なことを話したり、悩みを相談する人として、該当する上位3番目までを選択させた。全体の約半数に当たる47%が「家族」を1番目に選んでいる。次いで選ばれたのは「友人（学外）」の19.2%、「友人（学内）」の17.3%、「恋人」の8.9%であった。この4項目は2番目に相談する相手としても上位4つを占めており、多くの学群生にとって重要な相談先になっていることがわかる。前回調査では第2位が「友人（学内）」、第3位が「友人（学外）」となっていたが、今回はその順位が逆転した。コロナ禍の影響により、学内に悩み事の相談ができるほど親しい友人を作りにくくなっていることがうかがえる。また、「先輩・後輩（学内）」は1番目、2番目の相談相手としては「特にない」を除いて第5位、3番目の相談相手としては4位となっているが、前回調査と比べると割合の現象が見られ、学内の縦のつながりも持ちにくくなっていると考えられる。

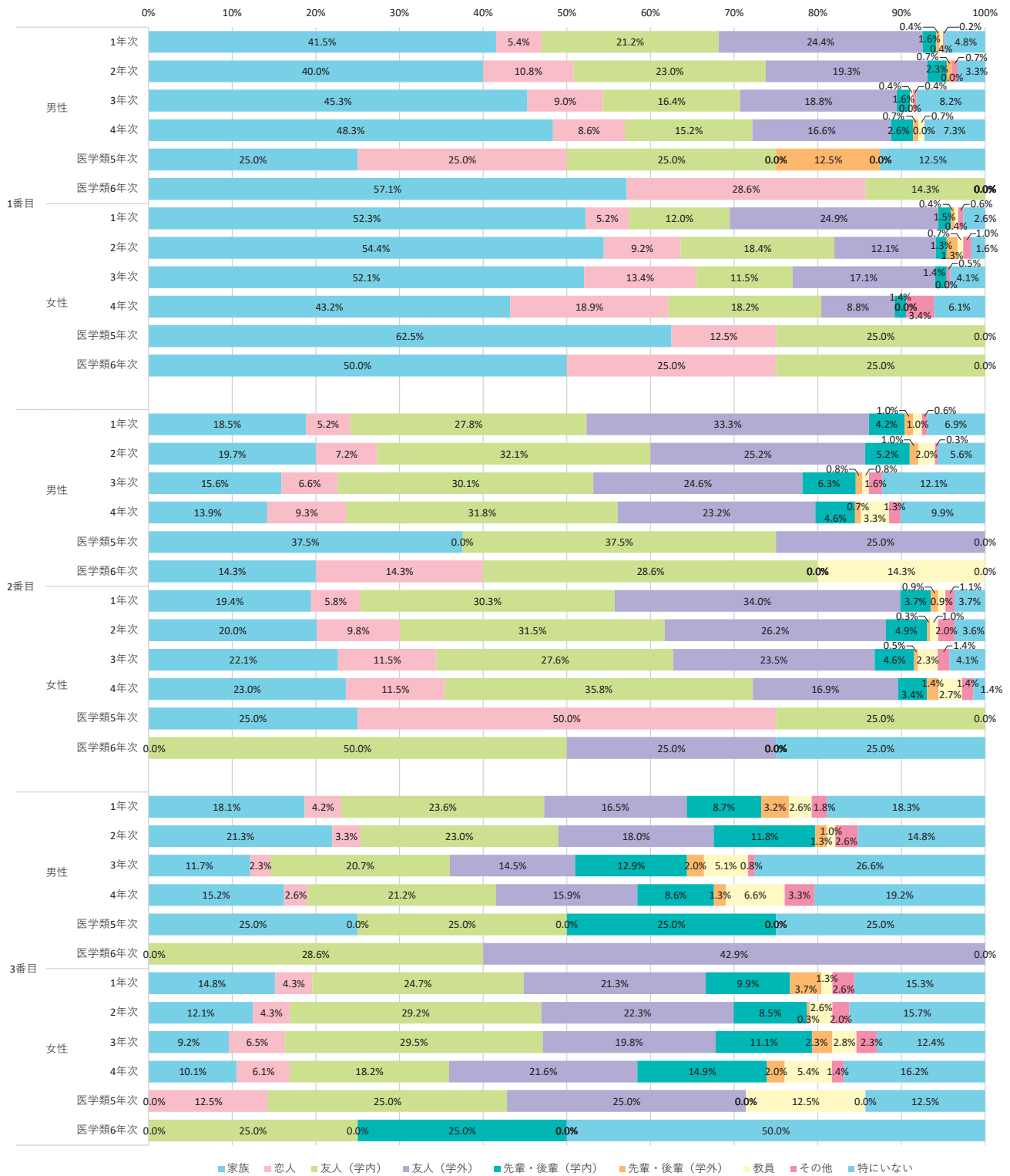
また、1番目の相談相手に「特にない」を選択した者は全体の4.3%であり、男性のほうが女性よりもやや高い。2番目、3番目においても男性のほうが高くなっており、男性は自身の悩みを打ち明けることが少ないという従来からの指摘通りの実態が垣間見える。医学5年次、6年次については、回答者が少ないという事情はあるものの、他の学年と比べて相談相手が「家族」「恋人」「友人」に偏る傾向が見られる。身近な相手、境遇の似ている相手に相談しやすいという特徴を示している可能性がある。

表 5.1 相談相手【全体 (%)】

	1 番目		2 番目		3 番目	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 家族	1,116	45.9%	452	18.6%	351	14.4%
2 恋人	211	8.7%	183	7.5%	98	4.0%
3 友人（学内）	410	16.9%	720	29.6%	574	23.6%
4 友人（学外）	456	18.8%	657	27.0%	445	18.3%
5 先輩・後輩（学内）	39	1.6%	107	4.4%	246	10.1%
6 先輩・後輩（学外）	12	0.5%	19	0.8%	53	2.2%
7 教員	8	0.3%	35	1.4%	68	2.8%
8 その他	16	0.7%	26	1.1%	49	2.0%
9 特にない	102	4.2%	137	5.6%	408	16.8%
無効・無回答	62	2.5%	96	3.9%	140	5.8%
合計	2,432		2,432		2,432	



図 5.1 相談相手【学年別、男女別 (%)】



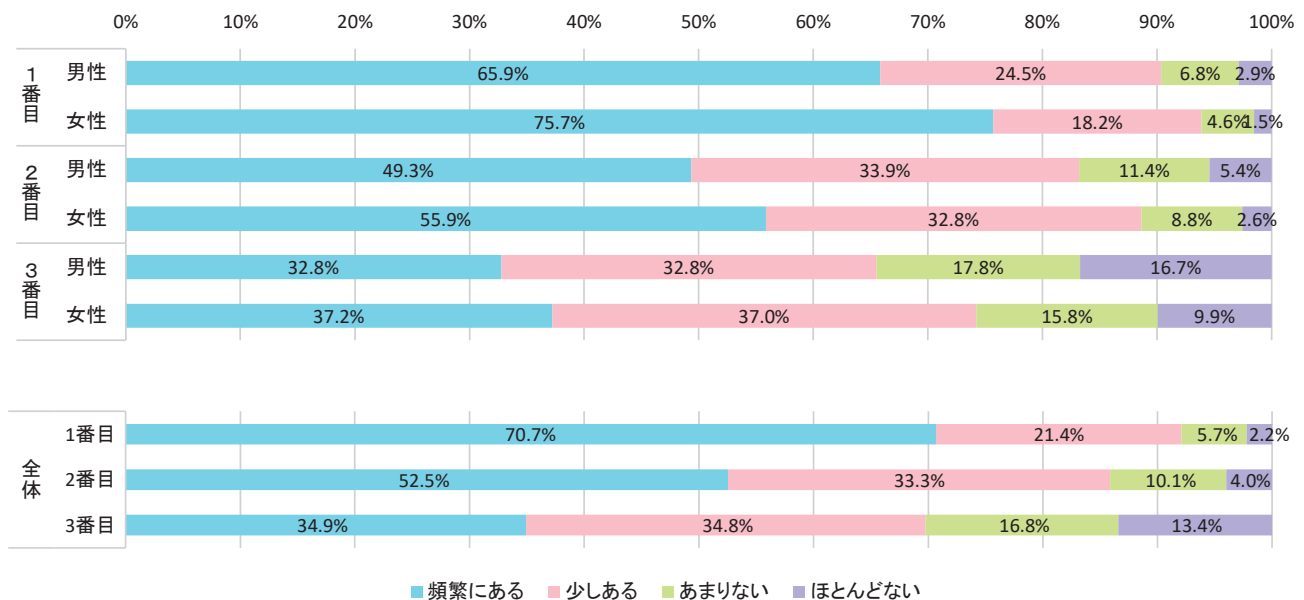
## 問 17-2. 相談相手と話す機会について

- ◎ 相談相手として1番目に選択した人と話す機会は多い。
- ◎ 相談相手と話す機会がない、限られた相手としか話せない学生も一定数存在する。

重要なことを話したり、悩みを相談する相手として選択した上位3番目までのそれぞれの人に対してどのくらい話をする機会があるか（電話やメールを含む）を尋ねた。全体では、92.1%の学生が1番目に選択した相談相手と話す機会が「頻繁にある」「少しある」と回答し、2番目、3番目に選択した相手とも約7～8割の学生が「頻繁にある」「少しある」と回答したことから、多くの学生において相談相手と話す機会はあると言える。前回調査と比較してもこれらの数値はやや増加傾向で、対面での交流や帰省が制限されていた時期においても、電話やメール等のオンラインを利用して、コミュニケーションの機会は維持されていたと考えられる。ただし、今回の調査ではコミュニケーションの手段の変化やその影響について詳細に尋ねてはいない。

男女別に見ると、1番目から3番目のいずれも女性の方が男性よりも高い割合で「頻繁にある」と回答しており、女性は相談相手となる者と話す機会を多く持っていることがわかる。男性においても、約9割が1番目に選択した相談相手と話す機会を「頻繁にある」「少しある」と回答しているものの、約1割は「あまりない」「ほとんどない」と回答している。問17-1の結果も踏まえると、男性は悩みを相談したり、人と話す機会は比較的少ないと考えられる。2番目、3番目の相談相手になると、男女ともに約1割～3割の学生が「あまりない」「ほとんどない」と回答しており、相談相手がいらない、あるいは限られた相手としか相談できない学生もある程度いることが推測され、注意が必要であろう。

図 5.2 相談相手と話す機会【男女別、全体 (%)】



## 問 18. 情報の得方について

- ◎ 学群生にとっての主な情報取得源は「manabaの掲示板」「友人等」「TWINS掲示板」。
- ◎ 大学からの情報取得は、ウェブ上の掲示板やシステムの利用率が高くなった。

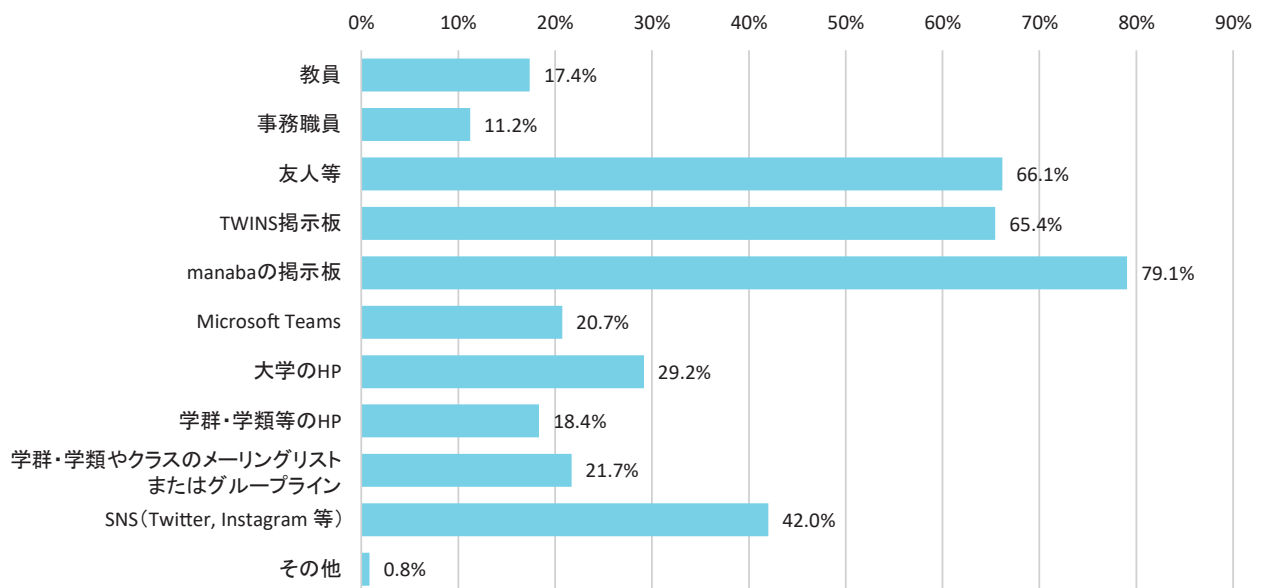
学生生活に関わる情報を得ようとするとき、どういった情報源にアクセスするかを複数回答で尋ねた。オンライン授業の導入等により学生の利用ツールが変わったことを受けて、前回調査の選択肢にあった「Web 掲示板」がなくなり、代わりに「manabaの掲示板」と「Microsoft Teams」が追加された。

選択された割合が多い順から、「manabaの掲示板」「友人等」「TWINS掲示板」であった。前回調査では多い順に「友人等」「TWINS掲示板」「Web 掲示板」で、オンライン授業の導入により、manabaの掲示板の重要性が増していると考えられる。「TWINS掲示板」も増加（53.0%→65.4%）、「Microsoft Teams」も20.7%の学生が選択しており、多くの学生が大学が用意するウェブ上の掲示板やシステムを利用していることがわかる。一方、「事務職員」が21.4%から11.2%に半減しており、オンライン授業の影響もあって、エリア支援室に直接足を運ぶ学生は減っていると考えられる。

「友人等」の割合は前回調査とは大きく変わっておらず（68.2%→66.1%）、「学群・学類やクラスのメーリングリストまたはグループライン（14.8%→21.7%）」や「SNS（40.9%→42.0%）」も引き続き利用されている。

こうしたことから、友人同士の情報網は学生にとって引き続き重要である一方で、オンライン授業とそれに伴うシステムの整備により、大学の掲示板等の重要性が高まっていると考えられる。

図 5.3 情報取得源【全体（%）】



## 問 19. 相談機関について

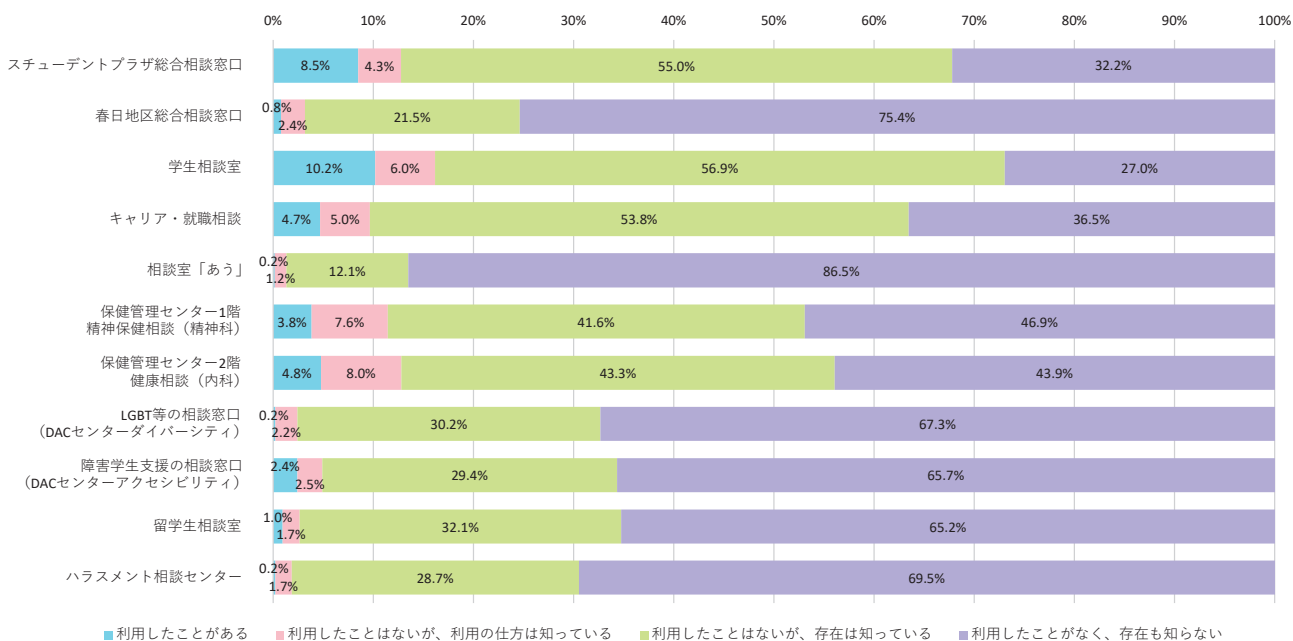
- ◎ 学内相談機関の利用率や周知率は全般的に低下している。
- ◎ 「学生相談室」「総合相談窓口」「保健管理センター」「キャリア・就職相談」は、学群生の周知率・利用率ともに高く、ニーズの高さを感じさせる。

学内にある相談機関の周知状況や利用状況について尋ねた。「利用したことがある」と回答された割合を「利用率」、利用率に「利用したことはないが、利用の仕方は知っている」と回答された割合を足したものを「利用方法の周知率」、利用方法の周知率に「利用したことはないが、存在は知っている」と回答された割合を足したものを「存在の周知率」とする。

前回調査と比べると、「障害学生支援の窓口」を除き、どの相談室も利用率は低下している。利用率の高い順に、「学生相談室」は15.4%から10.2%、「スチューデントプラザ総合相談窓口」は17.4%から8.5%、「保健管理センター2階 健康相談(内科)」は16.3%から4.8%、「キャリア・就職相談(学生)」は8.2%から4.7%、「保健管理センター1階 精神保健相談(精神科)」は8.6%から3.8%、と半減しているところが多い。コロナ禍の対応としてオンライン相談を行っている学生支援機関も多いが、それでも学生にとっては支援にアクセスしづらい状況にあると考えられる。利用方法の周知率、存在の周知率も全般的に低下している傾向があり、早急な対策が必要と言えよう。なお、保健管理センターについては有償化の影響も考えられる。

機関ごとで見ると、存在の周知率が半数を超える機関と、3割前後の機関とで二分されており、利用率もおおむね比例する傾向にある。半数を超えている機関は学生相談室や保健管理センター、キャリア・就職相談など全学生を対象としているのに対し、3割前後となっているのは特定のニーズに特化した機関が主であり、すべての学生が必要とするとは限らないものの、然るべきニーズを持っていながら存在を知らないまま利用できない学生がいる可能性もあり、やはり広報に力を入れていくことは必要だと考えられる。

図 5.4 相談機関の周知率・利用率【全体 (%)】



## 第6章 クラス制度・学生組織・課外活動等について

### 問 20. クラスの機能について

- ◎ クラスの機能は「友人・知り合いをつくる」が最多。
- ◎ 「クラスが機能していない」と答えた学生の割合が増加。
- ◎ 「友人・知り合いをつくる」が多い学類ほど「機能していない」が少ない。

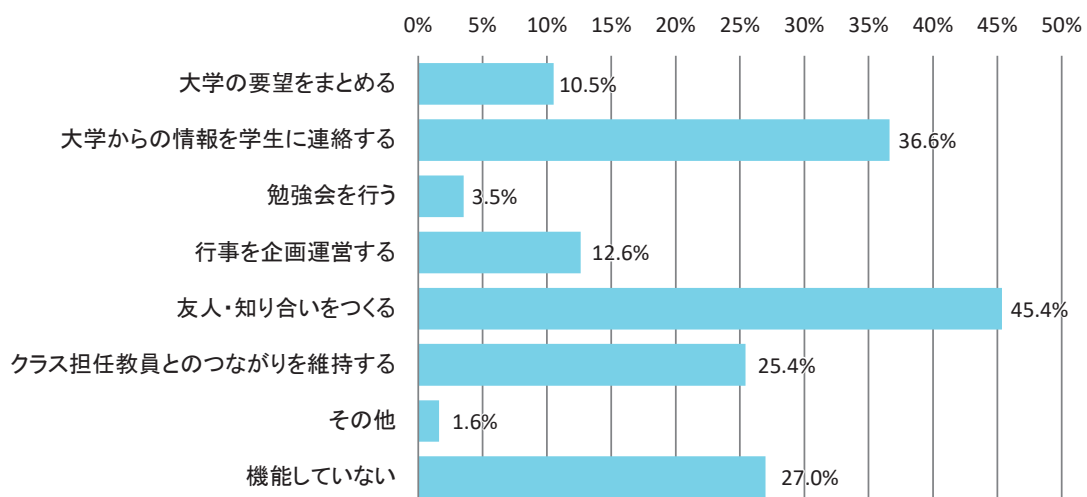
1年生、2年生に対して、クラスの機能について「大学への要望をまとめる」「大学からの情報を学生に連絡する」「勉強会を行う」「行事を企画運営する」「友人・知り合いをつくる」「クラス担任教員とのつながりを維持する」「その他」「機能していない」から複数選択で質問した。

回答結果は、多い順に「友人・知り合いをつくる」45.4%、「大学からの情報を学生に連絡する」36.6%、「機能していない」27.0%であった。これは前回・前々回と変化がない。大きな変化としては、「友人・知り合いをつくる」が5ポイント減、「大学からの情報を学生に連絡する」が7ポイント増、「行事を企画運営する」が6ポイント減、などである。

クラスが「機能していない」と回答した学生の比率は前回調査時の24.9%より2.1ポイント増加している。「友人・知り合いをつくる」の回答率と「機能していない」の回答率に強い負の相関(-0.864)が見られる。すなわち、「友人・知り合いをつくる」を選択した学生が多い学類ほど「機能していない」を回答した学生が少ない。

学類・専門学群・総合学域群別にみると、「機能していない」の比率が高い順に、情報メディア創成学類(54.8%)、応用理工学類(52.8%)、社会学類(43.5%)、情報科学類(42.6%)、体育専門学群(42.3%)、社会工学類(42.2%)、工学システム学類(41.7%)、知識情報・図書館学類(40.0%)の8学類・専門学群が40%以上の回答となっている。芸術専門学群(35.8%)および数学類(31.0%)を加えた10学類・専門学群が30%以上であった。前回調査時は3学類・専門学群(社会工学類(42.6%)、体育専門学群(41.7%)、社会学類(40.6%))が40%を上回り、情報科学類(35.1%)、日本語・日本文化学類(34.2%)、工学システム学類(34.0%)、人文学類(30%)を加えた計7学類・専門学群が30%以上であった。また前々回は30%を超えたのは5学類・専門学群であったため、学類などの組織の数としても増加傾向にある。なお、総合学域群での「機能していない」回答は19.9%であり、低い数値ではないが平均を下回っている。

図 6.1 クラスの機能【全体 (%)】



## 問 21. 学生組織の活動について

- ◎ 1・2年生にとってクラス代表者会議、全代会ともに認知度は低い。
- ◎ とともに認知度は前回より低下している。
- ◎ クラ代会・全代会の活動の認知度は、ともに「大学への要望をまとめる」というクラスの機能の強さと相関。

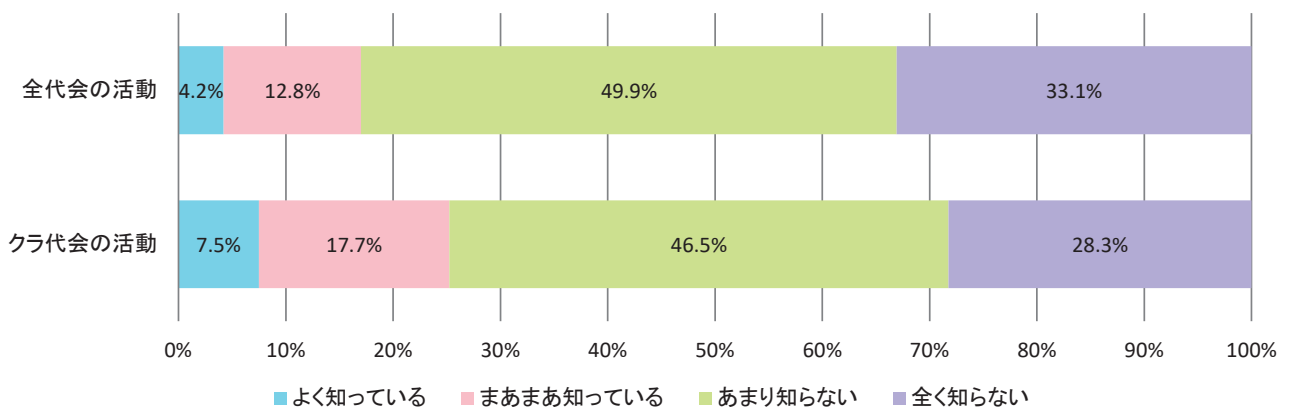
1年生、2年生に対して、学生組織の活動の認知度を、クラス代表者会議(クラ代会)の活動、全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(全代会)の活動の各々について「よく知っている」「まあまあ知っている」「あまり知らない」「全く知らない」から選択する質問をした。

クラ代会の活動について「よく知っている」「まあまあ知っている」の合計は25.2%であるのに対し、「あまり知らない」「全く知らない」は74.8%であり、1・2年生の4分の3はクラス代表者会議の活動について知らないという結果になった。前回の調査ではそれぞれ34.1%、61.7%であったため、認知度の低下は顕著であるといえる。

全代会の活動については、各々17%、83%であり、1・2年生の6分の5は活動を知らないというさらに低い結果になった。前回は各々22.5%、72.7%であったため、こちらも認知度が低下している。

問20の結果とあわせて分析したところ、「大学への要望をまとめる」と答えた学生が多い学類ほどクラ代会の活動を「知っている」と答えた学生が多いという相関(相関係数0.55)がみられた。これは前回の調査と同等である。全代会についても同じ組み合わせで高い相関(相関係数0.53)がみられた。前回の調査では高い相関係数をもつ項目はなかった。

図 6.2 学生組織の活動【全体 (%)】



## 問 22. サークル活動について

◎ サークル活動への参加者が減少。

サークル活動への参加について、「大学から認定されたサークルで活動中」「大学の認定を受けていないサークルで活動中」「大学から認定されたサークルと認定を受けていないサークルの両方で活動中」「以前は活動していた」「活動したことはない」の5項目から1つを選択する質問をした。

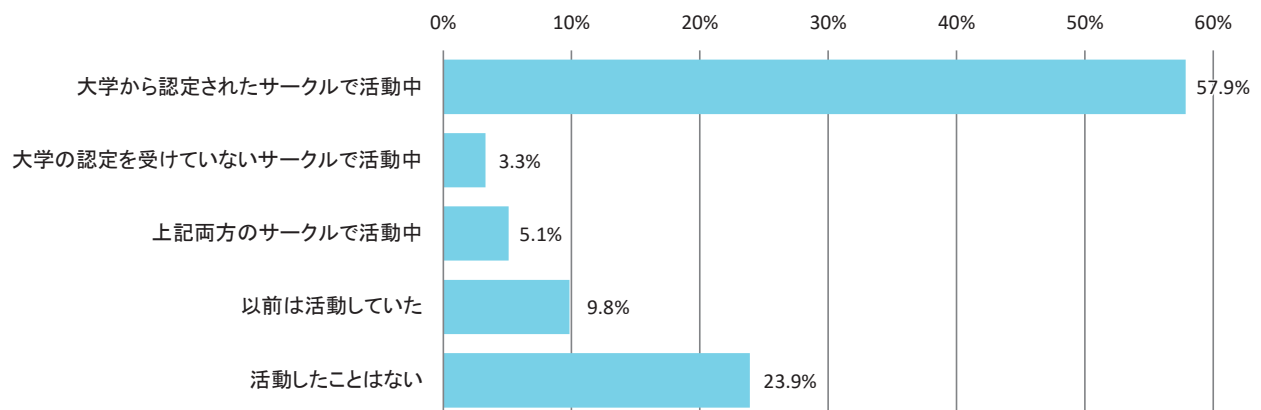
全体では順に57.9%、3.3%、5.1%、9.8%、23.9%であった。いずれかのサークルで活動中の学生が66.3%であり、以前は活動していた学生を含めると76.1%であった。前回は84.2%、前々回は74.8%であったため、若干の減少がみられる。

学類・専門学群・総合学域群別にみると、活動中あるいは以前に活動していた学生が9割を超えているのは障害科学類(95.8%)、教育学類(92.9%)、比較文化学類(90.8%)であった。一方、体育専門学群(33.6%)のみ5割を切っていた。

「認定されたサークル」が多いのは教育学類(81%)、医療科学類(74.1%)、障害科学類(72.9%)、比較文化学類(72.3%)、医学類(72.2%)が7割を超えていた。

学年別でみると、活動中の学生は1年生の72.1%から、2年生67%、3年生60.6%、4年生47.6%となる。前回調査では順に81.1%、67.4%、68.8%、51.6%であったため、こちらの指標でも減少していることがわかる。

図 6.3 サークル活動への参加【全体 (%)】



## 問 22-1. サークル活動の動機について

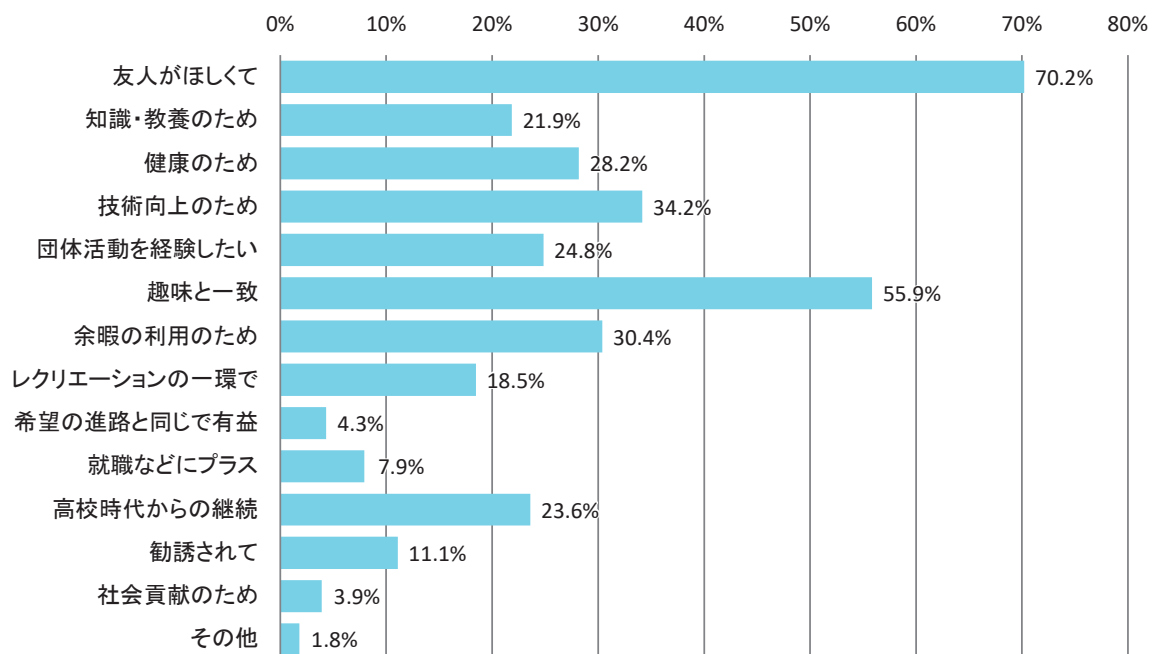
- ◎ 参加動機で多いのは「友人がほしくて」。
- ◎ 体育専門学群の学生は高校時代からの継続。

サークル活動の経験がある学生に、活動の動機を複数選択で質問した。

全体では「友人がほしくて」(70.2%)、「趣味と一致」(55.9%)、「技術向上のため」(34.2%)、「余暇の利用のため」(30.4%)が上位になった。これは前回調査の傾向と一致しているが、前回調査では「友人がほしくて」が53.3%であったので17%も増加している。

学類・専門学群・総合学域群別にみても、体育専門学群以外はこの傾向は変わらない。体育専門学群のみ、「高校時代からの継続」(67.4%)、「技術向上のため」(62.0%)が上位であり、「友人がほしくて」は第3位ではあるが14.1%である。

図 6.4 サークル活動の動機【全体 (%)】





### 問 23. 宗教団体・啓発セミナーなどについて

◎ 宗教団体・セミナーからの勧誘体験・加入目撃体験は激減している。

大学入学後の宗教団体や自己啓発セミナーなどからの勧誘経験の有無などを質問した。

大学内で勧誘を受けたことがある学生は4.4%、学外では19.3%であった。前回調査では約5割が勧誘を受けたことがあるとの結果であったので激減している。

他の人が勧誘したり勧誘されたりしたのを見たことがあるかどうかを質問したが、キャンパス内では13.1%、キャンパス外では23.1%の学生に目撃経験がある。前回調査では約6割であるためこれも激減している。

留学生・非留学生区分でみると、学内で勧誘を受けた学生の割合が留学生では3.9%、非留学生では4.8%であり、学外では各々25.4%、17.0%と留学生の方が多い。勧誘を目撃した割合も学内では14.3%、11.7%、学外では19.1%、20.6%とこちらも学外以外では留学生の方が多い。

表 6.1 宗教団体や啓発セミナーなどへの参加勧誘【全体】

	はい	いいえ
大学入学後、キャンパス内で勧誘を受けたことがある	4.4%	95.6%
大学入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことがない	19.3%	80.7%
大学入学後、キャンパス内で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことがある	13.1%	86.9%
大学入学後、キャンパス外で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことがない	23.1%	76.9%

## 問 24. ボランティア活動について

- ◎ ボランティア活動の経験者は2割しかいない。
- ◎ 6割の学生はボランティア活動に興味がある。

大学入学後のボランティア活動について、「授業やゼミを通じて参加したことがある」「つくばアクションプロジェクト (T-ACT) を通じて参加したことがある」「サークル活動を通じて参加したことがある」「その他の機会に参加したことがある」「参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている」「ボランティア活動に参加する予定はない」の6項目から複数選択する質問をした。

全体では何らかのボランティア活動をした経験がある学生は17.1%であった。前回調査では30.6%であったためかなり減少している。参加したことはないが今後ボランティア活動に参加したいと回答した学生は40.2%であり、前回調査での24.5%よりは増加している。

学類・専門学群・総合学域群別にみると、教育学類と障害科学類がボランティア活動を活発におこなっている。教育学類では「授業やゼミを通じて(21.4%)」「サークル活動を通じて(21.4%)」「その他の機会(21.4%)」の参加が多く、障害科学類では「その他の機会(35.4%)」「サークル活動を通じて(33.3%)」の参加が多い。

表 6.2 ボランティア活動について【全体】

	回答数	回答率
授業やゼミを通じて参加したことがある	80	3.7%
つくばアクションプロジェクト (T-ACT) を通じて参加したことがある	29	1.3%
サークル活動を通じて参加したことがある	177	8.2%
その他の機会に参加したことがある	201	9.3%
ボランティア活動に参加したことがある (上記いずれかに該当した者)	371	17.1%
参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	872	40.2%
ボランティア活動に参加する予定はない	927	42.7%

## 問 25. つくばアクションプロジェクト (T-ACT) の活動について

- ◎ T-ACT の活動に関わった学生は約 7%。
- ◎ その大多数は総合科目受講者。

つくばアクションプロジェクト (T-ACT) の活動への興味や参加経験などについて複数選択で質問した。

全体では 6.9% の学生が何らかの形で T-ACT に参加した経験がある。参加経験のある学生のうち、発案者 (プランナー) や運営者 (オーガナイザー) の経験がある学生が 14.1%、参加者 (パーティシパント) 経験がある学生は 28.9%、総合科目「みんなで創ろう『つくばアクションプロジェクト』」を受けたことがある学生は 79.9%、T-ACT 主催のイベント (活動報告会や公開シンポジウムなど) に参加したことがある学生は 14.8%、その他の機会に関わったことがある学生は 24.2% である。

また、T-ACT の活動に関わったことがない学生のうち 30.4% は在学中に参加したいと考えている。

学類・専門学群・総合学域群別にみると、教育学類 (25.6%)、日本語・日本文化学類 (15.2%) ですでに参加しているという学生が 15% を超えていた。

表 6.3 T-ACT の活動について【全体】

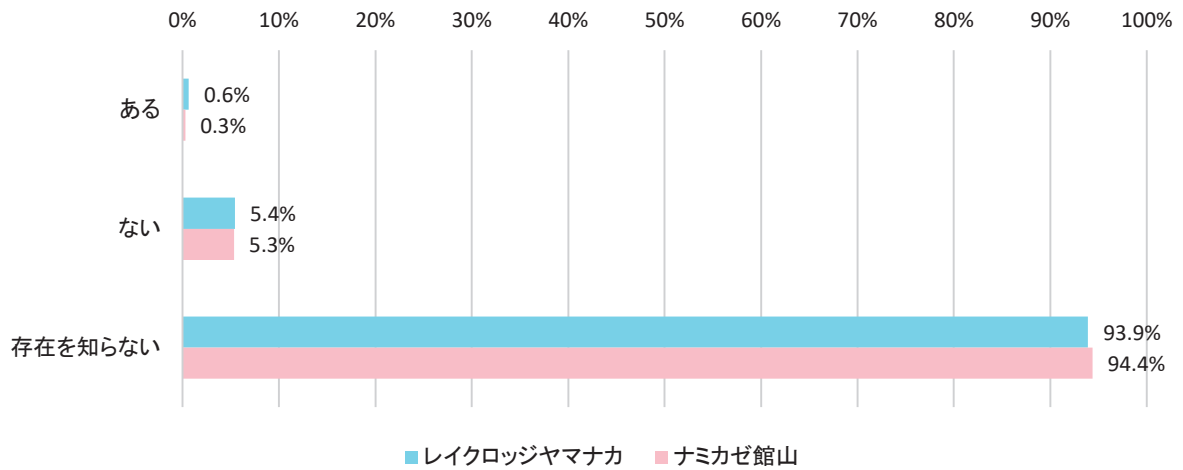
	回答数	回答率
T-ACT で企画の発案者や運営者を行ったことがある	21	1.0%
T-ACT の企画に参加者として関わったことがある	43	2.0%
総合科目「みんなで創ろう『つくばアクションプロジェクト』」を受けたことがある	119	5.5%
T-ACT 主催のイベントに参加したことがある	22	1.0%
その他の機会でも T-ACT に関わったことがある	36	1.7%
T-ACT の活動に参加したことがある (上記のいずれかに該当した者)	149	6.9%
参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	612	28.3%
T-ACT の活動に参加する予定はない	1,400	64.8%

## 問 26. 学外研修施設について

- ◎ 学外研修施設の認知度はほとんどない。
- ◎ 利用経験者は 0.3% ～ 0.6%。

筑波大学の学外研修施設(レイクロッジヤマナカ・ナミカゼ館山)の利用経験や認知度に関して質問した。利用経験者は各々 0.6%、0.3% であり、存在を知らない学生が 94% 前後であった。

図 6.5 学外研修施設利用の有無【全体 (%)】



## 第7章 進路や就職活動について

### 問 27. 卒業後の進路について

- ◎ 卒業後の進路は進学希望 39.9%、就職希望 40.3%、未決定 19.8%。
- ◎ 4年次では、進学希望 42.2%、就職希望 50.7%で就職希望が8.5ポイント多い。
- ◎ 前回調査との比で、進路未定が5.7ポイント増、就職希望が6.6ポイント減。

進路は進学と就職に大別できるが、全体では「筑波大学大学院」「国内の他大学大学院」「海外の大学院」「(進学) その他」の進学希望 39.9%に対して、就職希望 40.3%とほぼ同率であった。学年別にみると、進学希望は3年次に46.4%で最も高く、就職希望は4年次に50.7%で最も高い。3年次に専攻する分野の専門性が高まり、進学を意識する学生が多くなる一方で、4年次で進学から就職へと意識が変化することが伺える。また、「決まっていない」「まだ考えていない」をあわせた進路未決定者は、1年次では2割を超えているが、学年を追うにつれて減少し、4年次では1割未満となる。男女別にみると、進学希望が男性48.7%、女性30.5%、就職希望は男性32.2%、女性49.0%と男性は進学志向が、女性は就職志向が高い。一方で前回調査と比べて、進路未決定者が男子で4.5ポイント、女子で6.8ポイント増加しており、進路について悩む学生が増加している。

学群・学類別にみると、進学希望が6割を超えるのは、化学類81%、物理学類80.9%、工学システム学類80.9%、応用理工学類77%、生物学類67.9%、生物資源学類65.5%、地球学類60.8%。対して、就職希望が6割を超えるのは、社会学類81.3%、医学類79.2%、比較文化学類73.6%、日本語・日本文化学類64.1%、知識情報・図書館学類60.8%であった。

表 7.1 卒業後の進路【学年別、男女別、全体】

		1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5年次	医学類6年次	男性	女性	全体
進学	筑波大学大学院	26.7%	30.1%	41.1%	36.5%	0.0%	0.0%	38.9%	23.4%	31.4%
	国内の他大学大学院	9.4%	5.4%	4.4%	4.1%	0.0%	0.0%	7.9%	5.3%	6.6%
	海外の大学院	2.1%	1.5%	0.6%	1.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.3%	1.5%
	(進学) その他	0.3%	0.3%	0.2%	0.7%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.3%
就職	企業	16.9%	21.7%	23.7%	29.4%	13.3%	40.0%	17.7%	24.8%	21.1%
	教員	5.8%	5.1%	3.2%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	5.9%	4.8%
	公務員	8.1%	8.7%	7.6%	8.1%	13.3%	0.0%	5.2%	11.3%	8.2%
	自営・起業	0.7%	0.3%	0.2%	1.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.3%	0.6%
	(就職) その他	4.6%	4.8%	4.4%	8.4%	66.7%	60.0%	4.9%	6.7%	5.7%
その他	決まっていない	20.2%	19.1%	12.3%	6.1%	6.7%	0.0%	15.0%	17.9%	16.4%
	まだ考えていない	4.9%	2.5%	1.7%	0.3%	0.0%	0.0%	3.9%	2.1%	3.0%
	その他	0.2%	0.5%	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.2%	0.5%	0.4%
進学 計		38.6%	37.3%	46.4%	42.2%	0.0%	0.0%	48.7%	30.5%	39.9%
就職 計		36.1%	40.6%	39.2%	50.7%	93.3%	100.0%	32.2%	49.0%	40.3%
未決定 計		25.4%	22.0%	14.4%	7.1%	6.7%	0.0%	19.1%	20.5%	19.8%

表 7.2 卒業後の進路【学群・学類別】

	進学				就職					その他			進学 計	就職 計	未決定 計
	筑波大学大学院	国内の他大学大学院	海外の大学院	(進学) その他	企業	教員	公務員	自営・ 起業	(就職) その他	決ま っていない	まだ考 えてい ない	その他			
人文学類	16.7%	3.3%	0.8%	0.0%	31.7%	11.7%	14.2%	0.0%	0.0%	17.5%	4.2%	0.0%	20.8%	57.5%	21.7%
比較文化学類	11.1%	1.4%	0.0%	0.0%	51.4%	5.6%	13.9%	0.0%	2.8%	13.9%	0.0%	0.0%	12.5%	73.6%	13.9%
日本語・日本文学類	12.8%	5.1%	2.6%	0.0%	35.9%	10.3%	15.4%	0.0%	2.6%	15.4%	0.0%	0.0%	20.5%	64.1%	15.4%
社会学類	4.7%	4.7%	0.0%	0.0%	51.6%	0.0%	26.6%	0.0%	3.1%	6.3%	1.6%	1.6%	9.4%	81.3%	9.4%
国際総合学類	12.8%	2.6%	2.6%	0.0%	41.0%	0.0%	10.3%	2.6%	2.6%	25.6%	0.0%	0.0%	17.9%	56.4%	25.6%
教育学類	18.4%	6.1%	2.0%	0.0%	24.5%	16.3%	14.3%	2.0%	0.0%	12.2%	4.1%	0.0%	26.5%	57.1%	16.3%
心理学類	37.3%	5.1%	1.7%	0.0%	32.2%	0.0%	6.8%	0.0%	0.0%	13.6%	3.4%	0.0%	44.1%	39.0%	16.9%
障害科学類	33.3%	3.9%	0.0%	0.0%	11.8%	21.6%	15.7%	0.0%	2.0%	9.8%	2.0%	0.0%	37.3%	51.0%	11.8%
生物学類	52.8%	13.2%	0.9%	0.9%	7.5%	4.7%	3.8%	0.0%	0.0%	14.2%	0.9%	0.9%	67.9%	16.0%	16.0%
生物資源学類	51.0%	11.0%	3.4%	0.0%	8.3%	0.7%	2.8%	0.0%	0.0%	18.6%	4.1%	0.0%	65.5%	11.7%	22.8%
地球学類	52.7%	6.8%	1.4%	0.0%	12.2%	2.7%	8.1%	0.0%	0.0%	14.9%	1.4%	0.0%	60.8%	23.0%	16.2%
数学類	37.3%	7.8%	0.0%	0.0%	13.7%	21.6%	2.0%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	45.1%	37.3%	17.6%
物理学類	57.4%	21.3%	2.1%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%	2.1%	0.0%	80.9%	8.5%	10.6%
化学類	69.0%	11.9%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%	2.4%	0.0%	81.0%	4.8%	14.3%
応用理工学類	60.9%	12.6%	2.3%	1.1%	5.7%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	12.6%	3.4%	0.0%	77.0%	6.9%	16.1%
工学システム学類	64.1%	14.5%	2.3%	0.0%	4.6%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	8.4%	3.8%	0.8%	80.9%	6.1%	13.0%
社会工学類	37.0%	12.3%	0.0%	0.0%	27.4%	0.0%	8.2%	1.4%	0.0%	12.3%	1.4%	0.0%	49.3%	37.0%	13.7%
情報科学類	47.6%	9.5%	2.4%	0.0%	15.5%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	15.5%	7.1%	1.2%	59.5%	16.7%	23.8%
情報メディア創成学類	60.4%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	2.1%	2.1%	0.0%	0.0%	18.8%	4.2%	0.0%	60.4%	16.7%	22.9%
知識情報・図書館学類	14.2%	3.3%	0.0%	0.0%	29.2%	0.8%	29.2%	0.0%	1.7%	19.2%	2.5%	0.0%	17.5%	60.8%	21.7%
医学類	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	13.8%	0.0%	9.4%	1.9%	54.1%	13.2%	3.1%	0.6%	3.8%	79.2%	17.0%
看護学類	15.3%	2.4%	1.2%	3.5%	17.6%	1.2%	14.1%	0.0%	24.7%	16.5%	2.4%	1.2%	22.4%	57.6%	20.0%
医療科学類	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	25.0%	0.0%	3.6%	50.0%	21.4%	28.6%
体育専門学群	17.3%	1.3%	1.0%	0.7%	29.0%	13.3%	6.7%	0.3%	4.3%	22.3%	3.7%	0.0%	20.3%	53.7%	26.0%
芸術専門学群	25.0%	5.9%	1.5%	0.0%	33.8%	3.7%	2.2%	1.5%	0.7%	22.1%	2.9%	0.7%	32.4%	41.9%	25.7%

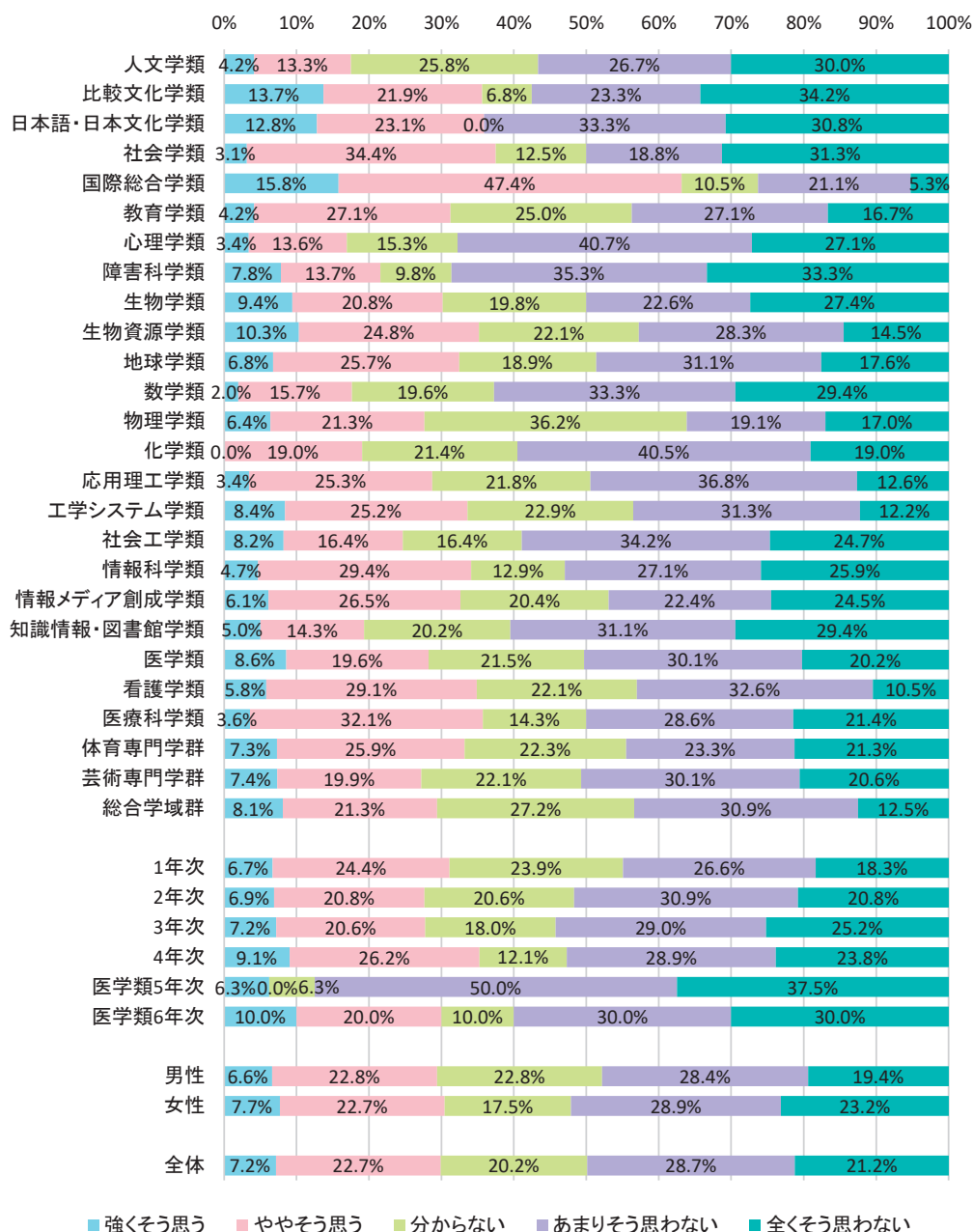
## 問 28. 卒業後の外国での就労希望について

- ◎ 約 3 割の学生が「外国での就労」を希望。
- ◎ 外国人留学生の約 7 割が日本ででの就労を希望。

卒業後の外国での就労希望についての設問に対し、「強くそう思う」「ややそう思う」の合計は 29.9%と、前回調査から傾向は大きく変わらずに約 3 割の学生が外国での就労を視野に入れている。学群・学類別にみると、外国での就労志向は国際総合学類が 63.2%、社会学類が 37.5%と続く。男女別では大きな差はないが、女性の海外就職希望が 1 ポイント高くなっている。

また、外国人留学生が卒業後に日本ででの就労を「強くそう思う」「ややそう思う」の合計が 72.6%と前回の調査から 10 ポイント以上も上昇し、依然として学群の外国人留学生が日本国内での就職を視野に入れていることが明らかとなった。一方で実際に日本国内に就職する外国人留学生は卒業生の約 1 割であり、外国人留学生の国内定着に向けた支援プログラムの充実が課題である。

図 7.1 卒業後の外国での就労希望【学類別、学年別、男女別、全体 (%)】



## 問 29. 進路決定の際の相談相手について

- ◎ 主な相談相手は「家族」83.3%、「友人・先輩」63.4%。
- ◎ 「教員」に相談する学生は2割程度。

進路決定の際の相談相手について、複数回答で尋ねた。最も多かったのは「家族」83.3%、次いで「友人・先輩」63.4%であった。「教員」は19.9%、「職員」は1.6%で、合算しても2割程度にとどまっている。学年別にみると、概して学年を追うにつれて「家族」を相談相手とする割合は減少する一方で、「友人・先輩」を相談相手とする割合が増加する傾向にある。

**表 7.3 卒業後の外国での就労希望【学年別、男女別、全体 (%)】**

	1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5年次	医学類6年次	男性	女性	全体
家族	86.7%	86.6%	78.4%	75.0%	56.3%	90.0%	81.2%	85.7%	83.3%
親戚・知人	10.6%	10.8%	10.4%	7.8%	12.5%	20.0%	12.1%	8.4%	10.3%
友人・先輩	59.3%	65.4%	67.8%	63.9%	81.3%	80.0%	64.3%	62.4%	63.4%
教員	22.1%	16.1%	17.4%	24.3%	18.8%	30.0%	19.3%	20.5%	19.9%
事務職員	1.6%	0.7%	2.3%	2.7%	0.0%	0.0%	1.8%	1.4%	1.6%
その他	4.3%	3.8%	6.6%	11.1%	6.3%	0.0%	6.2%	4.7%	5.5%



### 問 30. 進路を決めた（これから決める時に考慮する）理由について

- ◎ 進路選択では「自分の能力や適性」62.0%、「やりがい」60.0%、「安定した生活」58.6%を重視。
- ◎ 女性の49.2%が「ワーク・ライフ・バランス」を重視。

進路決定の理由について、複数回答で尋ねた。最も多かったのは「自分の能力や適性」62.0%、次いで「やりがい」60.0%、「安定した生活」58.6%と続き、この傾向は前回調査から変化がなかった。「大学で学んだことを生かせる」「専門知識を深める」はともに3割程度で、大学での学修と直接的に結びつけた進路選択の傾向は前回調査と変わらず、相対的に低かった。一方で、「給与が多い」が前回調査から12.5ポイントも増加しており、高い報酬が得られる進路も重要な選択肢であることが明らかとなった。

男女別で見ると、「自分の能力や適性」、「やりがい」、「安定した生活」の3つの理由を特に重視する傾向に変化はないが、女性は「ワーク・ライフ・バランス」を49.2%が重視しており、男性と比較しても9ポイント近く多い。全体でも44.7%が重視しており、前回調査から9ポイント近く上昇していることから、今後も仕事と私生活のバランスを重視する傾向が男女を問わず続くものと考えられる。

学年別では、1、2年次と3、4年で傾向が変化し、年次が進むと「やりがい」「安定した生活」「給与が多い」の重要度が相対的に下がる傾向にある。一方で、「専門知識を深める」「大学で学んだことが生かせる」の重要度が上がり、学修を深めるにつれて、自分の専門性を進路選択に考慮するようになることが明らかとなった。また、全学年を通じて「ワーク・ライフ・バランス」を重視する割合に変化はなく、全ての学年で重視される項目である。

表 7.4 進路決定の理由【学年別、男女別、全体（%）】

	1年次	2年次	3年次	4年次	医学類5年次	医学類6年次	男性	女性	全体
やりがい	65.4%	61.6%	52.0%	52.8%	62.5%	30.0%	56.5%	63.8%	60.0%
社会的貢献	33.7%	23.3%	25.3%	29.1%	43.8%	30.0%	26.1%	31.7%	28.8%
給与が多い	48.9%	48.8%	45.6%	36.8%	62.5%	60.0%	50.8%	42.6%	46.8%
安定した生活	61.5%	61.4%	54.4%	50.8%	56.3%	40.0%	55.8%	61.5%	58.6%
ワーク・ライフ・バランス	44.3%	45.5%	45.2%	43.5%	37.5%	70.0%	40.6%	49.2%	44.7%
自分の能力や適性	65.1%	63.2%	57.3%	58.2%	56.3%	30.0%	59.3%	64.8%	62.0%
専門知識を深める	31.0%	23.0%	30.8%	39.1%	62.5%	50.0%	35.2%	24.9%	30.2%
大学で学んだことを生かせる	35.7%	28.9%	30.8%	31.1%	25.0%	20.0%	32.7%	31.8%	32.2%
社会的評価	20.2%	20.0%	18.7%	23.4%	12.5%	10.0%	24.2%	15.8%	20.2%
将来性	46.2%	38.4%	41.4%	38.1%	43.8%	60.0%	44.5%	39.9%	42.2%
地理的利便性	14.3%	13.8%	17.0%	20.7%	50.0%	30.0%	15.0%	16.7%	15.8%
その他	1.8%	2.3%	4.0%	5.7%	0.0%	0.0%	3.1%	2.5%	2.8%

### 問 31. 将来の進路への感じ方について

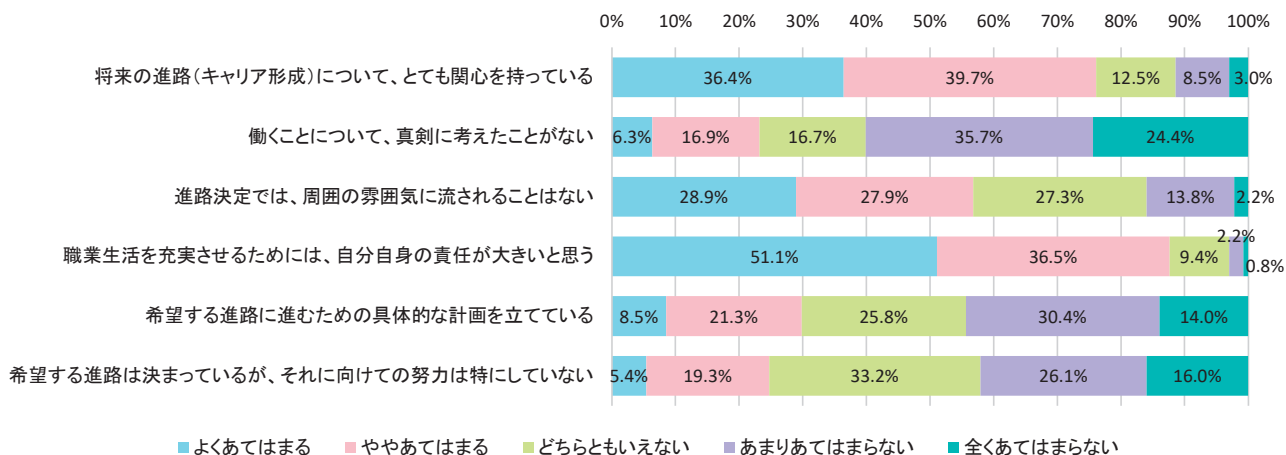
- ◎ 将来の進路について関心を持っている者は 76.1%。
- ◎ 職業生活を充実させるためには自分自身の責任が大きいと感じている者は 87.6%。
- ◎ 希望する進路に進むための具体的な計画を立てている者は 29.8%。

将来に対する関心を尋ねたところ、進路への関心の程度については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が 76.1%であった。一方、働くことについて真剣に考えた経験についての肯定的な回答では、質問が反転項目のため「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の合計で 60.1%と、将来への関心の高さと比較すると、働くことへの関心は 16 ポイント程度低い。

進路決定や職業生活に対する自立の程度を尋ねたところ、進路決定場面における自立度については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計は 56.8%であった。職業生活全体における自立度においては、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計は 87.6%で、当面の進路決定においては、自らで決定する学生が大多数を占め、職業生活の充実のためには自立が重要であると認識されていた。

進路を実現するための計画や実行の程度を尋ねたところ、計画の具体性については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計は 29.8%であった。将来への関心の強さと比較するとかなり低く、前回の調査から 10 ポイント程度低下しており、希望する進路の実現へ向けて行動を促すような支援をすべきであると考えられる。

図 7.2 将来の進路についての感じ方【全体 (%)】



## 問 32. CARIO の活用について

- ◎ 教育学類、芸術専門学群、知識情報・図書館学類の活用率が相対的に高い。
- ◎ 教育学類はファーストイヤーセミナーで CARIO を活用した後に、継続的に活用している割合が高い。

CARIO の活用状況は「現在、活用している」「時々、活用している」「ファーストイヤーセミナーでのみ活用した」を合わせると全体で 30.5% で、そのうち「現在、活用している」「時々、活用している」と回答した継続的な CARIO 活用者は 2.4% であった。CARIO の活用状況は、学群・学類による差が大きく、継続的な CARIO の活用者は教育学類 6.3% と最も高く、人文学類、数学類、医学類、看護学類、医療科学類は 0% であった。学年別では、4 年次が最も高く、学年が下がるにつれて活用率が低下する傾向がみられ、前回調査と正反対の結果となった。

「活用してない」と回答した者に理由について尋ねたところ、「存在を知らない」との回答が最も多かったことから、CARIO の継続について抜本的に見直す時期が来ていると考えられる。

表 7.5 CARIO の活用【学年別、男女別、全体】

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	医学類 5 年次	医学類 6 年次	男性	女性	全体
現在、活用している	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.2%
時々、活用している	1.6%	2.0%	2.8%	3.7%	0.0%	0.0%	2.1%	2.3%	2.2%
ファーストイヤーセミナーでのみ活用した	34.6%	27.8%	20.7%	20.7%	25.0%	22.2%	26.1%	30.4%	28.2%
活用していない	63.5%	70.2%	76.5%	75.2%	75.0%	77.8%	71.5%	67.3%	69.5%

### 問 33. 就職活動に役立った情報源について

- ◎ 就職活動の情報源として最も役立ったのは、「就職情報サイト」。
- ◎ 3年次では特に「インターンシップ」を重視。

就職活動に役立った情報源について、「就職活動を行った」「就職活動中」の学生に複数回答で尋ねた。最も高かったのは「就職情報サイト」44.0%、次いで「インターンシップ」37.8%、「SNS」29.3%、「学外の就職イベント」28.7%で、学外の情報源を活用していることが明らかとなった。

3、4年次および医学類6年次の回答をみると、調査時期から推測して、就職活動の準備段階にある3年次と、就職活動の只中もしくは内々定を得てすでに実質的な就職活動を終えている4年次とでは傾向が異なり、3年次においては「就職情報サイト」54.5%の他に、「インターンシップ」50.0%を情報源として役立っていたことが目立つ。4年次では「就職情報サイト」54.7%が最上位であるが、「インターンシップ」39.2%と、相対的に下降し、最終的な応募企業の選定において重要な情報入手の手段となる「企業・自治体等のHP」38.5%が上昇する傾向にある。

また、今回初めて選択肢に「SNS」を入れたところ、3割近くの学生が情報源として挙げており、今後「SNS」が主要な就職活動の情報源として活用される可能性がある。

**表 7.6 就職活動に役立った情報取得源【学年別（3-4年次および医学類6年次）、全体】**

	3年次	4年次	医学類6年次	全体
就職課	13.9%	20.3%	0.0%	16.3%
就職課 HP	14.9%	15.5%	0.0%	15.5%
学内の就職ガイダンス	18.8%	17.6%	0.0%	18.0%
学群・学類の就職委員	3.5%	4.7%	0.0%	4.8%
就職情報誌	4.0%	8.1%	20.0%	6.6%
就職情報サイト	54.5%	54.7%	40.0%	44.0%
学外の就職イベント	37.6%	31.8%	40.0%	28.7%
企業・自治体等のHP	31.7%	38.5%	40.0%	28.5%
インターンシップ	50.0%	39.2%	20.0%	37.8%
OB・OG 訪問	5.4%	11.5%	0.0%	8.5%
SNS	25.7%	27.7%	0.0%	29.3%
その他	4.5%	7.4%	0.0%	5.6%

### 問 34. 就職活動の学修への影響について

- ◎ 全体で 35.1%が学修への影響ありと回答。
- ◎ 4年次は 43.4%が学修への支障を感じている。

就職活動の学修への影響について、「就職活動を行った」と「就職活動中」の学生に複数回答で尋ねた。学修への支障が出たとする割合は、前回調査から大きく変わらず「支障が多少出ている」「支障がとても出ている」と合わせて 35.1%であった。

また学年別で見ると、「支障が多少出ている」「支障がとても出ている」と回答した割合は、3年次に 38.7%であるが、4年次で 43.4%と、学年が上がるにつれて学修に支障が出る割合が高くなることが明らかとなった。

企業の広報活動開始時期が3月1日から、選考開始時期が6月1日からというスケジュールが既に浸透したこともあり、この日程になる前に比べて（前々回調査結果時:64.6%）学修への影響は小さくなったが、未だに4割の学生に影響があることを考えると、さらなる緩和策が必要である。

表 7.7 就職活動の学修への影響【学年別（3-4年次および医学類6年次）、全体】

	3年次	4年次	医学類6年次	全体
支障は全くでていない	21.1%	23.4%	14.3%	27.4%
支障はほとんどでていない	40.2%	33.1%	28.6%	37.4%
支障が多少はでている	30.4%	33.8%	42.9%	26.7%
支障がとてもでている	8.2%	9.7%	14.3%	8.4%

## 第8章 家庭の状況について

### 問 35. あなたの現在の生計を支えている方について

- ◎ 生計を主に支えている方は、「父」が82%、「母」が12.6%。
- ◎ 親の職業の上位2種は、「専門的、技術的職業」28.3%と「管理的職業」19%。
- ◎ 複数で生計を支えている場合、もう一方は「母」79.3%、「父」11%、「本人」4.6%。

この設問は、学生の家庭の経済状況の調査を目的に、今回から新たに加えられたものである。現在の生計を主に支えている方は、「父」が82%、「母」が12.6%となり、合わせて約95%を占めた。次いで「本人」が3.7%で、「兄弟姉妹」、「祖父母」、「配偶者」、「その他」はいずれも1%未満であった。その方の職業については、12の選択肢のうち、「専門的・技術的職業」28.3%と「管理的職業」19%が多く、合わせると半数近くに達する。次いで「事務職」10.5%、「販売職」9.7%、「技能工、生産工程に関わる職業」9.5%が比較的多く、「分からない」も5.5%を占めた。こうした傾向は、学群・学類別でも同様であったが、医学類では「専門的・技術的職業」が44.2%と突出して多く、そのカテゴリーには医師や看護師が含まれることから、親の職業の影響を受けて、医学類に進学した学生が多いものと推察される。

生計を支えている方が複数いる場合についても同じ質問をした結果、「父」が11%、「母」が79.3%となっており、父が主たる生計者の共働き家庭が多いことが示唆された。なおこちらでも職業を尋ねたところ、「専門的・技術的職業」は29%で、主たる生計者の場合と同程度だったのに対し、「管理的職業」は3.3%と少なく、代わって「事務職」が23.3%を占めた。これは「管理的職業」に就く女性の割合が低い日本社会の現状を反映していると考えられる。

図 8.1 生計支持者【全体 (%)】

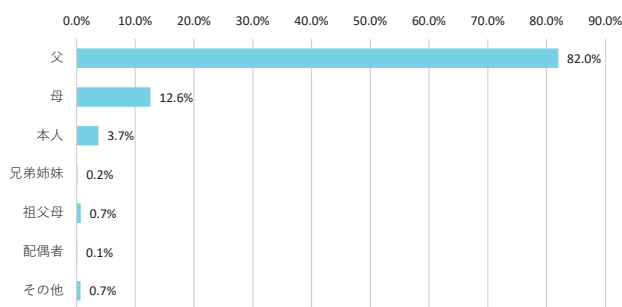


図 8.3 2人目の生計支持者【全体 (%)】

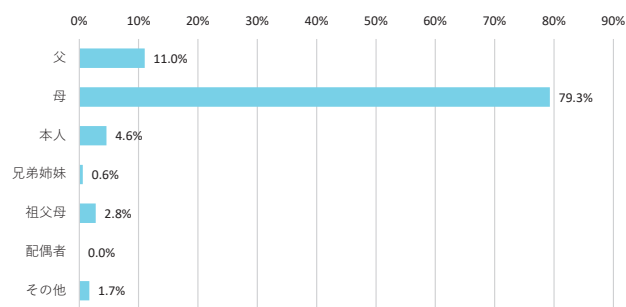


図 8.2 生計支持者の職業【全体 (%)】

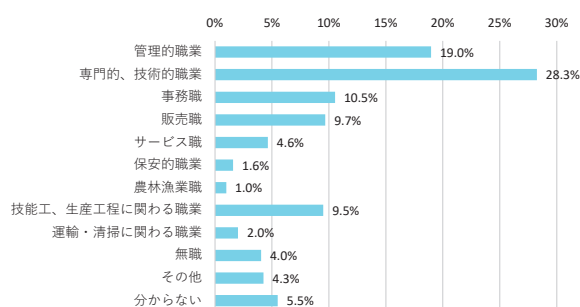
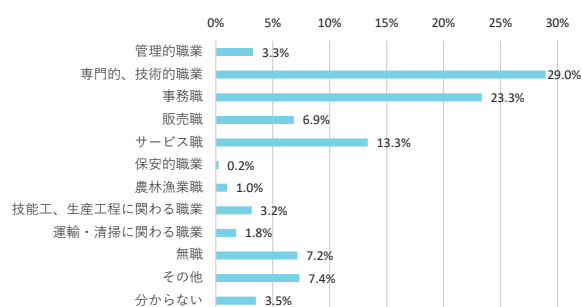


図 8.4 生計支持者（2人目）の職業【全体 (%)】



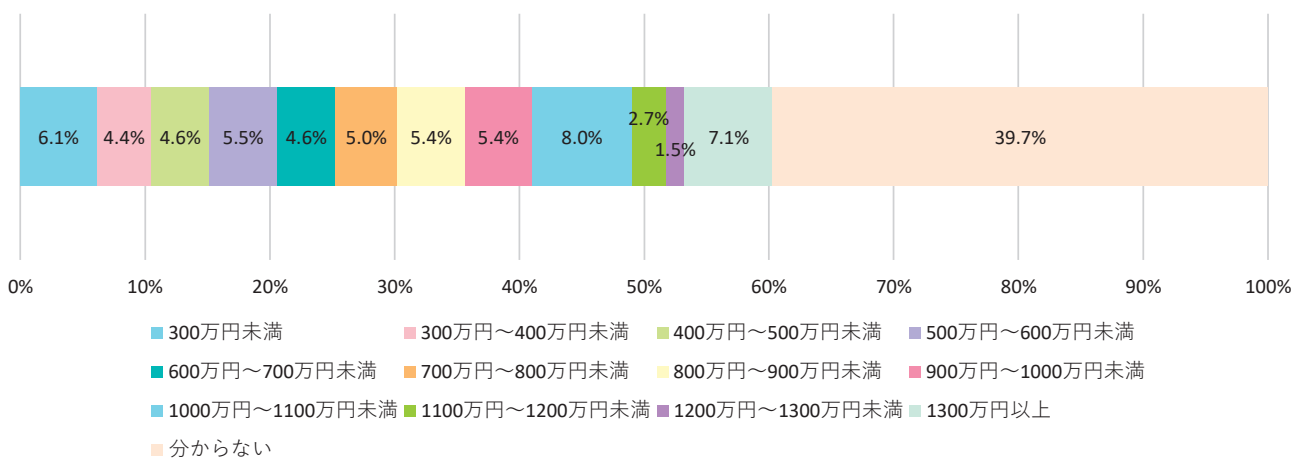
問 36. あなたの現在の生計を支えている方（全員分）の昨年（2021年1月～12月）の年間税込み収入について

- ◎ 生計を支えている方の合算の年収は、「1000万円～1100万円」が8%で最多。
- ◎ 2位は7%で「1300万円以上」だったのに対し、3位は6%で「300万円未満」。
- ◎ 医学類は「1300万円以上」が20%と突出して多い。

この設問は「学生の生計を支えている方の合算の年収」を13の選択肢（300万円未満から1300万円以上を100万円毎に区分）から1つ選ぶ形式で、今回の調査で初めて実施された。質問の性質上、「分からない」が全体の4割を占めたが、残る6割の回答の中で最も多かった年収帯は「1000万円～1100万円」8.0%、次いで2位は「1300万円以上」7.1%となった。一方で3位は「300万円未満」の6.1%となり、大きな収入格差が浮き彫りとなった。なお「分からない」を除く12の選択肢を、「500万円未満」、「500万円～900万円未満」、「900万円以上」の3つに大別すると、それぞれ15.1%、20.5%、24.7%となる。日本の世帯年収の平均額は564万円（令和3年国民生活基礎調査・厚労省）とされており、本学学生の15%以上が、平均世帯年収を下回る家計の中で、生計を支えてもらっていることがうかがえる。

学群・学類別でみると、医学類では「1300万円以上」が19.9%と突出して多く、「900万円以上」で区分すると41.9%に達した。一方、「500万円未満」で区分すると、国際総合学類の43.8%と医療科学類の28%が比較的多く、逆に少ないのは、情報科学類の6.7%と日本語・日本文化学類の6.8%だった。なお学年別の比較では全体との大きな差は認められなかった。

図 8.5 生計支持者年間税込み収入【全体 (%)】



## 第9章 本学への期待や要望について

### 問 37. 教員に最も期待することについて

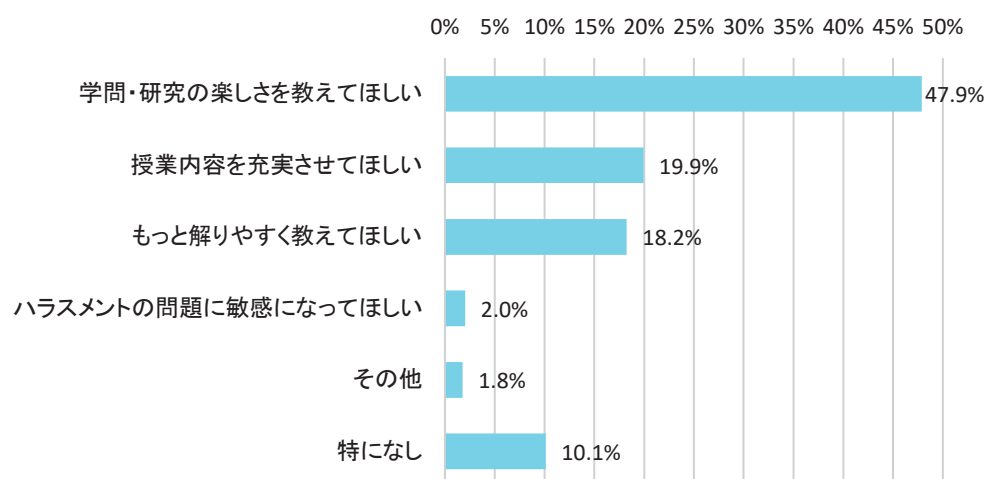
- ◎ 全体の約半数が「学問・研究の楽しさを教えてほしい」を選択。
- ◎ 次点は「授業内容を充実させてほしい」で、全体の2割が選択。
- ◎ 理系の学類では「もっと解りやすく教えてほしい」が上位。

筑波大学の教員に最も期待することを、6つの選択肢から1つ選ぶ設問であり、「学問・研究の楽しさを教えてほしい」が47.9%で第1位、「授業内容を充実させてほしい」が19.9%で第2位、「もっと解りやすく教えてほしい」が18.2%で第3位となった。残る選択肢の「ハラスメントの問題に敏感になってほしい」は2%とわずかであり、「特になし」の10.1%を下回る結果となった。また「その他」を選んだ1.8%による自由記述には、「教員から学生への諸連絡を迅速かつ正確に行ってほしい」という要望や、一部必修科目の難易度を問題視する意見（ほぼ半数の学生が単位を落としている）が寄せられた。なおコロナ禍における授業形態については、対面授業を求める声とオンライン授業を続けてほしいという声が両方聞かれた。

学群・学類別でみると、化学類と数学類では「もっと解りやすく教えてほしい」が40%を超えてトップであり、物理学類、応用理工学類、工学システム学類でも30%を超えていた。いずれも理系分野であるが、これらの学類では、学生の理解度に合わせた授業内容の改善が必要であろう。

なお「特になし」という回答も比較的多く見られたが、これには「すでに十分に期待に応えられている」という肯定的な意味と、「期待することはない」という否定的な意味のどちらにも解釈できるため、真意は読み取れなかった。

図 9.1 教員に期待すること【全体 (%)】





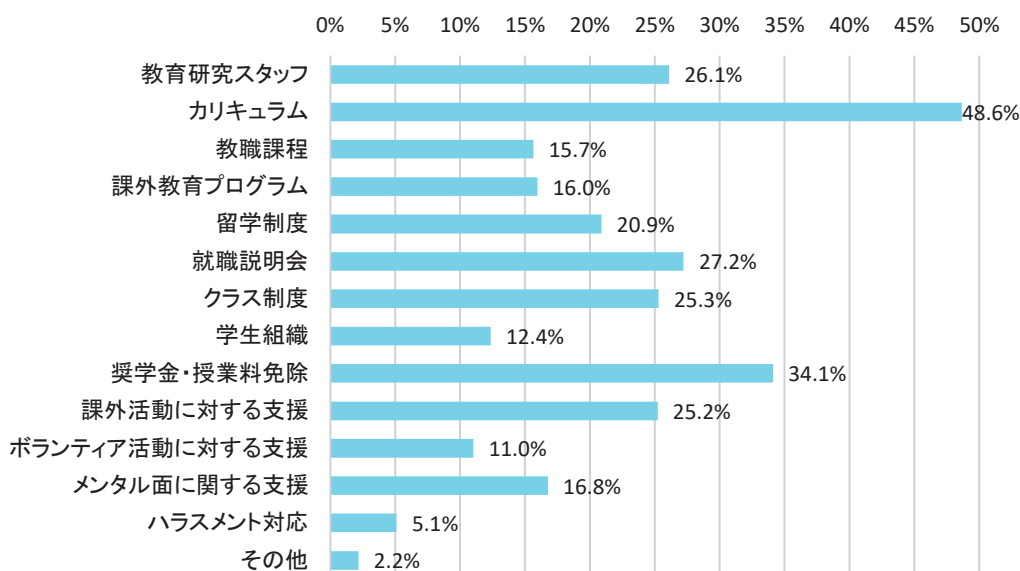
### 問 38. 教育面や制度面で充実してほしい点について

- ◎ 最多は「カリキュラム」で、全回答者の半数近くが選んだ。
- ◎ 次いで「奨学金・授業料免除」と「就職説明会」が多かった。

教育面や制度面で充実してほしいと思うものを、14の選択肢から複数選ぶ設問であり、最も多かった答えは「カリキュラム」の48.6%だった。次点は「奨学金・授業料免除」の34.1%であり、「就職説明会」27.2%、「教育スタッフ」26.1%、「クラス制度」25.3%、「課外活動に対する支援」25.2%がほぼ同率で続いた。以降は「留学制度」20.9%、「メンタル面に関する支援」16.8%、「課外教育プログラム（講演会・講習会等）」16%、「教職課程」15.7%、「学生組織」12.4%、「ボランティア活動に対する支援」11%の順で、最も少なかったのは「ハラスメント対応（組織・制度）」5.1%だった。

「その他」の自由記述として、「文系の授業が減らされて少ない」、「年々教員の数が減っていて、忙しそうで頼りづらい」、「教職科目が土日の集中講義ばかりなのを改善してほしい」、「学生が研究室に遊びに行けるようにしてほしい」、「地球学類の野外実験の学生負担金（3万円程度）を補助してほしい」、「就職課にあるOBOG名簿の充実化」、「学生自治の拡大」、「学生ベンチャーの支援」などが挙げられた。

図 9.2 教育面や制度面で充実してほしい点【全体 (%)】



### 問 39. TWINS、KdB（シラバス）、manaba の使いやすさについて

- ◎ manaba の使いやすさに関してはおおむね満足
- ◎ TWINS、KdB の改善が早急に望まれる

平成 29 年度の前回調査時には、manaba の利用状況と使いやすさについての設問となっており、その際には今後さらに manaba を活用してほしいという意見が挙げられていた。令和 2 年度以降、授業のオンライン化を経て、多くの科目で manaba が使用されるようになったと考えられる。そのため、今回のアンケートでは manaba だけではなく、科目履修や授業の受講に関連する TWINS と KdB、manaba の使いやすさに関する設問に変更した。

各項目の「満足」「まあ満足」を合わせると、manaba では前回調査の 67.5% から上昇して 8 割を超えており、多くの学生が使いやすいと感じていることが読み取れる。一方、TWINS では 6 割、KdB では 4 割程度となっている。特に KdB に関しては、「不満」「やや不満」の割合が 3 割を超えている。KdB はシラバス検索のための重要な手段であり、学期初めには多くの学生が履修計画のために利用するため、早急なシステムの改善が望まれる。

図 9.3 TWINS の使いやすさ【全体 (%)】

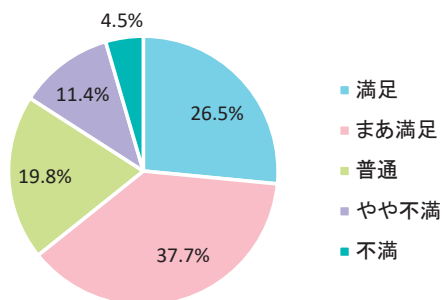


図 9.4 KdB の使いやすさ【全体 (%)】

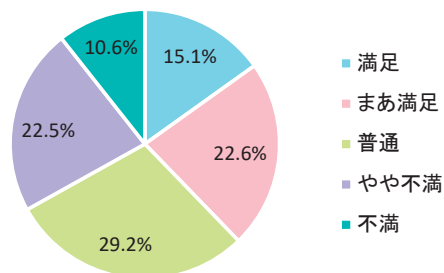
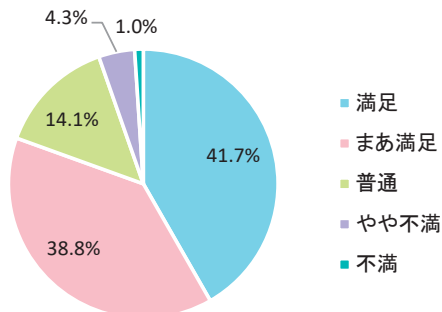


図 9.5 manaba の使いやすさ【全体 (%)】



#### 問 40. 整備・充実してほしい施設等について

- ◎ ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）の要望が増加。
- ◎ 特に医学類・看護学類で図書館の整備・充実を求める声が多い。

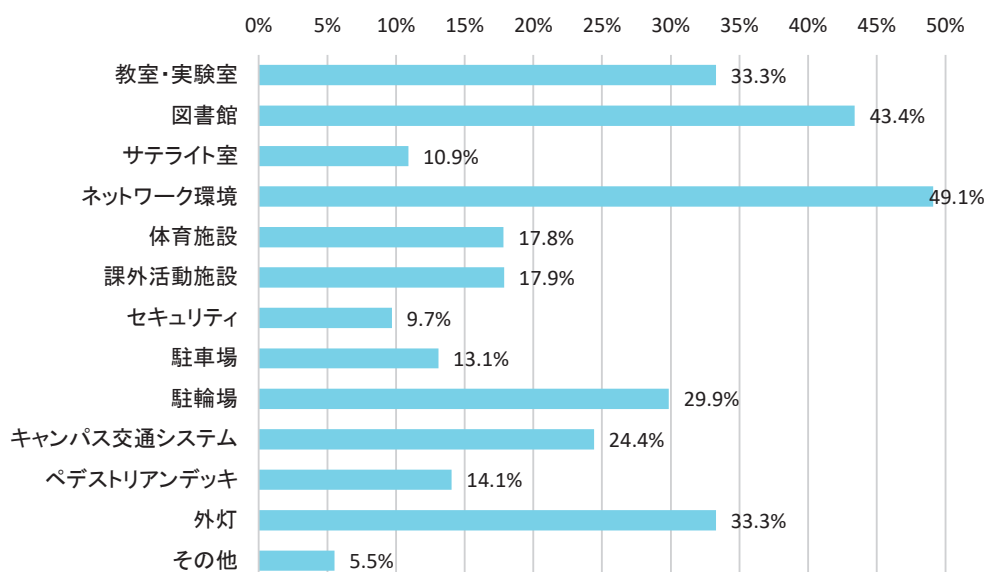
整備・充実してほしい施設等について、おおよそ前回調査と同じ項目で、選択数を制限せずに調査した。前回調査時の「IT 環境」の項目については、令和 2 年度以降の授業のオンライン化に伴う影響が想定されることから、「サテライト室」「ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）」の 2 つに分けて質問をした。

最も要望が多かったのは「ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）」であり、前回調査の 27% から 49% と大幅に増加した。学内の広い範囲で学内無線 LAN システムが設置されているものの、建物や教室によっては接続できない所があるため、これらの整備をはかっていくことが必要である。

次に要望の多かった図書館の整備・充実に関しても、前回調査の 37.7% から 43.4% と増加している。特に医学類・看護学類の学生からの要望の割合が 4～6 割と高くなっており、医学図書館の利用状況が影響していると考えられる。また、学生が図書館でオンライン授業を受講したり、インターネットを利用して課題を行う点を考慮すると、図書館とネットワーク環境への要望には相関性があると想定される。これらの要望は概して年次が上がるほど増加する傾向があり、卒業研究や卒論執筆等での利用機会が増えるものと思われる。

その他に要望が多かったものとしては、「教室・実験室」「外灯」「駐輪場」が挙げられる。「教室・実験室」に関しては、化学類や応用理工学類など、実験施設を使用する学類からの要望が 4～5 割程度と高くなっている。外灯に関しては、女性の方が男性よりも整備を望む声が多く、学内の夜間の安全対策に努める必要がある。「教室・実験室」「セキュリティ」「駐輪場」「ペDESTリアンデッキ」については、前回調査時よりも少なくなっており、これらは施設が改善されたというよりも学生のキャンパスの利用頻度に関係があるものと想定される。

図 9.6 整備・充実してほしい施設等【全体 (%)】



## 問 41. 学内の福利厚生施設の満足度について

- ◎ 不満の割合は減少したが、利用頻度が少なくなったことが想定される。
- ◎ 「キッチンカー」「弁当販売」等、半数以上の学生が利用したことがない。

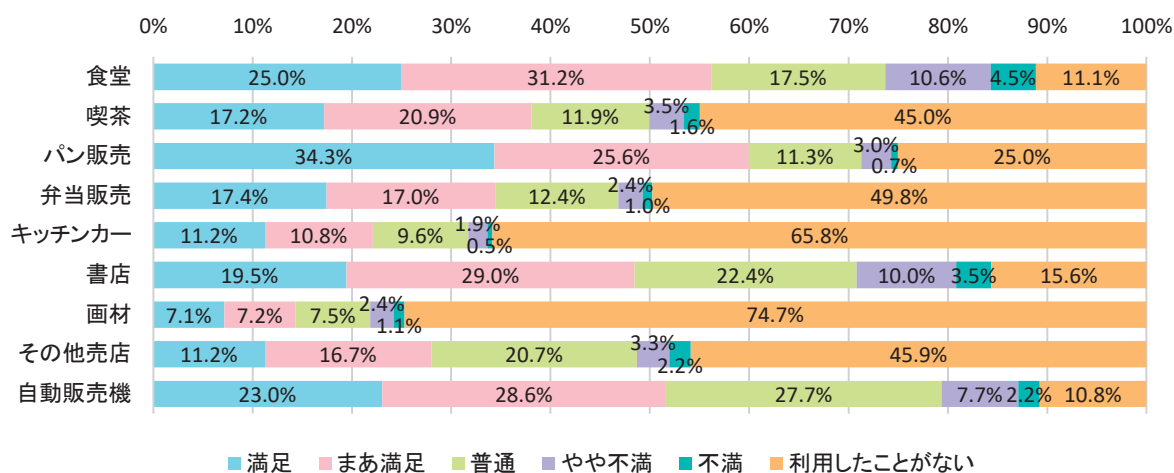
学内の福利厚生施設の満足度について、前回調査とおおよそ同様の項目で調査を行った。令和2年度以降の授業のオンライン化に伴い、福利厚生施設の利用頻度が少ない学生がいると想定されたことから、今回新たに回答項目として「利用したことがない」を追加した。

全体として「不満」「やや不満」と回答した学生の割合は2割未満であり、施設を利用する学生の多くはおおむね満足していると考えられる。「不満」の割合は、前回調査時よりも減少傾向にあり、特に「食堂」に関しては13.5%から4.5%と大幅に減少した。食事を提供する施設の中では、「パン販売」は「満足」「やや満足」を合わせると6割近くになり、満足度が高いことが読み取れる。これには、他の施設と比較した際に、パンの種類や価格、営業時間帯などの要因があるだろう。「自動販売機」も学内各所に設置されており、5割程度の学生が満足していることがうかがえる。

一方、「キッチンカー」「弁当販売」「その他売店」「喫茶」に関しては、半数～7割近くの学生が利用したことがないことがわかった。「画材」についても、7割以上の学生が「利用したことがない」と答えている。

今後、大学の授業形態が対面授業へと全面的に戻ることを考慮すると、昼食時などの混雑の解消に努め、適正な価格でサービスを提供することが望まれる。

図 9.7 福利厚生施設の満足度【全体 (%)】



## 問 42. 筑波大学への要望や提言について

筑波大学への要望や提言について、(A) 制度等に関する要望、(B) 教職員に対する要望、(C) 施設に対する要望、(D) その他の4つの大項目に分けて尋ねた。自由記述には545名からの意見があり、以下はそれぞれの項目にあげられた意見等の概要である。

### A. 制度等に関する要望

#### A1. カリキュラム (72件)

カリキュラムでは、コロナ禍およびそれ以後の授業形態について、対面授業拡大とオンライン授業継続の要望がそれぞれみられたが、件数としては後者の方が多い。講義型の授業はオンライン・オンデマンド形式とし、オンデマンド形式の授業は曜時限に繰り入れないことで、受講の可能性を拡げてほしい旨の意見が6件あった。授業数が足りない（ABCモジュールになってからコマ数が減った、隔年開講が多すぎ、など）、Cモジュールの授業が少なくABモジュールが過密になっている、必修科目間の、または、必修科目と教職科目の間の重なるの解消、授業の質の向上、カリキュラムの分かりにくさの解消などの声がそれぞれ数件ずつあった。

#### A2. 学生生活支援 (15件)

コロナ禍の状況で人間関係が希薄だったため、それを補うような精神的なサポートやツール、イベントなどがほしかったとの声が4件、また、支援室の開室時間延長を求める声も4件あった。他に、留学生への支援が不十分との声が2件。

#### A3. 経済支援 (18件)

経済支援の基準を緩めること、とくに授業料免除の対象者を拡大してほしいとの意見が10件を超えている。経済支援に関する情報を分かりやすく確実に届けてほしいとの要望が4件あった。

#### A4. キャリア・就職支援 (17件)

就職支援の充実、早期化を求める声があがっている。公務員試験対策講座を安価で受けられるようにとの要望、外国人留学生からは英語による支援の要望があがっている。

#### A5. その他 (3件)

留学制度の充実を求める声などがあった。

### B. 教職員に対する要望

#### B1. 教員に対して (50件)

授業について、教える気が感じられない教員が（多数）いるとの指摘、授業に関する休講や変更の連絡をもっと迅速に行ってほしいとの要望が数件ずつあった。課題についてフィードバックがほしい、メールでの質問にちゃんと答えてほしい、教員間でmanaba・Teams・Zoomなどのツールの使い方を統一してほしいなどの要望が数件ずつあがった。人文系を中心に教員増を望む意見も4件あった。

#### B2. 事務職員に対して (18件)

一部に対応が冷たく、不親切な職員がいるとの指摘が10件を超えた。事務連絡をもっと早くしてほしいとの要望もあった。

#### B3. その他 (1件)

教職員からの連絡は早めにしてほしいとの要望があった。

## C. 施設に対する要望

### C1. 学修・研究環境 (61 件)

(オンライン受講ができる) 自習室の整備を望む声が14件、サテライト室の解放と時間延長の要望が12件、空調設備の整備と冷房期間の延長を望む声が7件などとなっている。他に、学群棟の利用時間延長の要望、劣悪な環境の教室についての改善要望などがあつた。

### C2. ネットワーク環境 (84 件)

Wi-Fi がつながりにくい、スマホが使えないなどの状況があるため、Wi-Fi 環境の強化を望む声が多数あつた(58件)。それに加えて、具体的な場所を挙げて通信環境の整備を望む声が18件あつた。とりわけ、(中央、体芸、医学) 図書館と文化系サークル会館については、複数人から要望があがっている。Wi-Fi の接続方法が分かり難く、面倒であるとの指摘も7件ほどあつた。

### C3. 学習システム (TWINS、KdB、manaba 等) (21 件)

TWINS と KdB はともに動作が重く使いにくい等の理由で改善してほしいとの要望が9件、TWINS 掲示板の自分に関わる内容について通知してほしいとの要望が5件あつた。他に、システムの統合を望む声が3件あつた。

### C4. 図書館 (130 件)

開館時間の延長(閉館を24時に、開館時間の早朝化、24時間開館、土日の時間延長など)を望む声が多数あり、118件にのぼつた。その他に、空調期間の延長や自習スペースの拡張などの要望があつた。

### C5. 宿舎 (51 件)

既存宿舎の環境や衛生面に関する苦情(7件)、Wi-Fi 環境の強化(5件)、エアコン標準装備の要望(4件)などがあつた。宿舎の建替えに関して、宿舎料をできるだけ抑えてほしいとの要望もあつた。

### C6. 食堂・売店 (41 件)

営業時間の延長を望む声が約半数をしめた(21件)。対面授業の増加に見合った食事場所の確保、体芸エリアの食事環境の整備を望む声が、それぞれ数件ずつあつた。

### C7. 駐輪場 (29 件)

駐輪場の拡充(12件)、放置自転車の処分(5件)、屋根付駐輪場の整備(4件)などを求める声があつた。

### C8. ペDESTリアンデッキ・道路等 (113 件)

道路・歩道の凹凸を補修してほしいとの声が58件あがり、その中では、ペDESTリアンデッキの整備を求める声が17件と一番多かつた。また、外灯の整備を望む声が23件あつた。歩道が狭い、坂道が危険であるなどの意見、中央図書館下から自転車でペデに上がるスロープがほしいとの要望がそれぞれ数件ずつあつた。

### C9. その他 (39 件)

文化系サークル会館の改修、トレーニング場の利用促進、学内への喫煙所の設置、駐車場の整備、ロッカーの整備などの要望があつた。

## D. その他 (31 件)

循環バスの本数増加を望む声が11件にのぼつた。課外活動に関する要望、人間関係をよくするための方策を望む声などがあつた。

【資料】

## 令和4年度筑波大学 学生生活実態調査（学群）データ集計表＜全体＞

### I. あなた自身について

#### 1. 社会人の経験について

	回答数	回答率
1 ある	55	2.3%
2 ない	2,337	96.1%
3 無効・無回答	41	1.7%
合計	2,433	

#### 2. 筑波大学の主な志望理由

	回答数	回答率
1 研究領域に魅力がある	974	40.3%
2 教育内容が優れている	704	29.1%
3 希望する分野がある	1,554	64.3%
4 指導教員の資質・能力、指導体制が優れている	374	15.5%
5 教育・研究施設が優れている	626	25.9%
6 幅広い専門が学べる	1,001	41.4%
7 国立大学である	2,102	87.0%
8 学費や生活費などの経済的な支援体制が充実している	391	16.2%
9 留学生が多いなど国際性が高く、留学制度が充実している	311	12.9%
10 自然が豊かで開かれたキャンパスに魅力がある	627	25.9%
11 学生宿舎が充実している	111	4.6%
12 課外活動が盛んである	356	14.7%
13 卒業後の進路など就職に有利である	440	18.2%
14 オープンキャンパスで魅力を感じた	355	14.7%
15 親や高校の先生などから勧められた	554	22.9%
16 自宅から通える	381	15.8%
17 資格などが取りやすい	122	5.0%
18 その他	64	2.6%
合計	2,417	

## Ⅱ. 生活全般について

### 3. 1ヶ月の平均収入・支出

A 収入		平均金額
1	仕送り	49,320 円
2	奨学金	18,666 円
3	アルバイト	26,797 円
4	預貯金から	11,327 円
5	借金により	126 円
6	その他	1,606 円

B 支出		平均金額
1	食費	22,298 円
2	住居費（家賃・共益費・光熱費等）	33,427 円
3	就学費（授業料を除く図書・文房具・パソコン等）	7,219 円
4	交通費（定期代・ガソリン代・駐車場代等）	6,951 円
5	通信費（電話料・インターネット等）	3,493 円
6	その他（交際費・教養娯楽費・被服費・医療費等）	15,322 円
7	預貯金・借金返済	5,599 円

### 4. アルバイトの有無（2022年4月以降）

	回答数	回答率
1 春学期中に定期的なアルバイトをした	1,306	54.3%
2 春学期中に臨時的なアルバイトをした	319	13.3%
3 夏季休業期間中に定期的なアルバイトをした	1,038	43.2%
4 夏季休業期間中に臨時的なアルバイトをした	423	17.6%
5 全くしなかった	622	25.9%
合計	3,708	

#### 4-1. アルバイトの種類（複数選択）

	回答数	回答率
1 家庭教師	110	6.2%
2 塾講師・添削指導	480	27.0%
3 一般事務	129	7.2%
4 特殊技能（翻訳・通訳・スポーツコーチ等）	120	6.7%
5 飲食店での業務	685	38.5%
6 飲食店以外の軽労働（調査・配達・販売等）	344	19.3%
7 重労働（引っ越し・建築関係等）	50	2.8%
8 本学における短期雇用等	220	12.4%
9 その他	202	11.3%
合計	2,340	

#### 4-2. アルバイトを行う理由（複数選択）

	回答数	回答率
1 学費のため	43	2.4%
2 生活費のため	814	45.7%
3 サークル活動費のため	118	6.6%
4 レジャー・旅行のため	461	25.9%
5 技術を得るため	131	7.4%
6 友人を得るため	28	1.6%
7 その他	158	8.9%
無効・無回答	28	1.6%
合計	1,781	

#### 4-3. アルバイトの学修への影響

	回答数	回答率
1 とても妨げになっている	73	4.1%
2 すこし妨げになっている	529	29.7%
3 あまり妨げになっていない	754	42.3%
4 全く妨げになっていない	377	21.2%
無効・無回答	48	2.7%
合計	1,781	

### 5. 大学に希望する経済支援（複数選択）

	回答数	回答率
1 給付型（返還義務なし）奨学金	1,077	48.6%
2 貸与型（返還義務あり）奨学金	152	6.9%
3 授業料免除	923	41.7%
4 一時貸付金	124	5.6%
5 その他	18	0.8%
6 特に希望しない	797	36.0%
合計	3,091	

#### 5-1. 一時貸付金を希望する理由（複数選択）

	回答数	回答率
1 授業料のため	51	41.1%
2 生活費のため	85	68.5%
3 その他	16	12.9%
合計	152	



## 6. 現在の住まい

	回答数	回答率
1 学生宿舎	478	21.4%
2 民間のアパート・マンションなど	1,295	57.9%
3 親と同居	436	19.5%
4 親戚・知人宅	11	0.5%
5 その他	15	0.7%
合計	2,235	

### 6-1. 学生宿舎への入居

	回答数	回答率
1 希望する	48	2.7%
2 希望しない	1,657	94.3%
無効・無回答	52	3.0%
合計	1,757	

### 6-2. 現在の居住地

	回答数	回答率
A1 つくば市 天久保	541	30.8%
A2 つくば市 春日	521	29.7%
A3 つくば市 桜	154	8.8%
A4 つくば市 柴崎	16	0.9%
A5 つくば市 吾妻	12	0.7%
A6 (つくば市内) その他	103	5.9%
B1 茨城県南地域	87	5.0%
B2 茨城県西地域	16	0.9%
B3 (つくば市以外で茨城県内) その他	8	0.5%
C1 東京都	69	3.9%
C2 千葉県	104	5.9%
C3 埼玉県	60	3.4%
C4 (茨城県外で関東地方) その他	6	0.3%
D1 (その他の地域) その他	11	0.6%
無効・無回答	49	2.8%
合計	1,757	

### 6-4. 学生宿舎満足度

	かなり満足		おむね満足		ちらともいえない		少し不満		かなり不満		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 料金	311	65.1%	121	25.3%	26	5.4%	14	2.9%	5	1.0%	1	0.2%
2 居室	69	14.4%	158	33.1%	99	20.7%	93	19.5%	57	11.9%	2	0.4%
3 補食室	47	9.8%	107	22.4%	129	27.0%	107	22.4%	83	17.4%	5	1.0%
4 宿舎設備	54	11.3%	113	23.6%	91	19.0%	131	27.4%	88	18.4%	1	0.2%
5 セキュリティ	154	32.2%	173	36.2%	92	19.2%	37	7.7%	21	4.4%	1	0.2%
6 ネットワーク環境	134	28.0%	135	28.2%	68	14.2%	94	19.7%	45	9.4%	2	0.4%
7 売店	47	9.8%	68	14.2%	184	38.5%	93	19.5%	82	17.2%	4	0.8%
8 管理事務所の対応	113	23.6%	156	32.6%	131	27.4%	53	11.1%	21	4.4%	4	0.8%
9 総体的に	47	9.8%	210	43.9%	94	19.7%	94	19.7%	29	6.1%	4	0.8%

宿舎設備：エアコン・トイレ・洗濯室・コインシャワー等

### 6-3. ①学生宿舎の地区

	回答数	回答率
1 一の矢地区	118	24.7%
2 平砂地区	237	49.6%
3 追越地区	63	13.2%
4 春日地区	51	10.7%
無効・無回答	9	1.9%
合計	478	

### 6-3. ②居室のタイプ

	回答数	回答率
1 単身宿舎	379	79.3%
2 世帯宿舎	0	0.0%
3 二人室	13	2.7%
4 シェアハウス	80	16.7%
無効・無回答	6	1.3%
合計	478	

6-5. A 学生宿舎内の近隣入居者との関係

	回答数	回答率
1 よく会話をする	75	15.7%
2 時々会話する	107	22.4%
3 あいさつを交わす程度	124	25.9%
4 ほとんど会話しない	170	35.6%
無効・無回答	2	0.4%
合計	478	

6-5. B 留学生居住者との交流

	回答数	回答率
1 よくある	29	6.1%
2 ときどきある	76	15.9%
3 あまりない	75	15.7%
4 まったくない	290	60.7%
無効・無回答	8	1.7%
合計	478	

7. 学生宿舎リニューアルに対する重視項目

	1 番目に重視		2 番目に重視		3 番目に重視	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
a 賃料	489	27.8%	254	14.5%	297	17.1%
b 広さ	353	20.1%	419	24.0%	265	15.3%
c 個室タイプであること (キッチン・トイレ・シャワー付き)	651	37.1%	395	22.6%	254	14.6%
d シェアハウス形式であること	7	0.4%	10	0.6%	14	0.8%
e エアコン	67	3.8%	184	10.5%	312	18.0%
f Wi-Fi 環境	139	7.9%	352	20.1%	385	22.2%
d セキュリティ	51	2.9%	133	7.6%	207	11.9%
合計	1,757		1,747		1,734	

8. A 平均的な1日の過ごし方

	平均時間
1 大学の授業の時間 (対面)	1.7 時間 / 日
1 大学の授業の時間 (動画視聴)	2.8 時間 / 日
2 授業の予習・復習・課題を行う時間	0.5 時間 / 日
3 研究の時間	0.8 時間 / 日
4 授業と研究以外の自学自習のための時間	1.8 時間 / 日
5 睡眠時間	6.7 時間 / 日

8. C 平均的な休日の過ごし方

	回答数	回答率
1 自室で過ごす	2,001	85.8%
2 趣味・娯楽・買い物のため外出	1,673	71.7%
3 アルバイト	1,079	46.2%
4 部活動・サークル活動	1,216	52.1%
5 大学の授業	355	15.2%
6 大学の研究	175	7.5%
7 その他	56	2.4%
合計	6,555	

8. B 平均的な1週間の過ごし方

	平均時間
1 大学の授業の時間 (対面)	12.7 時間 / 週
1 大学の授業の時間 (動画視聴)	16.3 時間 / 週
2 授業の予習・復習・課題を行う時間	13.2 時間 / 週
3 研究の時間	11.4 時間 / 週
4 授業と研究以外の自学自習のための時間	11.5 時間 / 週
5 サークル・ボランティアなどの活動時間	19.2 時間 / 週
6 アルバイト時間	21.7 時間 / 週

9. 日常生活満足度

	回答数	回答率
1 かなり満足	337	14.4%
2 おおむね満足	1,337	57.0%
3 どちらともいえない	402	17.1%
4 少し不満	201	8.6%
5 かなり不満	69	2.9%
合計	2,346	

#### 10. 新型コロナウイルスが生活に及ぼしている影響

		とてもよい影響があった		よい影響があった		どちらとも言えない		悪い影響があった		とても悪い影響があった		総計 回答数
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
1	自身のキャリア形成や就職・進学	120	5.2%	227	9.8%	1,465	63.1%	378	16.3%	131	5.6%	2,321
2	家族関係や友人との関係	112	4.8%	248	10.7%	1,115	48.1%	669	28.9%	174	7.5%	2,318
3	自身のメンタルヘルスや健康状態	126	5.4%	278	12.0%	953	41.1%	675	29.1%	288	12.4%	2,320
4	アルバイト収入や家族の収入	100	4.3%	184	7.9%	1,562	67.4%	369	15.9%	102	4.4%	2,317
5	課外活動等	79	3.4%	114	4.9%	694	30.0%	865	37.4%	563	24.3%	2,315
6	余暇時間の過ごし方	280	12.1%	399	17.3%	839	36.4%	527	22.9%	260	11.3%	2,305

### Ⅲ. 通学等について

#### 11. 通学手段（複数選択）

		雨天時		雨天以外	
		回答数	回答率	回答数	回答率
1	徒歩	1,590	66.4%	859	35.9%
2	自転車	1,250	52.2%	2,032	85.0%
3	バイク（原付を含む）	28	1.2%	46	1.9%
4	自家用車	232	9.7%	186	7.8%
5	キャンパス交通システム（学内循環バス）	609	25.4%	350	14.6%
6	学内循環バス以外の路線バス	106	4.4%	72	3.0%
7	つくばエクスプレス（TX）	305	12.7%	300	12.5%
8	JR 常磐線	55	2.3%	52	2.2%
9	7、8以外の鉄道路線	169	7.1%	161	6.7%
10	その他	3	0.1%	3	0.1%
合計		4,347		4,061	

#### 12. 片道の通学時間（雨天以外）

		回答数	回答率
1	15分未満	1,544	65.0%
2	15分～30分未満	391	16.5%
3	30分～45分未満	56	2.4%
4	45分～1時間未満	52	2.2%
5	1時間～1時間半未満	142	6.0%
6	1時間半～2時間未満	134	5.6%
7	2時間以上	55	2.3%
合計		2,374	

#### 13. 学内循環バスの利用頻度

		回答数	回答率
1	ほぼ毎日	129	5.4%
2	週に2～3回	325	13.6%
3	月に2～3回	633	26.5%
4	年に数回	439	18.4%
5	いままでに数回	552	23.1%
6	利用したことはない	312	13.1%
合計		2,390	

#### Ⅳ. 健康状態について

##### 14. 健康状態（過去1年間）（複数選択）

		回答数	回答率
1	健康である	1,682	70.3%
2	健康不良で数日寝込んだ（受診・入院を除く）	624	26.1%
3	身体の病気で受診・入院した	245	10.2%
4	精神的な問題で受診・入院した	107	4.5%
5	心理的な問題で相談機関を利用した	111	4.6%
6	けがで受診・入院した	123	5.1%
7	その他	25	1.0%
合計		2,917	

##### 15. 悩みの原因（過去1年間）（複数選択）

		回答数	回答率
1	学業や研究の不振	839	35.4%
2	単位修得の問題	743	31.3%
3	転学類・転学群	74	3.1%
4	休学・退学	89	3.8%
5	進路	1,013	42.7%
6	就職	584	24.6%
7	友人との関係	690	29.1%
8	教員との関係	90	3.8%
9	研究室内の問題	39	1.6%
10	部活動・サークル内の問題	625	26.3%
11	恋愛関係	406	17.1%
12	家族関係	254	10.7%
13	自分の性格	798	33.6%
14	自分の精神的・心理的状态	1,013	42.7%
15	自分の身体的病気・けが等の状態	285	12.0%
16	経済状態	452	19.1%
17	ハラスメント	36	1.5%
18	その他	27	1.1%
19	特になし	340	14.3%
合計		8,397	

##### 16. 感じ方（過去1年間）

		とてもあてはまる		少しあてはまる		あまりあてはまらない		全くあてはまらない		無効・無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	自分のやりたいことができている	582	24.7%	1,222	51.8%	449	19.0%	108	4.6%	72	3.0%
2	何となく不安になることがある	870	36.9%	978	41.4%	388	16.4%	124	5.3%	73	3.1%
3	自分のことをよくわかってきている人がいる	919	38.9%	921	39.0%	420	17.8%	103	4.4%	70	3.0%
4	何をやってもうまくいかない気がする	277	11.7%	680	28.8%	983	41.6%	424	17.9%	69	2.9%
5	気分が憂鬱である	276	11.7%	774	32.8%	830	35.1%	483	20.4%	70	3.0%
6	「死にたい」と思ったことがある	188	8.0%	396	16.8%	450	19.1%	1,328	56.2%	71	3.0%
7	大学生活が充実している	551	23.3%	1,167	49.4%	507	21.5%	135	5.7%	73	3.1%

#### Ⅳ. 相談相手・情報の得方について

##### 17-1. 相談相手

	1 番目		2 番目		3 番目	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 家族	1,116	45.9%	452	18.6%	351	14.4%
2 恋人	211	8.7%	183	7.5%	98	4.0%
3 友人（学内）	410	16.9%	720	29.6%	574	23.6%
4 友人（学外）	456	18.8%	657	27.0%	445	18.3%
5 先輩・後輩（学内）	39	1.6%	107	4.4%	246	10.1%
6 先輩・後輩（学外）	12	0.5%	19	0.8%	53	2.2%
7 教員	8	0.3%	35	1.4%	68	2.8%
8 その他	16	0.7%	26	1.1%	49	2.0%
9 特にない	102	4.2%	137	5.6%	408	16.8%
無効・無回答	62	2.5%	96	3.9%	140	5.8%
合計	2,432		2,432		2,432	

##### 17-2. 相談相手と話す機会

	頻繁にある		少しある		あまりない		ほとんどない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 1 番目の人とは	1,602	70.7%	485	21.4%	129	5.7%	50	2.2%	25	1.1%
2 2 番目の人とは	1,165	52.5%	739	33.3%	224	10.1%	89	4.0%	74	3.3%
3 3 番目の人とは	714	34.9%	712	34.8%	344	16.8%	274	13.4%	247	12.1%

##### 18. 情報取得源（複数選択）

	回答数	回答率
1 教員	412	17.4%
2 事務職員	266	11.2%
3 友人等	1,567	66.1%
4 TWINS 掲示板	1,550	65.4%
5 manaba の掲示板	1,873	79.1%
6 Microsoft Teams	491	20.7%
7 大学の HP	691	29.2%
8 学群・学類等の HP	435	18.4%
9 学群・学類やクラスのメーリングリストまたはグループライン	514	21.7%
10 SNS（Twitter、Instagram 等）	995	42.0%
11 その他	20	0.8%
合計	8,814	

## 19. 相談機関

		利用したことがある		利用したことはないが、利用の仕方は知っている		利用したことはないが、存在は知っている		利用したことがなく、存在も知らない		無効・無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	スチューデントプラザ総合相談窓口	195	8.5%	99	4.3%	1,265	55.0%	740	32.2%	134	5.8%
2	春日地区総合相談窓口	18	0.8%	55	2.4%	493	21.5%	1,732	75.4%	135	5.9%
3	学生相談室	235	10.2%	138	6.0%	1,310	56.9%	621	27.0%	129	5.6%
4	キャリア・就職相談（学生）	108	4.7%	114	5.0%	1,235	53.8%	839	36.5%	137	6.0%
5	相談室「あう」	4	0.2%	27	1.2%	279	12.1%	1,988	86.5%	135	5.9%
6	保健管理センター 1階 精神保健相談（精神科）	88	3.8%	175	7.6%	955	41.6%	1,077	46.9%	138	6.0%
7	保健管理センター 2階 健康相談（内科）	109	4.8%	183	8.0%	986	43.3%	1,001	43.9%	154	6.8%
8	LGBT等の相談窓口 (DACセンターダイバーシティ部門)	5	0.2%	51	2.2%	692	30.2%	1,540	67.3%	145	6.3%
9	障害学生支援の相談窓口 (DACセンターアクセシビリティ部門)	56	2.4%	57	2.5%	674	29.4%	1,505	65.7%	141	6.2%
10	留学生相談室	22	1.0%	39	1.7%	737	32.1%	1,497	65.2%	138	6.0%
11	ハラスメント相談センター	5	0.2%	38	1.7%	658	28.7%	1,595	69.5%	137	6.0%

## Ⅵ. クラス制度・学生組織・課外活動等について

### 21. クラスの機能（1,2年生）（複数選択）

	回答数	回答率
1 大学への要望をまとめる	170	10.5%
2 大学からの情報を学生に連絡する	592	36.6%
3 勉強会を行う	57	3.5%
4 行事を企画運営する	204	12.6%
5 友人・知り合いをつくる	733	45.4%
6 クラス担任教員とのつながりを維持する	411	25.4%
7 その他	26	1.6%
8 機能していない	436	27.0%
無効・無回答	43	2.7%
合計	2,672	

### 21. 学生組織の活動（1,2年生）（複数選択）

	よく知っている		まあまあ知っている		あまり知らない		全く知らない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 クラス代表者会議の活動	117	7.5%	277	17.7%	726	46.5%	441	28.3%	55	3.5%
2 全学学類・専門学群代表者会議 (全大会の活動)	66	4.2%	200	12.8%	780	49.9%	517	33.1%	53	3.4%

### 22. サークル活動

	回答数	回答率
1 大学から認定されたサークルで活動中	1,228	57.9%
2 大学の認定を受けていないサークルで活動中	70	3.3%
3 「1」と「2」両方のサークルで活動中	108	5.1%
4 以前は活動していた	209	9.8%
5 活動したことはない	507	23.9%
合計	2,122	

### 22-1. サークル活動の動機（複数選択）

	回答数	回答率
1 友人がほしくて	1,134	70.2%
2 知識・教養のため	353	21.9%
3 健康のため	455	28.2%
4 技術向上のため	552	34.2%
5 団体活動を経験したい	401	24.8%
6 趣味と一致	902	55.9%
7 余暇の利用のため	491	30.4%
8 レクリエーションの一環で	298	18.5%
9 希望の進路と同じで有益	70	4.3%
10 就職などにプラス	128	7.9%
11 高校時代からの継続	381	23.6%
12 勧誘されて	179	11.1%
13 社会貢献のため	63	3.9%
14 その他	29	1.8%
無効・無回答	5	0.3%
合計	5,441	



23. ①～④カルト宗教等への参加勧誘

		ある		ない	
		回答数	回答率	回答数	回答率
1	大学入学後、キャンパス内で勧誘を受けたことが	95	4.4%	2,075	95.6%
2	大学入学後、キャンパス外で勧誘を受けたことが	418	19.3%	1,747	80.7%
3	大学入学後、キャンパス内で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが	285	13.1%	1,883	86.9%
4	大学入学後、キャンパス外で他の人が勧誘を受けているのを見たり、聞いたりしたことが	499	23.1%	1,665	76.9%

24. ボランティア活動（複数選択）

		回答数	回答率
1	授業やゼミを通じて参加したことがある	80	3.7%
2	つくばアクションプロジェクト（T-ACT）を通じて参加したことがある	29	1.3%
3	サークル活動を通じて参加したことがある	177	8.2%
4	その他の機会に参加したことがある	201	9.3%
5	参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	872	40.2%
6	ボランティア活動に参加する予定はない	927	42.7%
合計		2,286	

25. T-ACTの活動（複数選択）

		回答数	回答率
1	T-ACTで企画の発案者（プランナー）や運営者（オーガナイザー）を行ったことがある	21	1.0%
2	T-ACTの企画に参加者（パーティシパント）として関わったことがある	43	2.0%
3	総合科目「みんなで創ろう『つくばアクションプロジェクト』」を受けたことがある	119	5.5%
4	T-ACT主催のイベント（活動報告会や公開シンポジウムなど）に参加したことがある	22	1.0%
5	その他の機会でもT-ACTに関わったことがある	36	1.7%
6	参加したことはないが、在学中に参加したいと考えている	612	28.3%
7	T-ACTの活動に参加する予定はない	1,400	64.8%
合計		2,253	

26. 学外研修施設利用の有無

レイクロッジヤマナカ	回答数	回答率
1 ある	14	0.6%
2 ない	118	5.4%
3 存在を知らない	2,036	93.9%
合計	2,168	

ナミカゼ館山	回答数	回答率
1 ある	6	0.3%
2 ない	116	5.3%
3 存在を知らない	2,050	94.4%
合計	2,172	

## Ⅶ. 進路や就職活動について

### 27. 卒業後の進路

	回答数	回答率
A1 筑波大学大学院	740	31.4%
A2 国内の他大学大学院	156	6.6%
A3 海外の大学院	35	1.5%
A4 (進学) その他	8	0.3%
B1 企業	498	21.1%
B2 教員	112	4.8%
B3 公務員	192	8.2%
B4 自営・起業	13	0.6%
B5 (就職) その他	135	5.7%
C1 決まっていない	386	16.4%
C2 まだ考えていない	71	3.0%
C3 その他	9	0.4%
合計	2,355	

### 28. 外国での就労希望度

	回答数	回答率
1 強くそう思う	169	7.2%
2 ややそう思う	537	22.7%
3 分からない	477	20.2%
4 あまりそう思わない	677	28.7%
5 全くそう思わない	501	21.2%
合計	2,361	

### 29. 進路決定の相談相手 (複数選択)

	回答数	回答率
1 家族	1,966	83.3%
2 親戚・知人	243	10.3%
3 友人・先輩	1,495	63.4%
4 教員	469	19.9%
5 事務職員	38	1.6%
6 その他	129	5.5%
合計	4,340	

### 30. 進路決定の理由 (複数選択)

	回答数	回答率
1 やりがい	1,416	60.0%
2 社会的貢献	680	28.8%
3 給与が多い	1,105	46.8%
4 安定した生活	1,382	58.6%
5 ワーク・ライフ・バランス	1,056	44.7%
6 自分の能力や適性	1,463	62.0%
7 専門知識を深める	713	30.2%
8 大学で学んだことが生かせる	761	32.2%
9 社会的評価	476	20.2%
10 将来性	997	42.2%
11 地理的利便性	374	15.8%
12 その他	67	2.8%
合計	10,490	

### 31. 進路についての感じ方

	よくあてはまる		ややあてはまる		どちらともいえない		あまりあてはまらない		全くあてはまらない		無効・無回答	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 将来の進路(キャリア形成)について、とても関心を持っている	844	36.4%	921	39.7%	289	12.5%	196	8.5%	69	3.0%	114	4.9%
2 働くことについて、真剣に考えたことがない	147	6.3%	391	16.9%	387	16.7%	828	35.7%	567	24.4%	113	4.9%
3 進路決定では、周囲の雰囲気には流されることはない	670	28.9%	646	27.9%	632	27.3%	319	13.8%	51	2.2%	115	5.0%
4 職業生活を充実させるためには、自分自身の責任が大きいと思う	1,183	51.1%	845	36.5%	218	9.4%	51	2.2%	18	0.8%	118	5.1%
5 希望する進路に進むための具体的な計画を立てている	197	8.5%	493	21.3%	596	25.8%	704	30.4%	323	14.0%	120	5.2%
6 希望する進路は決まっているが、それに向けての努力は特にしていない	125	5.4%	446	19.3%	766	33.2%	603	26.1%	369	16.0%	124	5.4%

### 32. CARIO 活用の有無

		回答数	回答率
1	現在、活用している	4	0.2%
2	時々、活動している	51	2.2%
3	フレッシュマンセミナーでのみ活用した	659	28.2%
4	活用していない	1,624	69.5%
合計		2,338	

### 34. 就職活動の学修への影響

		回答数	回答率
1	支障は全くでていない	120	27.4%
2	支障はほとんどでていない	164	37.4%
3	支障が多少はでている	117	26.7%
4	支障がととてもでている	37	8.4%
合計		438	

### 33. 就職活動の情報源（複数選択）

		回答数	回答率
1	就職課	79	16.3%
2	就職課 HP	75	15.5%
3	学内の就職ガイダンス	87	18.0%
4	学群・学類の就職委員	23	4.8%
5	就職情報誌	32	6.6%
6	就職情報サイト	213	44.0%
7	学外の就職イベント	139	28.7%
8	企業・自治体等の HP	138	28.5%
9	インターンシップ	183	37.8%
10	OB・OG 訪問	41	8.5%
11	SNS	142	29.3%
12	その他	27	5.6%
合計		1,179	

## Ⅷ. 家庭の状況について

### 35. 現在の生計を支えている方

(生計支持者が複数いる場合)

#### A1 生計支持者

	回答数	回答率
1 父	1,941	82.0%
2 母	298	12.6%
3 本人	88	3.7%
4 兄弟姉妹	4	0.2%
5 祖父母	17	0.7%
6 配偶者	3	0.1%
7 その他	16	0.7%
合計	2,367	

#### B1 A1 以外の生計支持者

	回答数	回答率
1 父	183	11.0%
2 母	1,315	79.3%
3 本人	76	4.6%
4 兄弟姉妹	10	0.6%
5 祖父母	46	2.8%
6 配偶者	0	0.0%
7 その他	28	1.7%
合計	1,658	

#### A2 生計支持者の職業

	回答数	回答率
1 管理的職業（企業・官公庁における課長職以上、議員や経営者を含む）	441	19.0%
2 専門的、技術的職業（医師・看護師・弁護士・教師・保育士・税理士・技術者など）	657	28.3%
3 事務職（総務・人事・経理などの事務一般）	245	10.5%
4 販売職（商品販売、小売・卸売、不動産仲介、保険外交、営業職など）	225	9.7%
5 サービス職（美容師、料理人、旅行ガイド、接客業など）	108	4.6%
6 保安的職業（自衛官、警察官、消防士、警備員など）	37	1.6%
7 農林漁業職（ただし、農業以外の仕事の所得が主となっている兼業農家や農水産物加工は含まない）	23	1.0%
8 技能工、生産工程に関わる職業（工具、建設作業員、大工、自動車整備、電気工事など）	221	9.5%
9 運輸・清掃に関わる職業（運転手、郵便配達、倉庫作業、清掃など）	47	2.0%
10 無職（学生、年金生活者を含む）	94	4.0%
11 その他	99	4.3%
12 分からない	128	5.5%
合計	2,325	

(生計支持者が複数いる場合)

#### B2 生計支持者の職業

	回答数	回答率
1 管理的職業（企業・官公庁における課長職以上、議員や経営者を含む）	53	3.3%
2 専門的、技術的職業（医師・看護師・弁護士・教師・保育士・税理士・技術者など）	469	29.0%
3 事務職（総務・人事・経理などの事務一般）	378	23.3%
4 販売職（商品販売、小売・卸売、不動産仲介、保険外交、営業職など）	111	6.9%
5 サービス職（美容師、料理人、旅行ガイド、接客業など）	216	13.3%
6 保安的職業（自衛官、警察官、消防士、警備員など）	4	0.2%
7 農林漁業職（ただし、農業以外の仕事の所得が主となっている兼業農家や農水産物加工は含まない）	16	1.0%
8 技能工、生産工程に関わる職業（工具、建設作業員、大工、自動車整備、電気工事など）	51	3.2%
9 運輸・清掃に関わる職業（運転手、郵便配達、倉庫作業、清掃など）	29	1.8%
10 無職（学生、年金生活者を含む）	116	7.2%
11 その他	119	7.4%
12 分からない	57	3.5%
合計	1,619	

### 36. 生計支持者の年収

		回答数	回答率
1	300万円未満	127	6.1%
2	300万円～400万円未満	90	4.4%
3	400万円～500万円未満	96	4.6%
4	500万円～600万円未満	113	5.5%
5	600万円～700万円未満	96	4.6%
6	700万円～800万円未満	103	5.0%
7	800万円～900万円未満	112	5.4%
8	900万円～1000万円未満	111	5.4%
9	1000万円～1100万円未満	166	8.0%
10	1100万円～1200万円未満	56	2.7%
11	1200万円～1300万円未満	31	1.5%
12	1300万円以上	146	7.1%
13	分からない	821	39.7%
合計		2,068	

## Ⅷ. 本学への期待や要望について

### 37. 教員に期待すること

	回答数	回答率
1 学問・研究の楽しさを教えてほしい	1,131	47.9%
2 授業内容を充実させてほしい	471	19.9%
3 もっと解りやすく教えてほしい	431	18.2%
4 ハラスメントの問題に敏感になってほしい	48	2.0%
5 その他	42	1.8%
6 特になし	239	10.1%
合計	2,362	

### 38. 教育面や制度面で充実してほしい点（複数選択）

	回答数	回答率
1 教育スタッフ	587	26.1%
2 カリキュラム	1,094	48.6%
3 教職課程	352	15.7%
4 課外教育プログラム（講演会・講習会等）	359	16.0%
5 留学制度	470	20.9%
6 就職説明会	612	27.2%
7 クラス制度	569	25.3%
8 学生組織	278	12.4%
9 奨学金・授業料免除	767	34.1%
10 課外活動に対する支援	567	25.2%
11 ボランティア活動に対する支援	248	11.0%
12 メンタル面に関する支援	377	16.8%
13 ハラスメント対応（組織・制度）	115	5.1%
14 その他	49	2.2%
合計	6,444	

### 40. 整備・充実してほしい施設等（複数選択）

	回答数	回答率
1 教室・実験室	758	33.3%
2 図書館	988	43.4%
3 サテライト室	248	10.9%
4 ネットワーク環境（学内無線 LAN システム等）	1,118	49.1%
5 体育施設	406	17.8%
6 課外活動施設	407	17.9%
7 セキュリティ	221	9.7%
8 駐車場	298	13.1%
9 駐輪場	680	29.9%
10 キャンパス交通システム（学内循環バス）	556	24.4%
11 ペDESTリアンデッキ	320	14.1%
12 外灯	758	33.3%
13 その他	126	5.5%
合計	6,884	

### 39-1. Twins の使いやすさ

	回答数	回答率
1 満足	619	26.5%
2 まあ満足	880	37.7%
3 普通	463	19.8%
4 やや不満	266	11.4%
5 不満	105	4.5%
合計	2,333	

### 39-2. KdB の使いやすさ

	回答数	回答率
1 満足	353	15.1%
2 まあ満足	528	22.6%
3 普通	681	29.2%
4 やや不満	524	22.5%
5 不満	248	10.6%
合計	2,334	

### 39-3. Manaba の使いやすさ

	回答数	回答率
1 満足	974	41.7%
2 まあ満足	906	38.8%
3 普通	330	14.1%
4 やや不満	101	4.3%
5 不満	24	1.0%
合計	2,335	

#### 41. 福利厚生施設満足度

		満足		まあ満足		普通		やや不満		不満		利用したこと がない	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	食堂	573	25.0%	717	31.2%	402	17.5%	244	10.6%	104	4.5%	256	11.1%
2	喫茶	394	17.2%	478	20.9%	272	11.9%	80	3.5%	36	1.6%	1,030	45.0%
3	パン販売	788	34.3%	588	25.6%	260	11.3%	69	3.0%	16	0.7%	574	25.0%
4	弁当販売	400	17.4%	390	17.0%	284	12.4%	56	2.4%	22	1.0%	1,141	49.8%
5	キッチンカー	257	11.2%	248	10.8%	220	9.6%	44	1.9%	12	0.5%	1,505	65.8%
6	書店	446	19.5%	665	29.0%	513	22.4%	230	10.0%	81	3.5%	358	15.6%
7	画材	163	7.1%	164	7.2%	171	7.5%	54	2.4%	25	1.1%	1,704	74.7%
8	その他売店	255	11.2%	380	16.7%	470	20.7%	74	3.3%	49	2.2%	1,041	45.9%
9	自動販売機	525	23.0%	651	28.6%	632	27.7%	176	7.7%	49	2.2%	245	10.8%